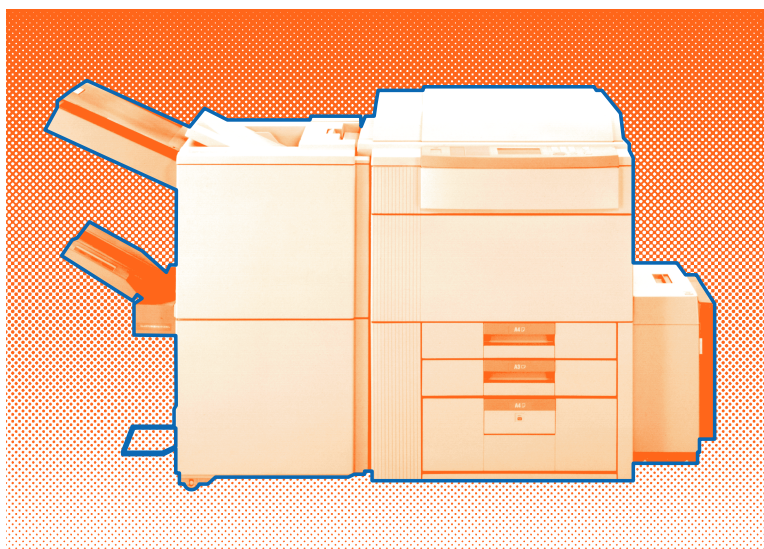


NEC

MultiWriter 6050

レーザープリンター



ユーザーズマニュアル[1/2]
プリンターの取り扱い

このユーザーズマニュアル[1/2]は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示について

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアル[1/2]の指示に従って操作してください。

このユーザーズマニュアル[1/2]には装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアル[1/2]ならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の三種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号内の絵表示は危険の内容を図案化したものです。 (注意の喚起)		(感電注意)
	この記号は行為の禁止を表します。記号内や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。(行為の禁止)		(接触禁止)
	この記号は行為の強制を表します。記号内の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。(行為の強制)		(プラグを抜け)

ユーザズマニュアルおよび 警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。火傷・感電などの傷害が起こるおそれがあります
---	--	---	---

行為の強制

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
---	--

商標について

MultiWriter、PrintAgent、MOPYING、NMPSは日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。

Macintosh、Mac OS、QuickDraw、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

IBM、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

UNIXはThe Open Groupの米国およびその他の国における登録商標です。

AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating system およびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows NT 3.5はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.5およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.5の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウェアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

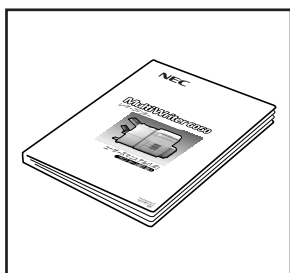
はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 6050は高性能CPUを搭載し、より高速な印刷を可能にしたプリンターです。
また、Windows環境でより簡単に、より快適に使用していただけるPrintAgentソフトウェアを採用しています。このソフトウェアの機能により、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、各種設定をコンピューター側から行ったりすることができます。

マニュアルの種類

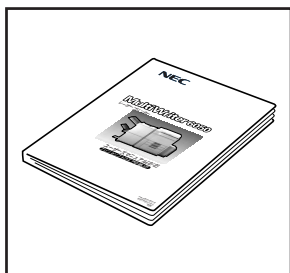
MultiWriter 6050には以下のような2種類のマニュアルが添付されています。本書は「MultiWriter 6050 ユーザーズマニュアル[1/2]」です。



MultiWriter 6050 ユーザーズマニュアル[1/2]

～プリンターの取り扱い～

本書です。プリンターを箱から取り出して設置し、印刷できるようにプリンターを準備するまでの手順を説明しています。さらにメニューモードについての詳しい説明、プリンターの機能を高めるためのオプションや日常の保守、正しく動作しない場合の対処方法、印刷範囲などの技術情報について説明しています。



MultiWriter 6050 ユーザーズマニュアル[2/2]

～プリンターソフトウェアの使い方～

プリンターソフトウェアのインストール方法を各OS別に説明し、さらにそのプリンタードライバの設定内容やPrintAgentについて説明します。

本書の概要

安全にお使いいただくために

プリンターを安全にお使いいただくためにあらかじめ知っておいていただきたい注意事項について説明しています。

1章 プリンターの設置

プリンターの設置環境、添付品について説明しています。

プリンターの設置はサービス担当者が行います。

2章 各部の名称とはたらき

プリンター各部の名称とはたらきについて説明しています。

3章 操作パネルについて

プリンターの操作パネル(ディスプレイ／ランプ／スイッチ)の機能について説明しています。

4章 操作の手順

用紙のセット方法やテスト印刷、コンピューターの接続方法について説明しています。

5章 オプション

プリンターの機能をさらに活用していただくため、豊富に用意されたオプション品について説明しています。

6章 日常の保守

プリンターの日常的な保守(トナーの補給、清掃など)の方法について説明しています。

7章 故障かな？と思ったら

プリンターが思うように動作しなかった場合の原因および対処方法について説明しています。

付録

A: メニューモードとメモリースイッチの詳細について説明しています。

B: MultiWriter 6050の仕様等技術情報について説明しています。

本文中で使用の記号の意味

このユーザーズマニュアル[1/2]では、表紙の裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の3種類の記号を使っています。それぞれは次のように定義されています。

記 号	内 容
 重要	ユーザーズマニュアルに記載されている注意事項および指示を守らないと、プリンター本体が損傷するおそれがあることを示しています。
 チェック	プリンターを使用する際に守っていただきたいこと、およびプリンターを正しく動作させるための注意事項や補足説明を記載しています。
 ヒント	プリンターを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

MultiWriter 6050の特長

MultiWriter 6050の主な特長を簡単に説明します。

MOPYING

オリジナルの資料を多部数、高速に準備

多部数の資料を用意する場合、通常ならプリンターで出力したオリジナル原稿をコピー機のソータ機能を利用して複写するのが一般的でした。しかし「MOPYING(モピーイング: Multiple Original coPY and printING)」機能を利用するとMultiWriter 6050が必要部数仕分けながら直接出力することができます。「MOPYING」はオリジナル原稿を必要部数出力しますので複写による画質低下の心配がありません。多部数の資料を高品質に、かつ高速に準備できるので、会議資料、技術資料、通知文などさまざまな場面で「MOPYING」が活躍します。

いろいろな出力方法

MultiWriter 6050では、たくさんのドキュメントを5つの方法で仕分け出力することができます。

ジョブセパレート機能

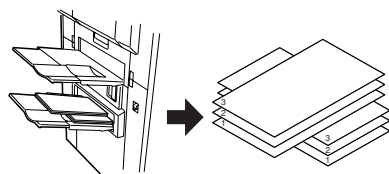
混ざらないから取り出しやすい、ユーザーごとに仕分け出力

ジョブセパレート機能は、印刷ジョブごとに縦置きと横置きで交互に印刷させて、スタッカー上に排出される用紙を印刷ジョブごとに仕分ける機能です。この機能はホッパまたはトレイのいずれか2か所にA4用紙が縦置きおよび横置きでセットされているときに有効です。

ジョブセパレートによる丁合い印刷

ページ順に出力、簡易ソーターとして利用できる

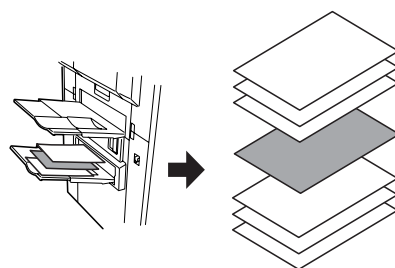
ジョブセパレート機能と丁合い機能を組み合わせることによって、簡易ソーターとしてご利用になれます。複数の部数を印刷するときなど印刷後の用紙を部ごとに縦置きおよび横置き仕分けてスタッカー上に排出します。



合紙機能によるソート

色紙で1部ずつ区切る

指定されたホッパにセットした色の違う用紙(色紙)を挿入して印刷ジョブごとに仕分けてスタッカー上に排出します。



フィニッシャで簡易製本

マルチステーブル機能

フィニッシャ(オプション)のマルチステーブル機能を利用すると簡易製本までできるので、会議の時など書類をそのまま配れます。
ステーブルどめの種類など、詳しくはユーザーズマニュアル[2/2]をご覧ください。

電子ソートで素早く丁合い

プリンター内部でそろえて印刷

プリンターにハードディスク(オプション)を増設すると実現できる機能です。本来コンピューターは丁合い印刷が終了するまで印刷データをプリンターに送り続けなければなりませんでした。

しかし電子ソート機能を利用すると、コンピューターはデータを1回だけプリンターに送れば操作は完了します。あとはプリンターがハードディスクにため込まれたデータを必要な部数分そろえて(電子ソート)処理するのでスピーディーな丁合い印刷が可能になります。

PrintAgentによる印刷統合管理

印刷統合管理ソフトPrintAgentは豊富なサービスを提供します。プリンターの混み具合やセットされている用紙サイズなどを手元のパソコンを通じて知らせてくれる、ユーザーごとに印刷結果を仕分けてくれる、などネットワークプリンターとして最適な機能が満載です。PrintAgentの対応環境についてはユーザーズマニュアル[2/2](4ページ)をご覧ください。

プリンタステータスウィンドウ(PSW)

プリンターの状態や印刷状況を見る

印刷開始や終了、用紙無しなどプリンターの状態をユーザーのパソコンに画面表示するとともに、音声ガイドで通知します。

リプリント機能

再印刷が速い、一度印刷した文書はすばやくコピー印刷

一度印刷した文書をアプリケーションを再起動させずにプリンタステータスウィンドウ(PSW)を操作することにより、短時間で再出力を実現する機能です。追加印刷する場合に便利です。

プリンターの自動切り替え

空いてるプリンターにすばやく出力

MultiWriter 6050をネットワークでお使いの場合、プリンターをグループ化しておくと、自動的に空いているプリンターへ印刷出力します。

Web PrintAgent機能

ブラウザでMultiWriterが見える

汎用のブラウザ*でネットワークプリンターの状態を知ることができます。どんなOSを使っているクライアントからでもWeb PrintAgentでMultiWriter 6050の状態が見えます。プリンター管理者は設定の変更もできます。

* Microsoft Internet Explorer 3.0日本語版以上
Netscape Navigator 3.0日本語版以上

PrintAgentで利用できるプリンター管理機能

プリンター管理ユーティリティはMultiWriter 6050を一元管理するためのユーティリティです。プリンターソフトウェアを「管理者」としてインストールすると利用できるようになります。

リモートパネル

コンピューターに直接つながっているプリンターやネットワーク上にあるプリンターの設定を管理者のパソコン上の画面で参照・設定変更するものです。

グループプリンターの設定

ネットワーク内にある任意の複数のMultiWriter 6050をグループプリンターとして設定し、ネットワークのユーザーに共有プリンターとして利用できるようにします。またプリンターの自動切替え優先順位なども設定できます。印刷は自動的に空いているプリンターで行われますので、負荷が分散されます。(Windows 98/95では、グループ設定ができるのはMultiWriter 6050のみ2台までです。)

電子メールによるアラーム通知(NEC e-mailメンテナンス)

接続されているプリンターに「トナーナシ」、「テイキホシュ」、「ステープル ハリナシ」、「ハイトナーボトルフル」、「HWエラー」のアラームが発生すると自動的に電子メールでプリンター管理者に通知する機能です。保守担当部門など別の通知先を設定することができるので、スムーズな保守・管理が期待できます。

リモート電源制御

管理者のパソコン上の操作でネットワークに接続されているプリンターの電源をON/OFFできる機能です。オプションのLANアダプタ(TCP/IP)型番 PR-NP-03TR2を使って接続されているプリンターにのみ有効な機能です。

高速プロセス

64bit CPU+SDRAM

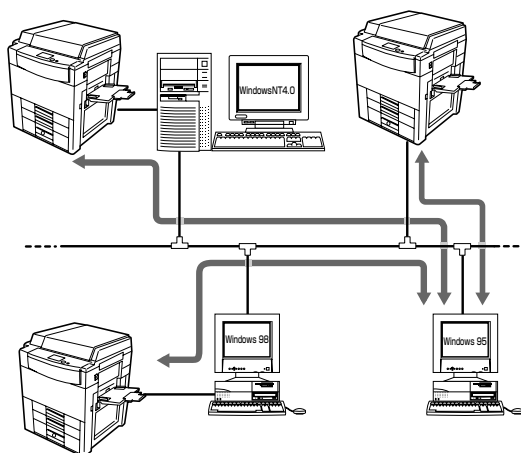
新たに開発した62ppmエンジンを採用するとともに、コントローラーには64bit CPUと高速アクセスが可能なSDRAMを搭載し、高速な印刷を実現しています。

また、NPDL(Level 2)を拡張しWindowsに対する適応性を高めた印刷システム、NMPS (NEC MultiWriter Printing System)を採用することにより、印刷時のコンピューター側、プリンター側の変換処理を大幅に軽減しました。同時にコンピューター本体とプリンターの処理の分担の最適化を図り、コンピューター上での印刷開始からプリンターの印刷終了までトータルでの時間短縮を実現しました。

ネットワークインターフェースを標準装備

最先端の高速イーサネット100BASE-TX、10BASE-Tに対応

Windows NT、Windows 98、Windows 95、UNIXなどのネットワーク環境に、標準で対応。ネットワーク内のユーザーが快適にプリンターを利用できます。



リレイ給紙

自動的に給紙を切替

プリンター本体のホッパ、トレイまたはオプションの大容量ホッパに同じサイズ、同じ方向の用紙がセットされていれば、使用しているホッパの用紙がなくなったとき、自動的に別のホッパまたはトレイから用紙を吸入し印刷を継続する機能です。

両面印刷ユニット

両面印刷で用紙節約

MultiWriter 6050は標準で両面印刷ユニットがついています。

A3、B4、A4、B5、A5、レターのさまざまなサイズの用紙に対応しています。用紙の節約ができるだけでなく、ドキュメントが読みやすくなります。

豊富なオプション

増設ハードディスク

電子ソートで素早く丁合い

プリンターにハードディスクを増設すると電子ソート機能が利用できるようになります。プリンターは受信したオリジナルデータを元にして必要な部数分のデータをそろえて(電子ソート)ハードディスクに保存できるのでスピーディーな丁合い印刷が可能になります。

フィニッシャ

印刷後すぐに配布できる

3種類の紙折り(Z折り、袋折り、中折り)機能をはじめ、マルチステーブル機能、穴あけ機能を装備。面倒な簡易製本機能まで素早く自動で行え、大容量排紙もサポートしています。会議などで使う複数枚の書類を何部か印刷したい場合は、フィニッシャの機能を使うと印刷後すぐに配布でき、非常に便利です。

目次

安全にかかわる表示について	
ユーザズマニュアルおよび警告ラベルで使用する記号とその内容	
はじめに	iii
マニュアルの種類	iii
本書の概要	iv
MultiWriter 6050の特長	vi
安全にお使いいただくために	1
警告ラベルについて	1
安全上のご注意	2
正しく動作させるために	8
ユーザーサポートについて	9
お客様登録申込書について	9
保証について	9
修理に出す前に	10
保守サービスについて	11
プリンターの寿命について	11
補修用部品について	11
ユーザズマニュアルの再購入について	11
情報サービスについて	12
1章 プリンターの設置	13
① 設置に必要なスペースを用意する	14
設置してはいけない場所	15
② 箱の中身を確認する	16
2章 各部の名称とはたらき	17
3章 操作パネルについて	23
ディスプレイ	24
ランプ	26
スイッチ	27
通常のスイッチ機能	27
メニューモード時のスイッチ機能	32
メニューモード	33
メニューモードでの設定変更のしかた	33
通常メニューモード設定項目一覧	34
メモリースイッチの内容	36
通常メニューツリー	38

4章 操作の手順	45
① 用紙をセットする	45
用紙について	45
用紙の補給	47
ホッパ1への用紙補給	47
ホッパ2への用紙補給	48
ホッパ3への用紙補給	49
大容量ホッパへの用紙補給	50
② 電源コードを接続する	52
③ テスト印刷をする	53
④ コンピューターに接続する	56
⑤ マニュアルステーブルをする	58
 5章 オプション	 61
オプション・消耗品の紹介	61
 6章 日常の保守	 67
トナーの補給	67
トナー補給の手順	67
ステープルカートリッジの交換	71
ステープルカートリッジの交換手順	71
清 掃	74
 7章 故障かな？と思ったら	 75
印刷がおかしいときは	75
思うように印刷できないとき	75
印刷に異常が見られるとき	80
印刷できないとき	82
アラーム表示が出ているときは	83
紙づまりのときは	85
紙づまり位置表示	85
紙づまりの処理	88
[A] プリンター用紙搬送部の紙づまり	88
[B] プリンターユニットでの紙づまり	92
[C] トレイでの紙づまり	95
[D] フィニッシャでの紙づまり	96
[E] 大容量ホッパでの紙づまり	109
紙づまり処理後の確認	110
ステープルどめがうまくいかないときは	111
 付録A メニューモードとメモリースイッチの詳細	 113
メニューの詳細	113
メモリースイッチの詳細	119

付録B 技術情報 123

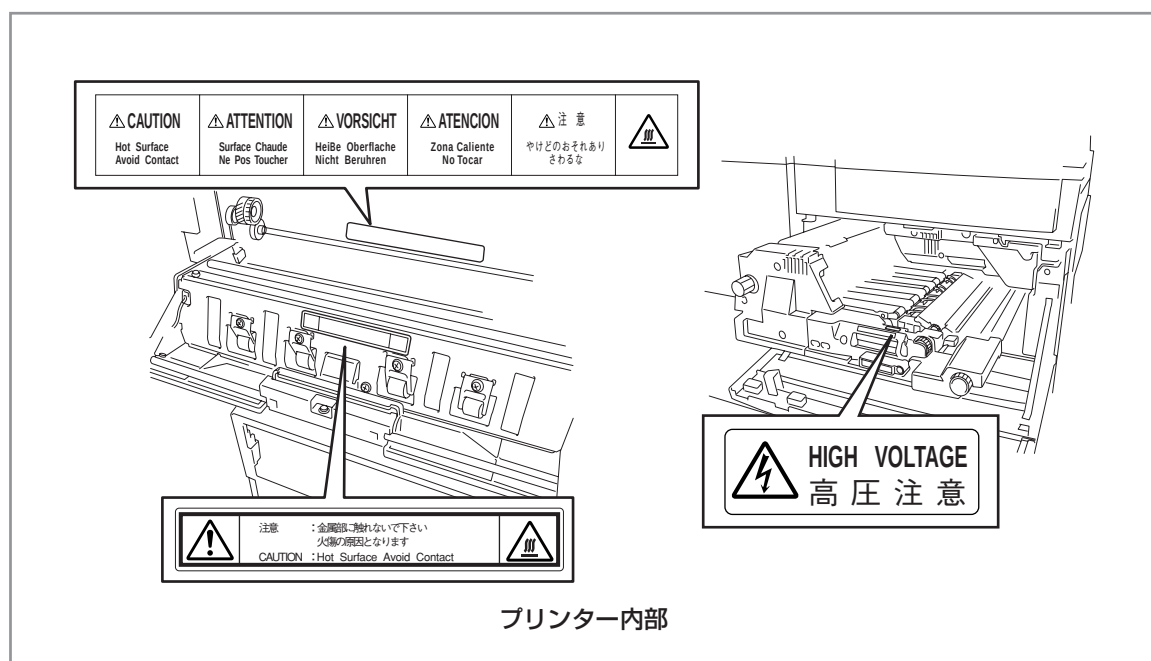
使用できるプリンターケーブル	124
仕 様	125
片面印刷時の用紙の規格	128
両面印刷時の用紙の規格	128
印刷範囲	129
定形用紙	129
定形外用紙	131
NPDLの初期状態	135
インターフェース	137
制御コード一覧	140
テキストモード	140
図形モード	142
機能拡張制御コード	144
漢字コード表切り替えのための制御コード	144
文字スタイル制御コード	145
ページ制御コード	148
面制御コード	151
図形の描画コード	152
行桁制御印刷コード	155
塗りつぶしに関する設定	156
バーコード印刷	157
カスタマーバーコード印刷	160
カスタマーバーコードのキャラクタ指定	161
文字セット制御コード	162
隋円弧描画	163
弓形描画	164
扇形描画	165
角丸矩形描画	166
文字の種類	167
内蔵文字の種類	167
文字間隔	167
文字構成	168
テスト印刷のプリント結果	169
テスト印刷	169
ステータス印刷	172
文字コード表	173
1バイト系コード表	173
2バイト系コード表	174
ディスプレイ表示一覧	180
用語解説	183
索引	189



安全にお使い いただくために

警告ラベルについて

MultiWriter 6050内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際に考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない状態でしたら、サービス担当者までご連絡ください。



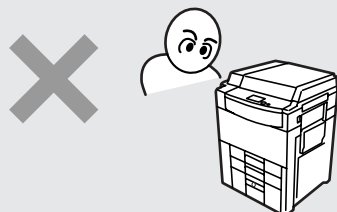
警告ラベルの位置

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示について」を参照してください。

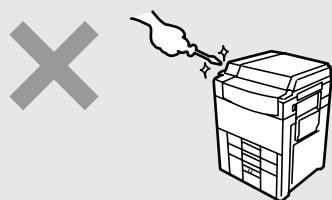
警告

プリンターの内部をのぞかない



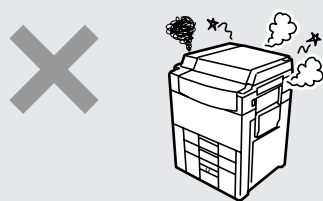
このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造はしない



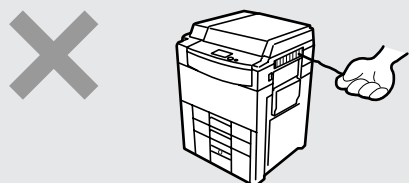
分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音が生じたら使わない



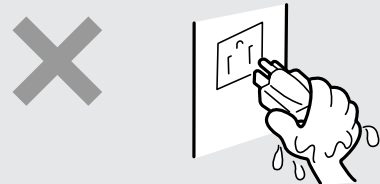
万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後サービス担当者にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない



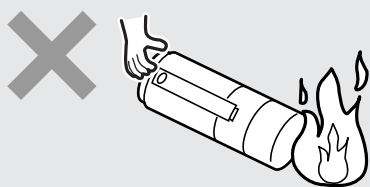
通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜かない



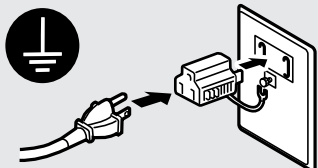
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

トナーボトルを火の中に投じない



トナーボトルを火の中に投じないでください。粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。

2極/3極変換プラグを使用するときは



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、アース線を次のどれかに取り付けてください。

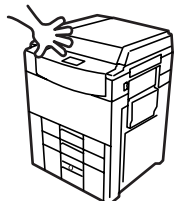
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事(第3種)を行っている接地端子

ただし次のようなところにはアース線を接続しないでください。

- ガス管(引火や爆発のおそれがあります。)
- 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。)
- 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

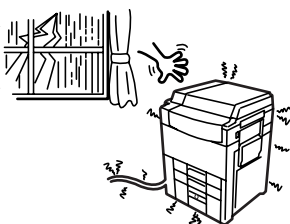
注意

こわれた液晶ディスプレイには触らない



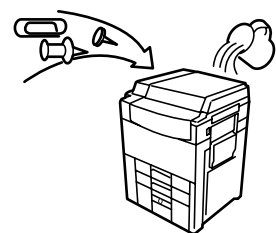
操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して医師に相談してください。

雷が発生しそうなときは装置に触らない



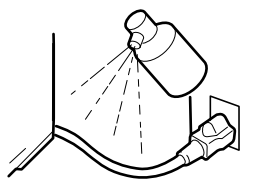
火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

プリンター内に水や異物を入れない



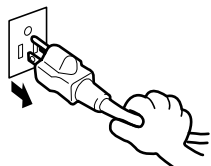
プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解したりしないで販売店に連絡してください。

電源コードに薬品類をかけない



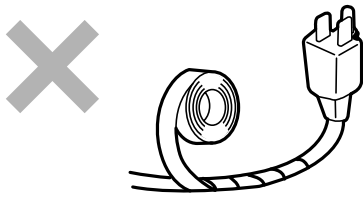
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

プラグの抜き差しは電源コードを引っ張らない



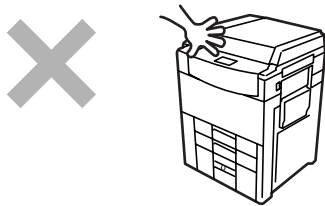
電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

損傷した電源コードは使わない



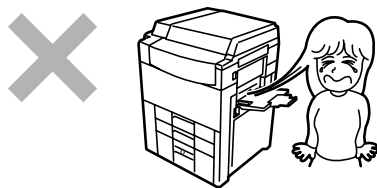
損傷した電源コードはすぐ同じものと取り替えてください。損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

高温注意



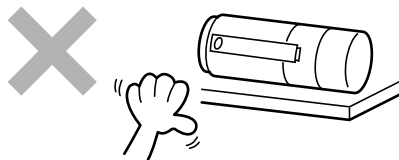
プリンターの内部には、使用中に高温になる定着ユニットという部品があります。カバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。

巻き込み注意



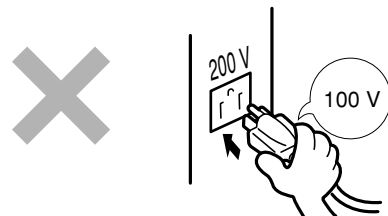
プリンターの動作中は用紙挿入口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

お子様に注意



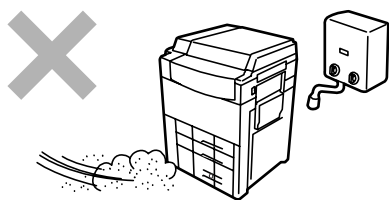
トナーはお子様の手の届かない所に保管してください。トナーが、目や口等に入ったりすると健康を損なうおそれがあります。

指定以外のコンセントに差し込まない



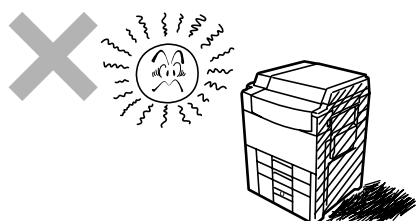
電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

ほこり・湿気の多い場所に置かない



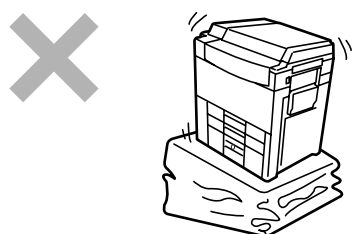
- プリンターをほこりの多い場所、給湯器のそばなど湿気の多い場所には置かないでください。火災になることがあります。
- プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災になることがあります。

日の当たるところには置かない



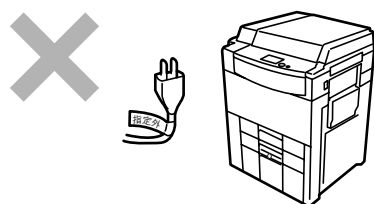
プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

不安定な場所に置かない



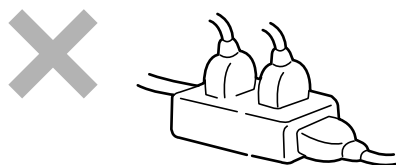
プリンターを不安定な場所には置かないでください。けがや周囲の破損の原因となることがあります。

指定以外の電源コードは使わない



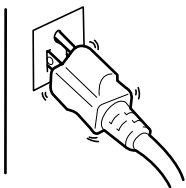
プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると、火災になるおそれがあります。

電源コードをたこ足配線にしない



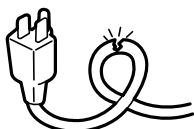
コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端な差し込みは接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また中途半端な差し込み部にほこりがたまると、水滴などが付いたとき発熱し、火災になるおそれがあります。

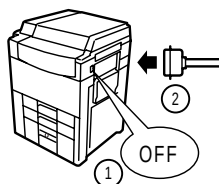
電源コードは曲げたり、ねじったりしない



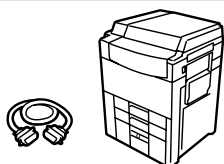
電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステーブル等で固定することもおやめください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

正しく動作させるために

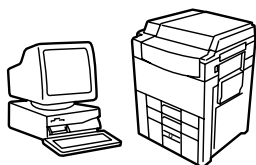
プリンターを正しく動作させるために、次に示す注意事項を守ってください。



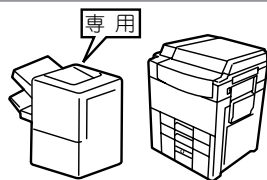
プリンターケーブルやオプションの取り付け、取り外しを行う前に電源スイッチをOFFにしてください。電源が入ったまま行うと誤動作するようになったり、故障することがあります。また、電源スイッチのON/OFF切り替えは、5秒以上間隔をあけて行ってください。同様に、プリンターが誤作動や故障することがあります。



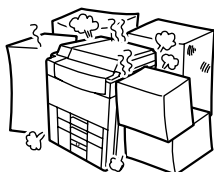
用意したプリンターケーブルがお客様のコンピューターに合っていることを確認してください(「使用できるプリンターケーブル」124ページ参照)。



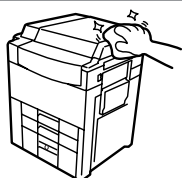
ご使用になるコンピューター環境に合った方法でコンピューター側からプリンターを指定してください。(指定方法についてはユーザズマニュアル[2/2]を参照してください。)



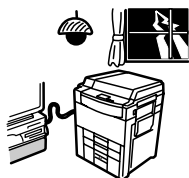
オプションはMultiWriter 6050専用のものをお使いください。たとえ取り付けられても正常に動作しないばかりか、プリンター本体が故障することがあります。(詳しくは、本書の5章をお読みください。)



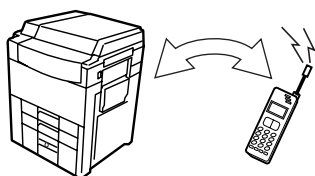
プリンターの排気孔をふさがないでください。また排気孔の上に物をのせないでください。プリンター内の温度が異常に高くなり、正しく動作しなくなることがあります。



定期的にプリンターを清掃してください。(清掃の内容は本書の6章で説明しています。)定期的な清掃は印刷品位を保つだけでなく、さまざまな故障の発生を未然に防ぐ効果もあります。



落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として交流無停電電源装置等を使用することをお勧めします。



携帯電話、PHSを近傍で使用しないでください。プリンタが異常動作するおそれがあります。

ユーザーサポート について

NECはMultiWriter 6050の「お客様登録」された方々にさまざまなユーザーサービスを用意しています。ユーザーサポートをお受けになる前に、本章で説明している保証、サービス内容について確認してください。

お客様登録申込書について

添付の「お客様登録申込書」に記載されている事項をよくお読みになり、御記入の上、投函してください。

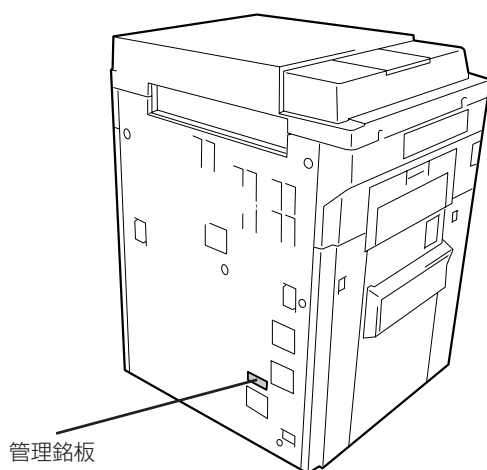
保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理いたします。詳細については「保証書」、および「保守サービスについて」(11ページ)をご覧ください。

また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。

— チェック —

本体の背面に製品の型式、SERIAL No.(製造番号)、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります(次ページの図参照)。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



管理銘板の位置

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出す前に以下の手順を実行してください。

- ① 電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認してください。
- ② 定期的な清掃を行っていたか確認してください。
- ③ 7章「故障かな？と思ったら」をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については添付の「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、「保証書」を添えてお申し込みください。

重要

海外でのご使用について

このプリンターは日本国内仕様のため、海外でご使用になる場合NECの海外拠点で修理することはできません。また日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、当社指定の保守サービス会社をご利用ください。

保守サービスは以下のような種類があります。

- 契約保守 年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理 サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。

種 類	概 要	修理料金		お支払い方法	受付窓口 ^{*1}
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引き取りして修理する場合がありますのでご了承ください。) 保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成に応じた年間一定料金		契約期間に応じて一括払い	NECフィールディング(株)
出張修理	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。(原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、引き取りさせていただいて修理する場合がありますのでご了承ください。) ご契約は不要です。	無料 ^{*2}	修理料 + 出張料	修理完了後 そのつど清算	

^{*1} 受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NECサービス網一覧」か、インターネットのホームページアドレス <http://www.fielding.co.jp/per/index.htm> をご覧ください。

^{*2} 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内のお出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

プリンターの寿命について

MultiWriter 6050の製品寿命は印刷枚数500万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。

補修用部品について

プリンターの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

ユーザーズマニュアルの再購入について

もしユーザーズマニュアルを紛失された場合は、下記のPCマニュアルセンターに品名を次のように指定してお申し込みください。ユーザーズマニュアル(コピー版)を実費で再度購入することができます。

- 名称 MultiWriter 6050 ユーザーズマニュアル
- 型番 PR-L6050-UM

なお、ユーザーズマニュアルの紛失に備えて、名称と型番をメモしておくようにしてください。

PCマニュアルセンター	
インターネット	http://www.pcmanual.nedox.co.jp/nedox/
電話	03-5476-1900
	受付時間 月曜から金曜 10:00~12:00 / 13:00~16:00 (土曜、日曜、祭日はご利用になれません)
FAX	03-5476-1967
	受付時間 24時間受付 (いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降となります。)

情報サービスについて

プリンター製品に関する情報を下記で提供しています。

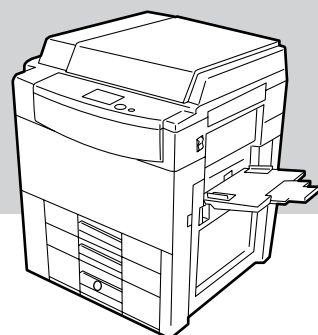
インターネット「121ware.com」 アドレス <http://121ware.com>

プリンターに関する技術的なご質問、ご相談は下記で電話にて承ります。

NECパソコンインフォメーションセンター

(電話番号、受付時間などについては「NECサービス網一覧表」をご覧ください。)

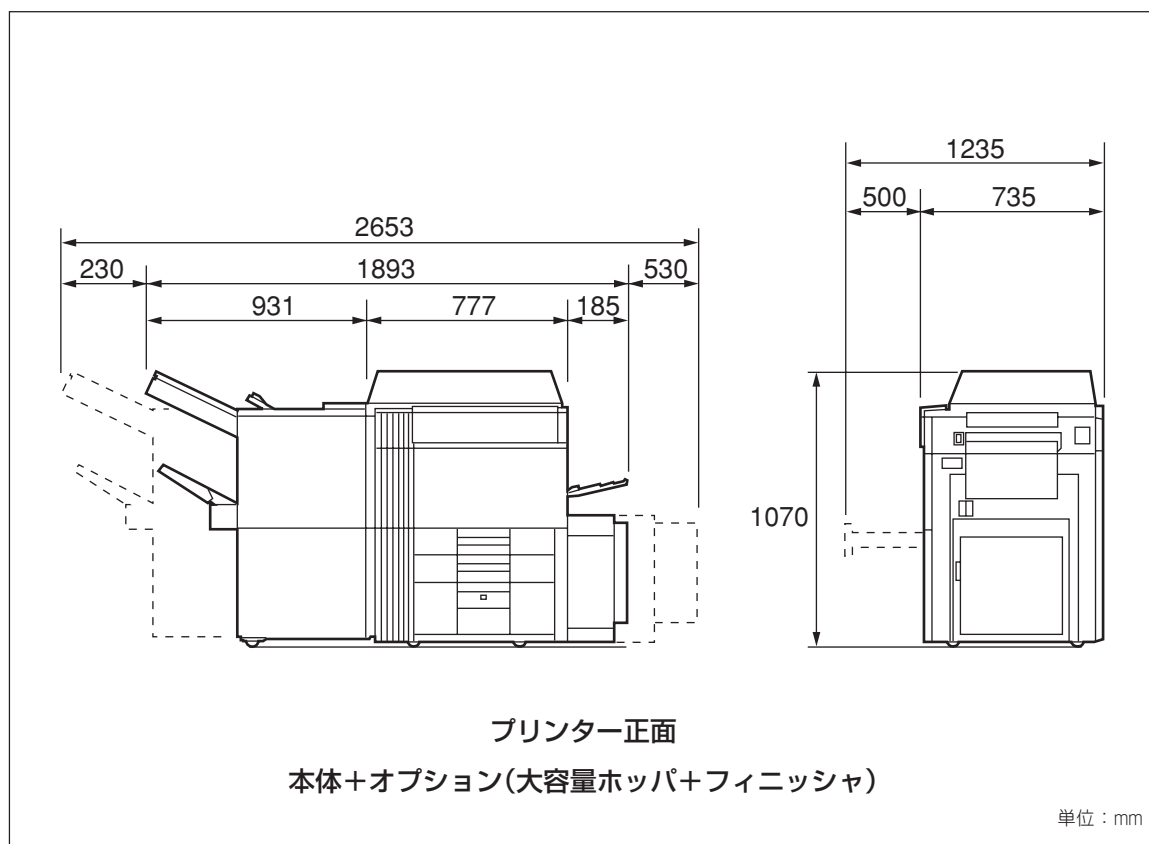
1 プリンターの設置



ここではMultiWriter 6050の設置にあたっての注意事項と梱包内容について説明します。
MultiWriter 6050の設置はサービス担当者が行います。

1 設置に必要なスペースを用意する

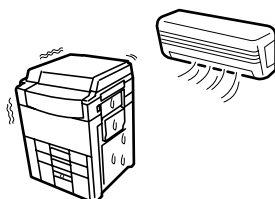
MultiWriter 6050の設置に必要なスペースは次のとおりです。MultiWriter 6050を安全、快適にご使用いただくために十分なスペースを確保し、風通しのよい場所に設置してください。



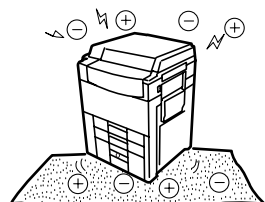
点線は紙づまりや消耗品の交換など保守時の位置です。

設置してはいけない場所

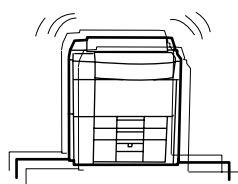
次のような場所には設置しないでください。



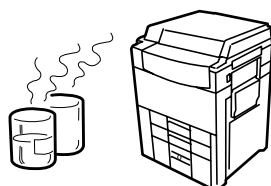
直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所(暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く)には設置しないでください。また温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。



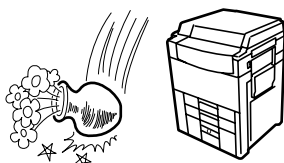
じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。



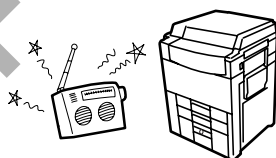
強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。



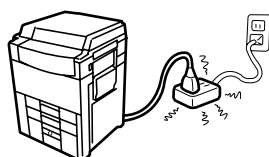
腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。



上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しなくなることがあります。



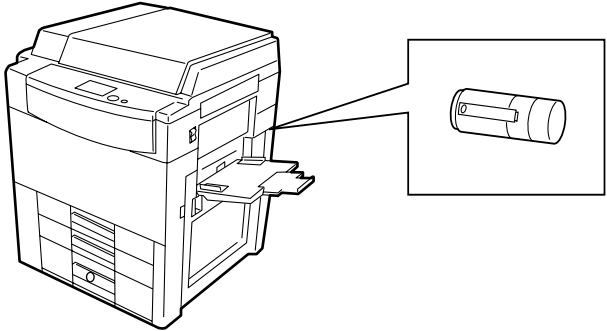
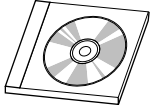
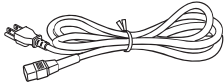
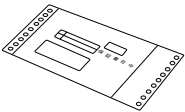
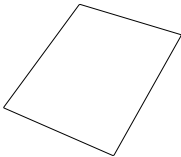
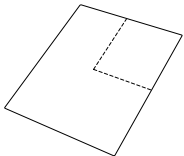
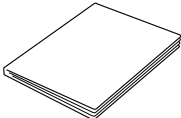
ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。



電源の延長コードは使用しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

2 箱の中身を確認する

箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。

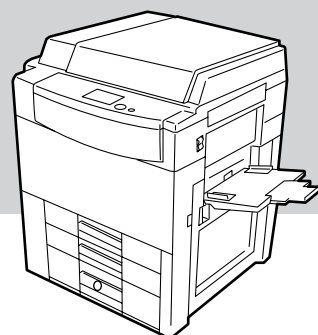
☐ MultiWriter 6050本体	☐ トナーボトル (装置に内蔵)	☐ プリンタソフトウェア CD-ROM
		
☐ ユーザーズマニュアル [1/2] (本書)	☐ ユーザーズマニュアル [2/2]	☐ 電源コード (装置背面に貼付)
		
☐ 2極/3極変換プラグ	☐ 保証書	☐ ソフトウェア のご使用条件
		
☐ お客様登録申込書	☐ NECサービス網一覧表	☐ LANボード 添付品キット
		

— ✓ チェック —

- 保証書とNECサービス網一覧表は大切に保管してください。
- お客様登録申込書は所定事項を記入の上、投函してください。
- プリンターソフトウェアCD-ROMの内容についてはユーザーズマニュアル[2/2]をご覧ください。

2章

各部の名称とはたらき

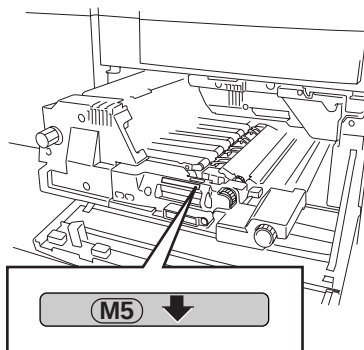


この章では、プリンターの各部の名称とはたらきについて説明します。プリンターを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。

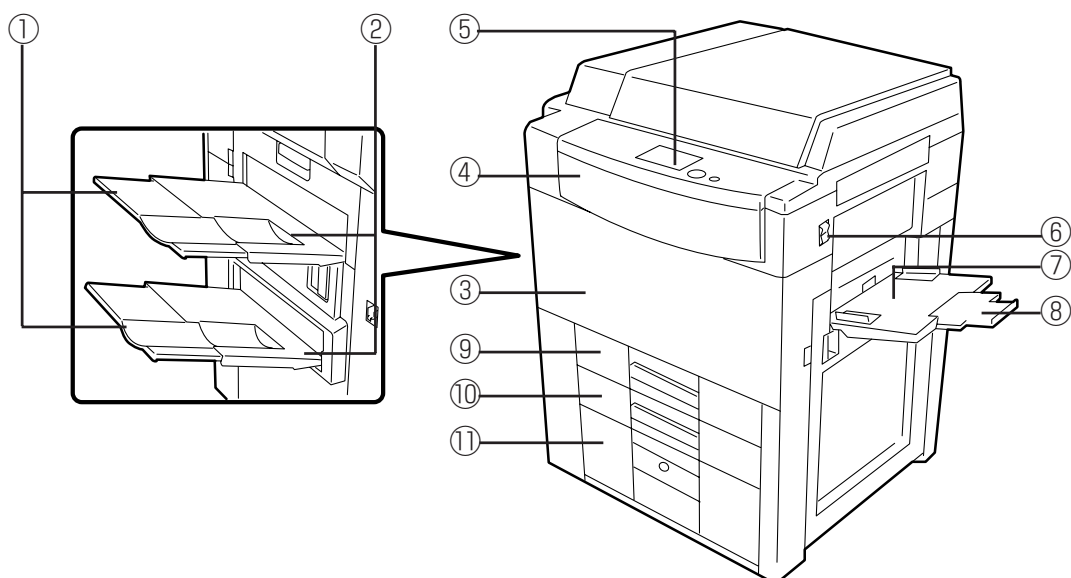
ヒント

レバーやノブなど紙づまりの際によく利用するパーツには、M5などのラベルが貼られています。

これは説明するパーツがすぐ探し出せるように配慮したものです。従って、本文中の名称も単に「M5ユニット」と省略して説明することがあります。

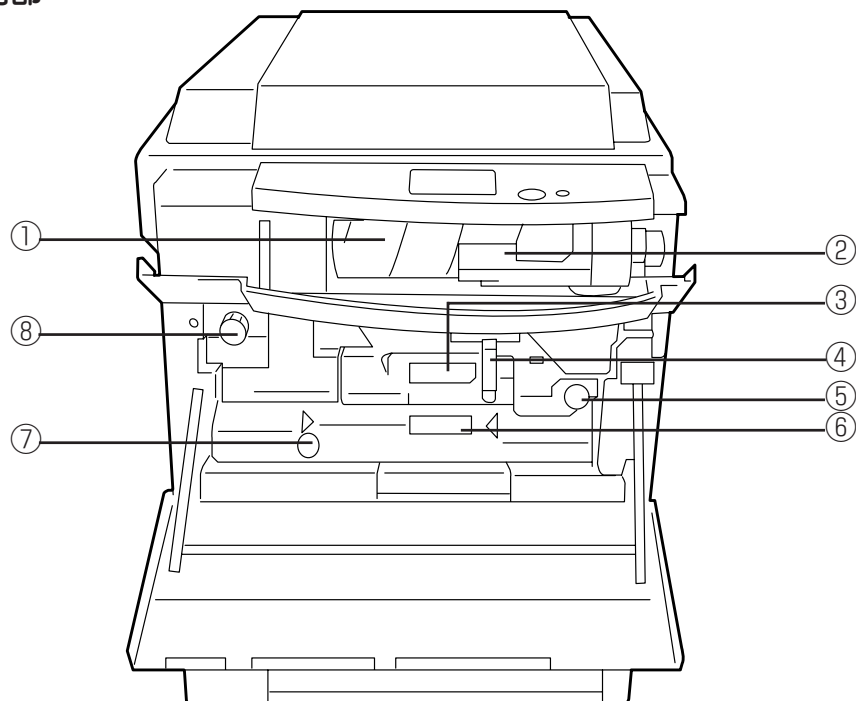


プリンター本体



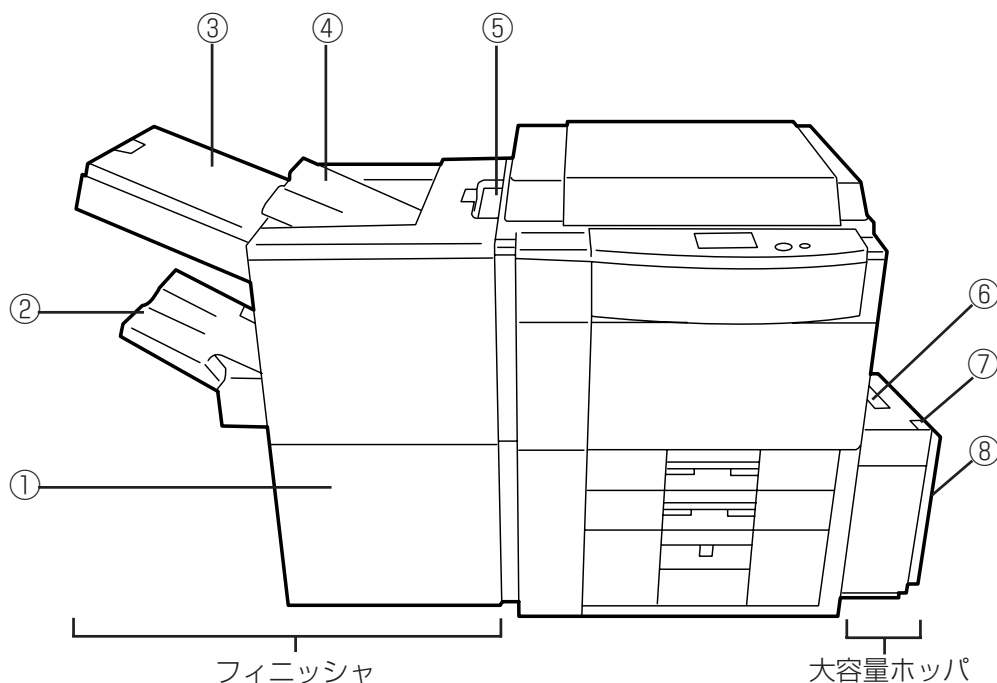
- ① 補助トレイ : 大きなサイズ of 用紙に印刷する場合に引き出します。
- ② 排紙トレイ : 印刷された用紙が排出されます。(オプション)
上段フェイスアップ排出100枚、下段フェイスダウン排出250枚までスタックできます。
- ③ 前ドア : 紙づまりのときに開けます。 →88ページ
- ④ 前上ドア : トナーの補給時に開けます。 →67ページ
- ⑤ 操作パネル : プリンターの状態を見たり、各種設定を行います。
操作パネルについて →23ページ
- ⑥ メインスイッチ : プリンターの電源のON/OFFを行います。
- ⑦ トレイ : 手差し印刷をするときに、用紙をここにセットします。
トレイには普通紙やラベル紙をはじめ、ホッパにセットできない厚紙、はがき、往復はがき、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。トレイの容量は坪量64.0g/m²(連量55kg)の普通紙で50枚です。
定形外用紙のサイズは幅100～297mm、長さ148～420mmです。
- ⑧ 補助トレイ : 大きなサイズ of 用紙をトレイにセットする場合に引き出します。
- ⑨ ホッパ1 : 用紙サイズ固定(サイズ設定変更は可能)のホッパです。セットできる用紙は、A3縦、A4縦／横、A5縦、B4縦、B5縦／横、レターです。
このホッパには普通紙(坪量64.0g/m²)を500枚までセットできます。
→47ページ
- ⑩ ホッパ2 : ユニバーサル(サイズ自動検出)のホッパです。セットできる用紙は、A3縦、A4縦／横、A5縦、B4縦、B5縦／横、レターです。
このホッパには普通紙(坪量64.0g/m²)を500枚までセットできます。
→48ページ
- ⑪ ホッパ3 : セットできる用紙は、A4横のみです。
このホッパには普通紙(坪量64.0g/m²)を2,500枚までセットできます。
→49ページ

プリンター内部



- ① トナーボトル : トナーが入っています。トナー補給メッセージが表示された場合にトナーボトルの交換を行います。 →67ページ
- ② トナーボトルホルダー : トナーボトルを交換する場合に開きます。 →67ページ
- ③ 紙づまり処理ユニット(M5) : 紙づまりを処理する場合に開きます。 →89ページ
- ④ 紙づまり処理レバー(M4) : M5ユニットを引き出す場合に倒します。 →89ページ
- ⑤ 紙づまり処理ノブ(M3) : 紙づまりを処理する場合に回します。 →89ページ
- ⑥ 両面ユニット(D2) : 両面ユニット内で紙づまりした場合に引き出します。
→93ページ
両面印刷が可能な用紙サイズはA3縦、A4縦／横、A5縦、B4縦、B5縦／横、レターです。それ以外の用紙は両面印刷できません。
- ⑦ 紙づまり処理ノブ(D1) : 紙づまりを処理する場合に回します。 →88、92ページ
- ⑧ 紙づまり処理ノブ(M1) : 紙づまりを処理する場合に回します。→88、92ページ

オプション



フィニッシャ

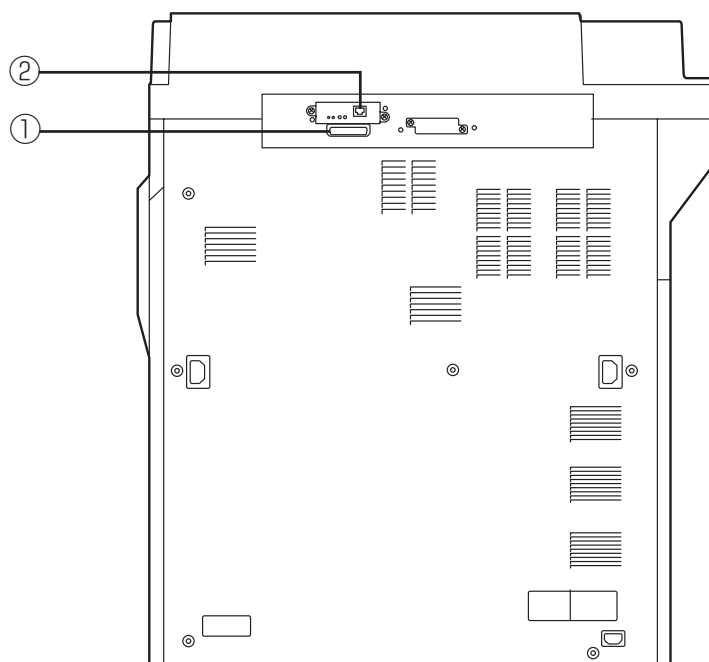
- ① フィニッシャ前ドア : 以下の場合に開きます。
- ステープルカートリッジの交換 →71ページ
 - 紙づまりの処理 →96ページ
- ② 下段排出トレイ : 印刷された用紙やステープルされた印刷用紙がここに排出されます。
最大2,000枚スタックできます。
- ③ 処理トレイカバー : マニュアルステープルする場合や紙づまりの処理をする場合に開きます。
マニュアルステープルをする →58ページ
- ④ 上段排出トレイ : 印刷された用紙がここに排出されます。
最大100枚スタックできます
- ⑤ 引き離しレバー : 紙づまりを処理する場合など、フィニッシャをプリンターから離すときに使います。

大容量ホッパ

このホッパにはA4判の普通紙(坪量64.0g/m²)を3000枚まで横置きでセットすることができます。

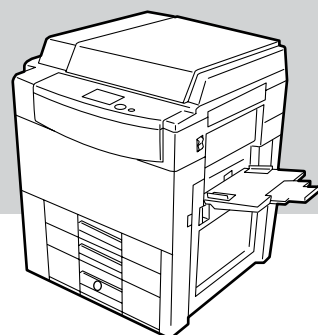
- ⑥ ロック解除レバー : 紙づまりを処理する場合など、大容量ホッパをプリンターから離すときに使います。
- ⑦ 給紙テーブル下降キー : 給紙テーブルを下げる場合に押します。
- ⑧ ホッパドア : 印刷用紙の補給や紙づまりの処理をする場合に開きます。

プリンター背面



- ① インターフェースコネクター : プリンターケーブルを差し込み、コンピューターと接続します。 →56ページ
- ② ネットワークインターフェースコネクター : ネットワークケーブルを差し込み、ネットワークを介してコンピューターと接続します。 →57ページ

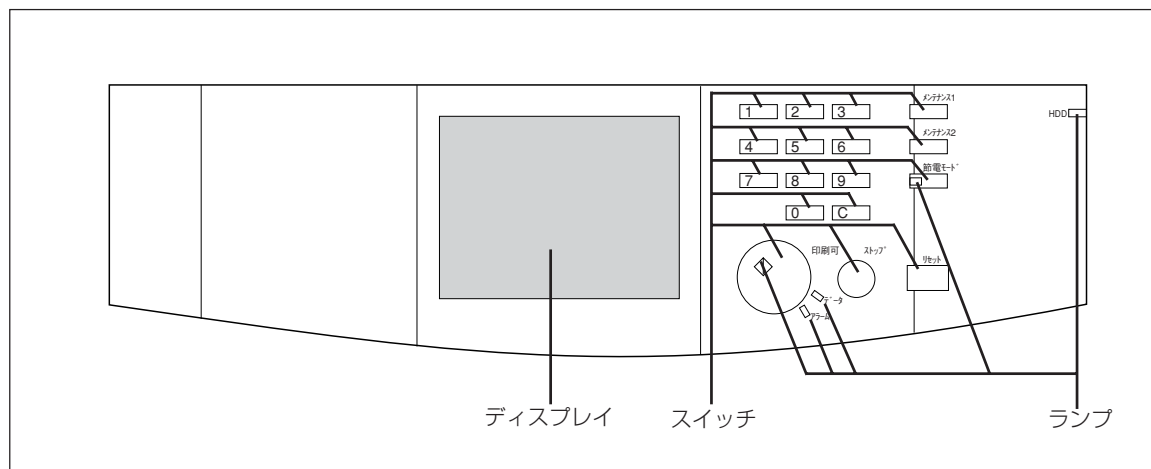
3章 操作パネルについて



3 操作パネルについて

操作パネルはユーザーがプリンターの状態を見たり、設定を行ったりするためのものです。

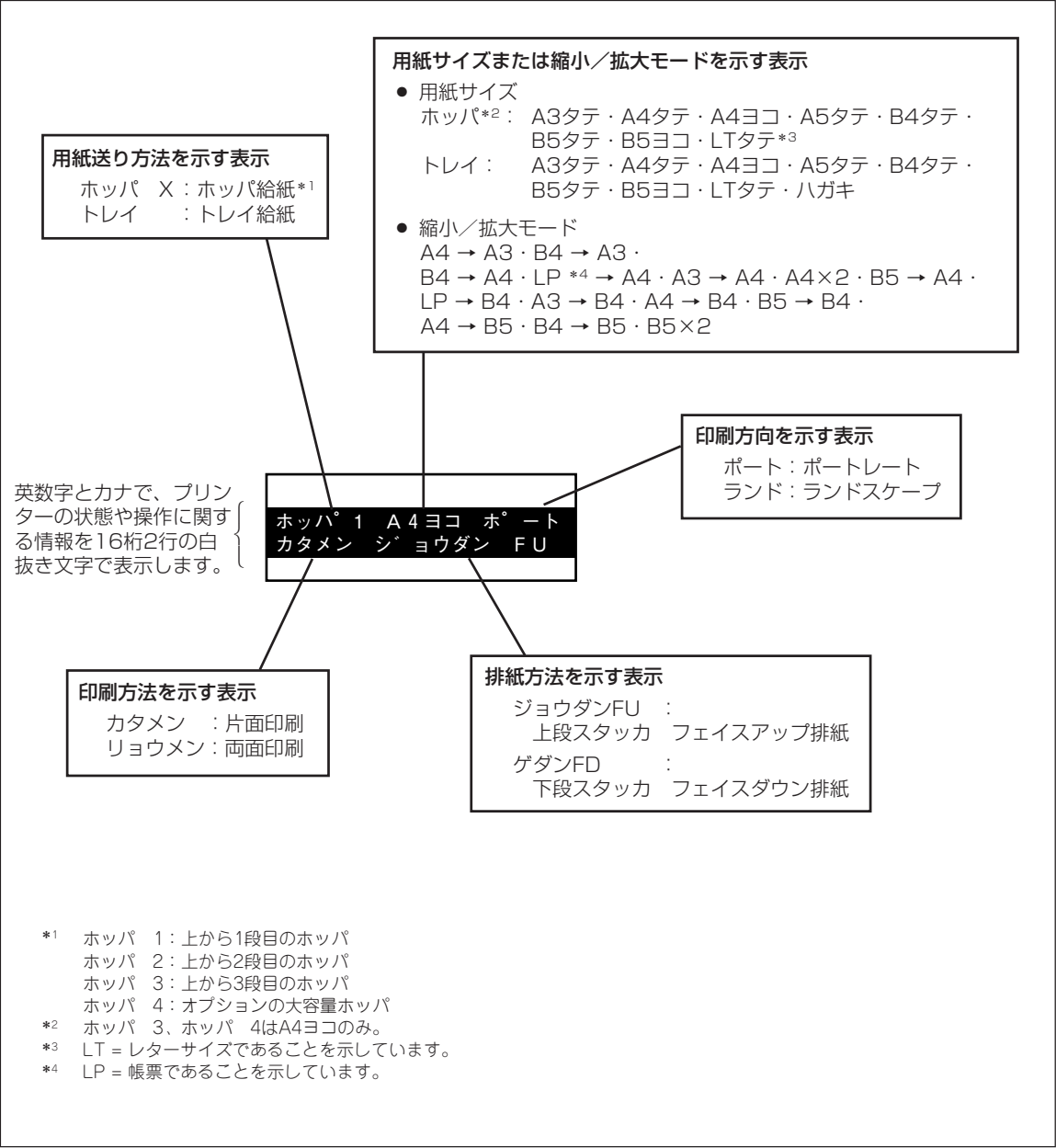
ここでは操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について、説明します。



操作パネル

ディスプレイ

16桁2行の液晶ディスプレイです。英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を表示します。



英数字とカナで、プリンターの状態や操作に関する情報を16桁2行の白抜き文字で表示します。

現在有効な機能を表示します。これらはタッチパネルスイッチの役割を果たし、ディスプレイに指で触れることで機能の選択が行えます。

ホッパ° 1 A4ヨコ ポート									
カタメン ショウダン FU									
その他			排紙				給紙		
縮小							印刷方向		
両面			スタッカ				ホッパ°		
メニュー			排出				トレイ		

ディスプレイの表示（ディセレクト状態）

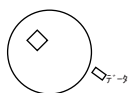
その他の表内容については本書「アラーム表示が出ているときは」(83ページ)、「通常メニューツリー」(38～43ページ)をご覧ください。

ランプ



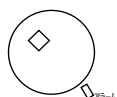
印刷可ランプ(緑)

- 点灯 プリンターがセレクト状態 (印刷データを受信できる状態) になっています。
- 消灯 プリンターがディセレクト状態 (印刷データを受信できない状態) になっています。



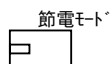
データランプ(橙)

- 点灯 プリンター内に印刷データが残っています。
- 点滅 プリンターが印刷データを受信中です。
- 消灯 プリンター内にデータが残っていません。
プリンターはデータを受信中ではありません。



アラームランプ(赤)

- 点灯 30秒ごとにブザーが6回鳴ります。
用紙がセットされていない、カバーが開いているなど、プリンターにエラーが発生している状態です。詳細については本書の「アラーム表示が出ているときは」(83ページ)をご覧ください。
- 消灯 プリンターにエラーが発生していない状態です。



節電モードランプ(緑)

- 点灯 節電モードに設定されています。
- 消灯 節電モードではありません。

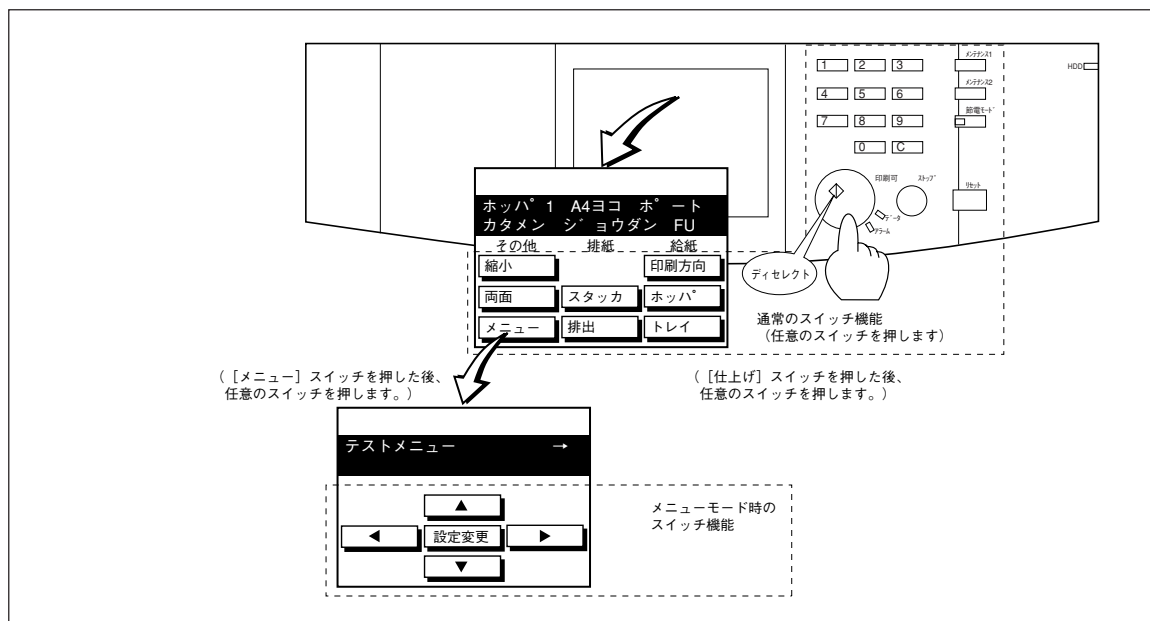


HDDランプ(赤) (増設ハードディスクオプション増設時)

- 点灯 HDDにアクセス中です。
- 消灯 HDDにアクセスしていない状態です。

スイッチ

プリンターの操作パネルには17個のスイッチがあり、それぞれのスイッチには2つまたは3つの機能を持たせています。



スイッチの機能

- 通常のスイッチ機能** — [印刷可]スイッチを押し、ディセレクト状態(印刷可ランプが消灯している状態)になってはじめて機能します([ストップ]スイッチ、[節電モード]スイッチを除く)。
- メニューモード時のスイッチ機能** — [メニュー]スイッチを押して通常メニューモードに入ると働く機能です。



チェック

- アラームランプが点灯している間はこのスイッチも機能しません。アラームの詳細については「アラーム表示が出ているときは」(83ページ)をご覧ください。
- アプリケーションによってはスイッチによる設定をアプリケーション側で行えるものもあります。

通常のスイッチ機能



印刷可

[印刷可]スイッチ

このスイッチはプリンターが初期設定中およびテスト印刷中以外に機能します。

データを受信できる状態にする。

スイッチを押すごとにデータを受信できる状態(セレクト状態、印刷可ランプ緑点灯)と受信できない状態(ディセレクト状態、印刷可ランプ消灯)を交互に切り替えます。

〔トレイ〕スイッチ

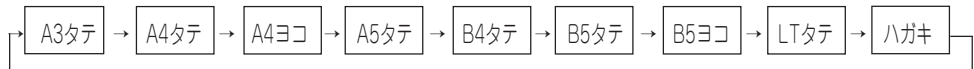
このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

トレイ給紙にする。

ホッパから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、トレイから用紙を給紙する状態に切り替わります。

トレイ給紙の用紙サイズを変更する。

トレイ給紙を選択しているとき、このスイッチを押すたびに用紙サイズの設定が次のように変わります。



〔両面〕スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

両面印刷モードにする(両面印刷モードを解除する)。

ディスプレイに“カタメン”と表示している状態でこのスイッチを押すと、表示が“リョウメン”に切り替わり、両面印刷モードになります。

このスイッチを押すたびに両面印刷モードの設定と解除が切り替わります。

ヒント

ただし、トレイ給紙で「厚紙」、「OHP」または「定形外用紙」を指定した場合は、印刷は片面で行われます。



〔ストップ〕スイッチ

このスイッチは常に機能します。

データの受信と印刷を停止し、ディセレクト状態にする。

印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を排出した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンター内に残ったままになります。印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

〔メニュー〕スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

通常メニューモードに入る。

このスイッチを押すと、通常メニューモードに入ります。

ホッパ

[ホッパ]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

ホッパ給紙に切り替える。

トレイから用紙を送る状態でこのスイッチを押すと、ホッパから用紙を送る状態に切り替わります。

ホッパ給紙を選択しているときは、このスイッチで給紙するホッパを選択する。

ホッパ給紙を選択中にこのスイッチを押すたびに給紙ホッパの設定が変わります(選択されたホッパがディスプレイに表示されます)。

印刷方向

[印刷方向]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。

印刷方向を選択する。

このスイッチを押すごとに、ポートレートとランドスケープを交互に切り替えます。用紙の置き方に関係なく、縦長にした内容を印刷するときはポートレートを、横長にした内容を印刷するときはランドスケープを指定します。選択されている印刷方向は、ディスプレイに表示されています。

縮小

[縮小]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。また、選択されている用紙サイズがA3、A4、B4、B5のときに機能します。

縮小／拡大モードの設定を行う。

このスイッチを押すと以下のような縮小／拡大印刷ができます。印刷する用紙サイズによって、次の順序でモード選択されます。

- A3サイズに印刷する

A3タテ → A4→A3 → B4→A3 → A3タテ → (繰り返し)

- A4サイズに印刷する

A4タテ
または → B4→A4 → LP→A4^{*1} → A3→A4 → A4×2^{*2} → B5→A4 → A4タテ
A4ヨコ または → (繰り返し)
A4ヨコ

- B4サイズに印刷する

B4タテ → LP→B4 → A3→B4 → B5→B4 → A4→B4 → B4タテ → (繰り返し)

- B5サイズに印刷する

B5ヨコ → A4→B5 → B4→B5 → B5×2^{*3} → B5ヨコ → (繰り返し)

*1 LPは帳票サイズ(136桁×66行)を意味します。

*2 A4×2はA4サイズの2ページ分のデータをA4用紙1枚に印刷します。

*3 B5×2はB5サイズの2ページ分のデータをB5用紙1枚に印刷します。



アプリケーションによっては縮小・拡大が正しく印刷されないものがあります。

[スタッカ]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプとデータランプが消灯しているときに機能します。スタッカの用紙排出先と排出面の切り替えを行います。

スタッカの排出先と排出面の切り替えを行う。

このスイッチを押すたびにスタッカの用紙排出先と排出面の設定が次のように変わります。



- FUはフェイスアップ(印刷面が上面に排出されること)を意味します。
- FDはフェイスダウン(印刷面が下面に排出されること)を意味します。
- トレイ給紙の場合は、用紙サイズがハガキのとき、または用紙種別が普通紙以外のときは

ジョウダン FU

 固定です(スイッチを押しても設定は変わりません)。



[節電モード]スイッチ

このスイッチはメニューモードとトナー補給中以外に機能します。

節電モードの有効/無効の切り替えを行う。

スイッチを押すごとに節電モード有効(節電モードランプ点灯)と節電モード無効(節電モードランプ消灯)に交互に切り替えます。



[メンテナンス1]スイッチ

[メンテナンス2]スイッチ

この2つのスイッチは機能しません。

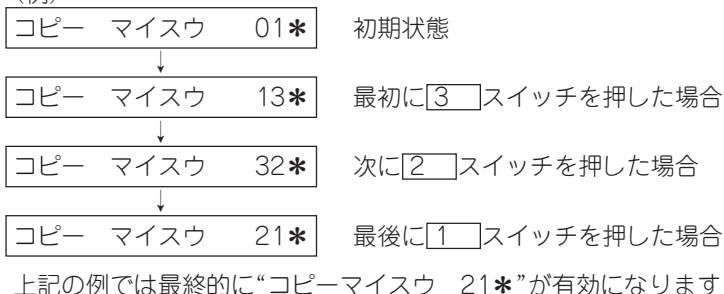
[10キー]スイッチ

このスイッチは、通常メニューモード時のコピー枚数指定時に機能します。

コピー枚数の指定を行う。

このスイッチを押すたびに設定が次のように変わります。

(例)





[クリア]スイッチ

このスイッチは通常メニューモード時のコピー枚数指定時に機能します。

コピー枚数指定の取り消しを行う。

[10キー]スイッチによって入力されたコピー枚数の取り消しを行います。このスイッチが押された場合、コピー枚数は初期値の01になります。



[リセット]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯しているときに機能します。アラーム中も機能します。

プリンターを初期状態にする。

このスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセットジツコウ”と表示され、未印刷データは消失し、プリンターは初期状態(電源スイッチON直後の状態)になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

— ✓ チェック —

リセットを行うと、スイッチを使って変更したプリンターの設定も、初期状態(電源ON直後の状態)に戻ります。ただし、メニュースイッチを使って変更したメニューモードの内容はリセットされません。詳細は33ページをご覧ください。



[排出]スイッチ

このスイッチは印刷可ランプが消灯していて、データランプが点灯している(ディスプレイに“データガノコッテイマス”と表示されている)ときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

プリンターに残っている未印刷データをすべて印刷する。

このスイッチを押すとプリンターに残っているデータをすべて印刷出力します。

— ✓ チェック —

プリンター内にデータを残したまま次の印刷を行うと、プリンターは残っているデータと次の印刷データを重ねて印刷する場合があります。

メニューモード時のスイッチ機能



印刷可

【印刷可】スイッチ

メニューモードを終了させる。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

設定変更

【設定変更】スイッチ

メニューモード時に設定変更したい項目(レベル3)を選択する。

メニューモード時にメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更することができます。



【▶】スイッチ

メニューモード中は[→]スイッチとして機能する。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの次のレベル(レベル2またはレベル3)の項目を選択することができます。



【▲】スイッチ

メニューモード中は[↑]スイッチとして機能する。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。



【◀】スイッチ

メニューモード中は[←]スイッチとして機能する。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル(レベル1またはレベル2)の項目を選択することができます。



【▼】スイッチ

メニューモード中は[↓]スイッチとして機能する。

メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。

メニューツリーの詳細については「メニューツリー」(38～43ページ)をご覧ください。

メニューモード

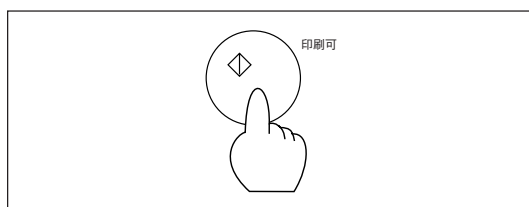
メニューモードでは、プリンターの操作パネル上のスイッチを使ってプリンターのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードでの設定変更のしかた

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

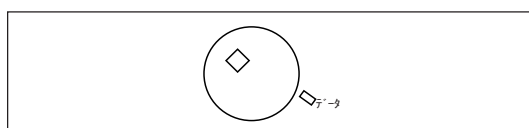
1. [印刷可]スイッチを押して、ディセレクト状態にする。

[印刷可]ランプが消灯します。



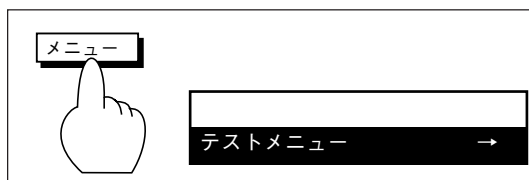
2. データランプが点灯していないことを確認する。

もし点灯していたら排出スイッチを押して、データを排出してください。



3. [メニュー]スイッチを押す。

プリンターはメニューモードに入り、ディスプレイに「テストメニュー →」を表示します。

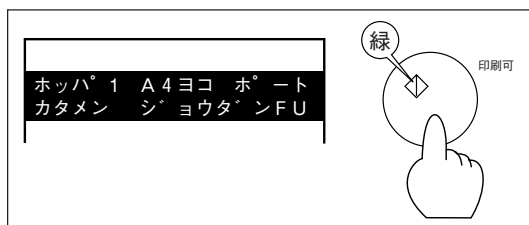


4. メニューモードの設定内容を変更する。

通常メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧表」および38～43ページの「メニューツリー」を参照してください。

メニューモード中は次の5個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

[◀]、[▼]、[▶]、[▲]スイッチ ... このスイッチを押すとその方向へ進むことを示しています。
[設定変更]スイッチ レベル3をひとつずつ表示し、同時に表示された内容が自動的に選択されます。



5. [印刷可]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンターはセレクト状態になり、印刷可ランプが点灯し、ディスプレイは通常表示に戻ります。

通常メニューモード設定項目一覧

通常メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。
また、これらの設定はメモリースイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。さらに詳細については、「付録A」を参照してください。

通常メニューモード設定項目一覧(1/2)

設定項目		説 明	メニューモード	メモリースイッチ (MSW)
テスト印刷メニュー	ステータス印刷	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、オプションの接続やメモリースイッチの状態など、各プリンターの状態が印刷されます。	○	×
	サンプル印刷	サンプル印刷を行います。	○	×
	連続印刷	連続印刷（テスト印刷）を行います。	○	×
	MSWダンプ印刷	メモリースイッチの状態が印刷されます。	○	×
	16進ダンプ印刷	16進ダンプ印刷を行います。	○	×
	保守印刷	保守印刷を行います。	○	×
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“99”まで設定できます。	○	×
用紙メニュー	ホッパ初期設定	電源投入時およびリセット時のホッパ設定を選択します。	○	×
	用紙サイズ設定	ホッパ給紙時の用紙サイズ設定を選択します。	○	×
	トレイ用紙	トレイで使用する用紙の種別を選択します。	○	×
	合紙モード設定	合紙として給紙するホッパ設定を選択します。*1	○	×
	リレイ給紙設定	リレイ給紙機能を使用するかどうかを選択します。*2	○	×
	ジョブセパレート機能	ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。	○	×
印字位置設定メニュー	ホッパ1微調整		○	×
	ホッパ2微調整		○	×
	ホッパ3微調整		○	×
	ホッパ4微調整 *3		○	×
	トレイ微調整		○	×
	表面微調整		○	×
	裏面微調整		○	×

○：有効 ×：無効

- *1 合紙モードに設定されたホッパは、通常使用では印刷されません。
合紙モードを設定した場合は、印刷で使用するホッパと違うホッパを設定してください。
- *2 リレイ給紙はリレイするホッパとリレイされるホッパの両方をONにしてください。
- *3 オプション実装時のみ

通常メニューモード設定項目一覧(2/2)

設定項目		説 明	メニュー モード	メモリー スイッチ (MSW)
両面印刷 メニュー	初期設定	電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。	○	×
	綴じしろ	綴じしろを付加する位置を設定します。	○	×
	余白	綴じしろを付加する量を設定します。	○	×
	クリップ	印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか、自動改行／改ページするかを設定します。	○	×
運用 メニュー	節電機能*1	節電機能を使用するかしないかを設定します。	○	○
	自動排出*2	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	○	×
	メモリー設定	プリンターが持つメモリーの使用方法を選択します。	○	×
フォント メニュー	1バイト系ゼロ	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	×
	ANK	1バイトコード系のフォントのANK文字を選択します。	○	×
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	○	×
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	○	×
	国別	各国文字セットを選択します。	○	○
動作メニュー	動作エミュレーション	セントロニクス、機能拡張機構インターフェースで個別にプリンターの動作モードを設定します。	○	×
	動作自動切り替え	自動的にエミュレーションを切り替えて印刷します。	○	×
NPDL設定 メニュー	A4ポートレート桁数	用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数を設定します。	○	○
	エミュレーション	ページプリンターモードか201PLEミュレーションモードかを選択します。	○	○
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○
設定初期化 メニュー	初期化	メニュー項目を初期設定に戻します。	○	×
	呼び出し	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	○	×
	記憶	メニューモード内の各種機能設定とトレイスイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。	○	×
メモリースイッチメニュー	メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。		○	×

○：有効 ×：無効

3
操作パネルについて

- *1 節電モード中は、オプションの大容量ホッパとフィニッシュは動作しないので、大容量ホッパへの用紙補給やマニュアルステープルをするときは、節電モードを解除してから行ってください。
- *2 コンピューターに負荷がかかっている場合やネットワークのトラフィックが多いときなど、自動排出までの待ち時間(最大30秒)以上にデータ送信に時間がかかる場合があります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られません。自動排出の設定を無効にする必要があります。

メモリスイッチの内容

メモリスイッチは1か0を選択することによって、他のメニューと同じように様々な機能を設定することができます。

メモリスイッチは1-1から8-8まであります(未使用のスイッチもあります)。表中の太文字は工場出荷時の設定を示しています。

通常メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容(1/2)

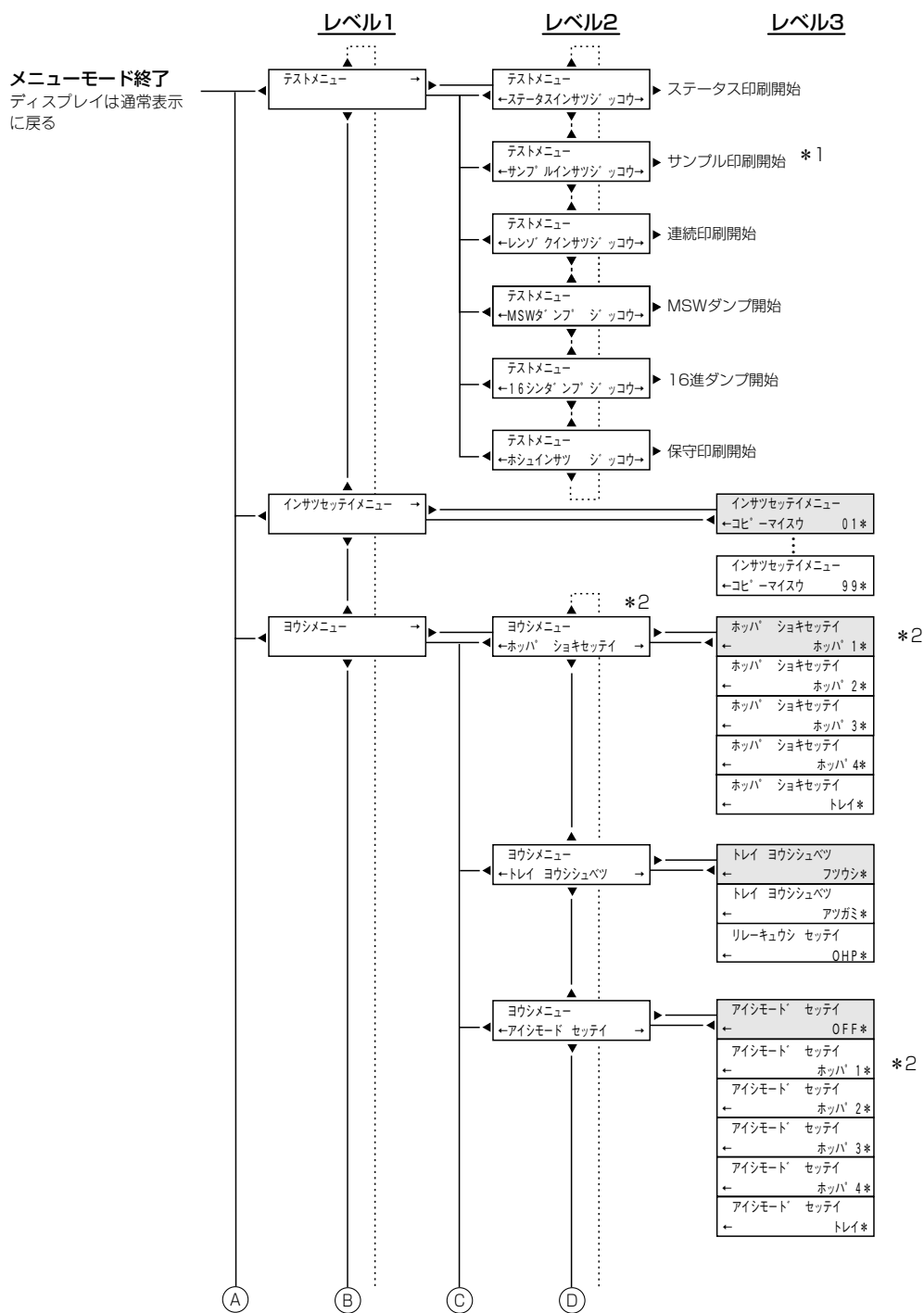
番号	機 能	0	1
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。（「付録」を参照してください。） すべて0（日本語）	
1-2			
1-3			
1-4	(未使用)		
1-5	DC1、DC3の有効／無効の切り替え	有効	無効
1-6	自動復帰改行の切り替え	復帰改行	復帰のみ
1-7	印刷指令の切り替え	CRのみ	CR＋その他
1-8	CR機能の切り替え	復帰のみ	復帰改行
2-1	1バイトコード系のゼロの字体の切り替え	0	Ø
2-2	電源投入時のエミュレーションモードの切り替え	201PLエミュレーション	ページプリンター（NPDL）
2-3	グラフィックモードの切り替え	ネイティブモード	コピーモード
2-4～2-5	(未使用)		
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	8ビット	7ビット
2-7	A4ポートレート印刷桁数の切り替え	78桁	80桁
2-8	B4 → A4 縮小の縮小率	4/5倍	2/3倍
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位）（「付録」を参照してください。） すべて0（0インチ）	
3-2			
3-3			
3-4			
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	左	右
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	左端合わせ	中央合わせ
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	無効	有効
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	有効	無効
4-1	解像度選択の有効／無効の切り替え	有効	無効
4-2	(未使用)		
4-3	ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え	初期化する	初期化しない
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	出力する	出力しない
4-5	ランドスケープ方向の切り替え	反時計回り	時計回り
4-6～4-8	(未使用)		

通常メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容(2/2)

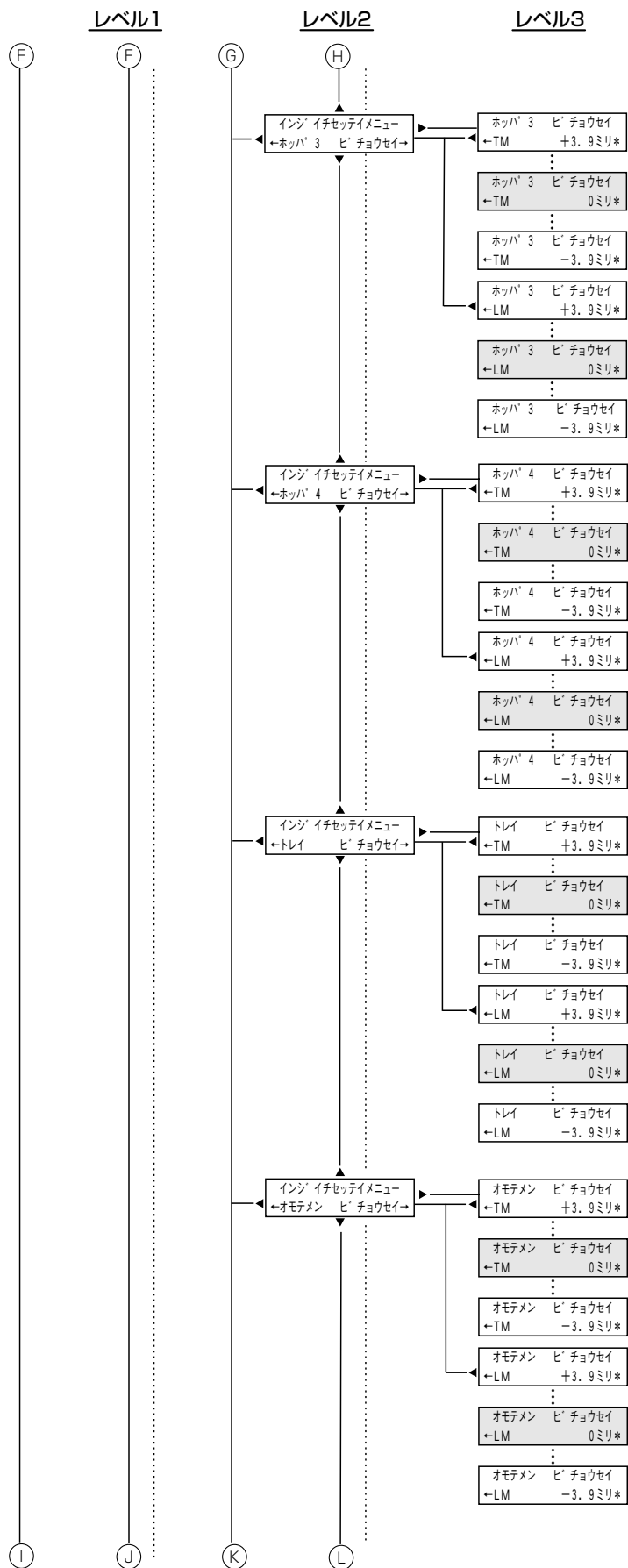
番号	機 能	0	1
5-1	同期コードの有効／無効の切り替え	無効	有効
5-2～5-8	(未使用)		
6-1～6-6	(未使用)		
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	使用する	使用しない
6-8	(未使用)		
7-1	データストロープのデータラッチタイミング (セントロニクスインターフェース)	前縁ラッチ	後縁ラッチ
7-2	データストロープのデータラッチタイミング (LANボードインターフェース)	前縁ラッチ	後縁ラッチ
7-3～7-6	(未使用)		
7-7	FS fコマンドでの指定用紙サイズなしを 表示する／しないの切り替え	表示する	表示しない
7-8	FS fコマンドでの自動縮小をする／しない の切り替え	自動縮小する	自動縮小しない
8-1 8-2	ビジアクノリッジ (BUSY- $\overline{\text{ACK}}$) の タイミング (セントロニクスインターフェース)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 BUSY- $\overline{\text{ACK}}$ のタイミングを切り替えます。 タイミングA	
8-3 8-4	アクノリッジ ($\overline{\text{ACK}}$) の幅 (セントロニクスインターフェース)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 ACKの幅を切り替えます。 1 μs	
8-5 8-6	ビジアクノリッジ (BUSY- $\overline{\text{ACK}}$) の タイミング (LANボードインターフェース)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 BUSY- $\overline{\text{ACK}}$ のタイミングを切り替えます。 タイミングA	
8-7 8-8	アクノリッジ ($\overline{\text{ACK}}$) の幅 (LANボードインターフェース)	2つのスイッチの1/0の組み合わせで、 ACKの幅を切り替えます。 1 μs	

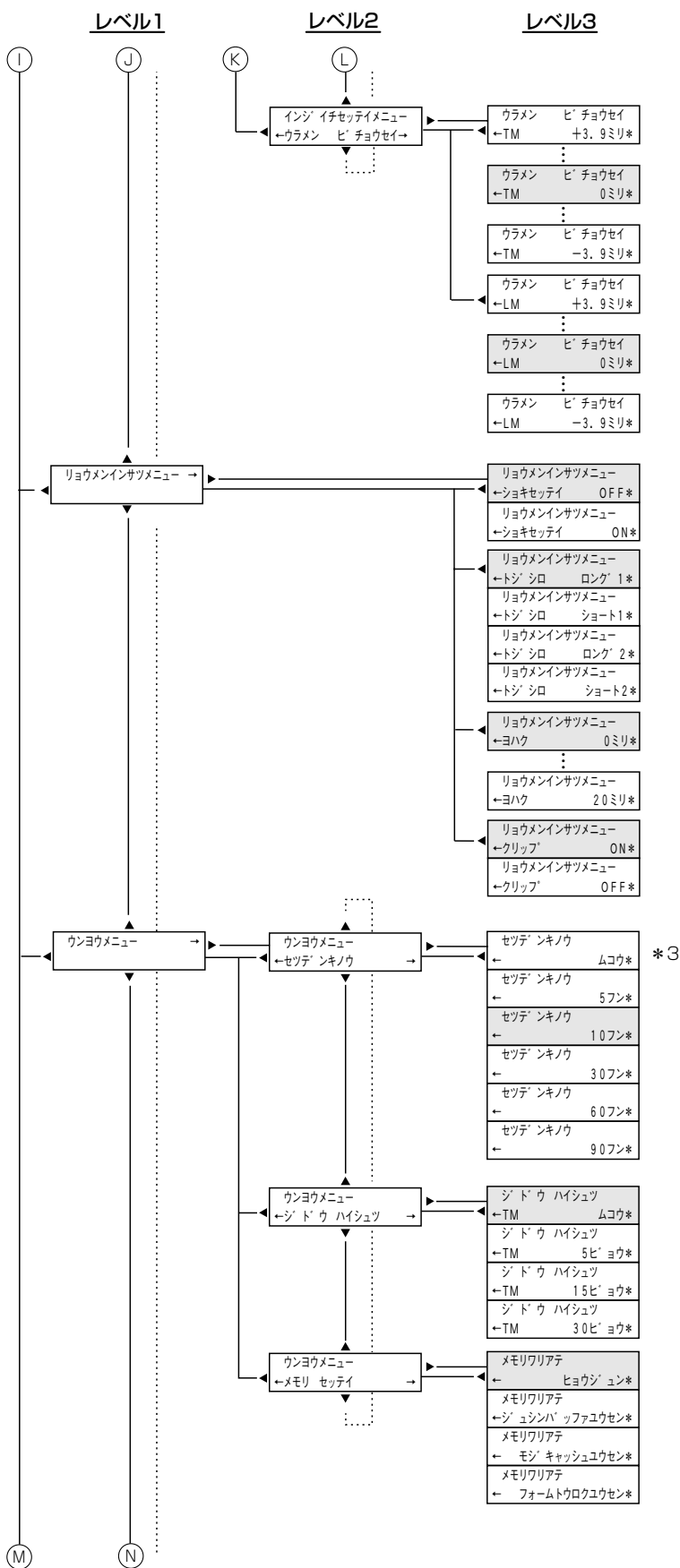
通常メニューツリー

通常メニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。(網掛け部分は工場設定値です。)

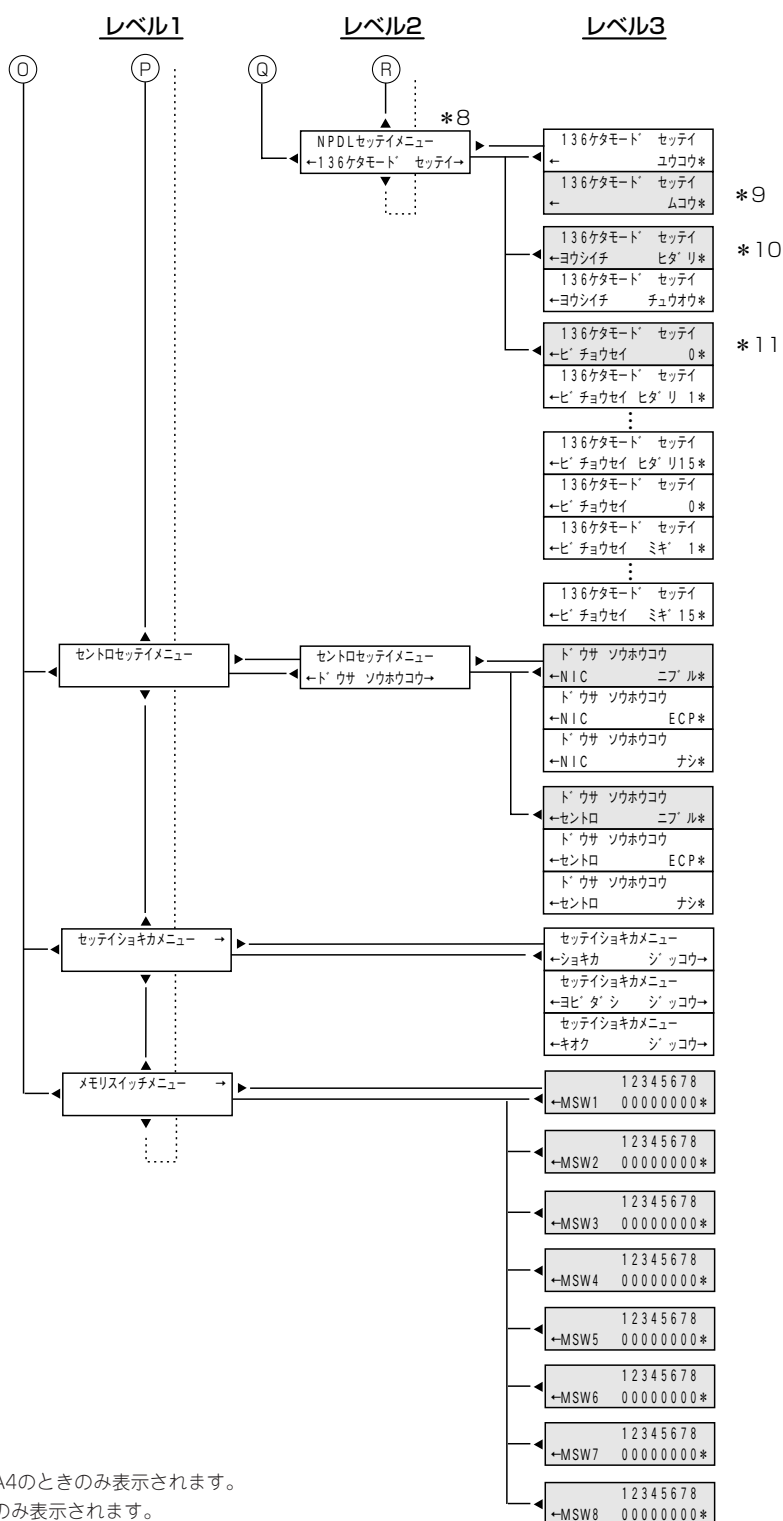






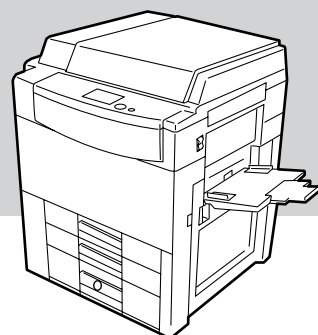






- *1 設定されている用紙がA4のときのみ表示されます。
- *2 装着されているホッパのみ表示されます。
- *3 MSW6-7と同期します。
- *4 MSW2-1と同期します。
- *5 MSW1-1～MSW1-3と同期します。
- *6 MSW2-7と同期します。
- *7 MSW2-2と同期します。
- *8 201エミュレーションモード時のみ表示されます。
- *9 MSW3-7と同期します。
- *10 136ケタモードがユウコウの時のみ表示します。MSW3-6と同期します。
- *11 136ケタモードがユウコウの時のみ表示します。MSW3-1～MSW3-5と同期します。

4章 操作の手順



4 操作の手順

ここではMultiWriter 6050の基本的な操作の手順について説明します。

1 用紙をセットする

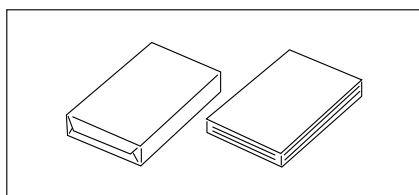
用紙について

MultiWriter 6050で利用できる用紙は次のとおりです。なお、「用紙の規格」については本書128ページ、「印刷範囲」については129ページをご覧ください。

— ✓ チェック —

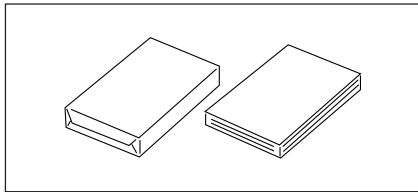
- 普通紙以外の用紙はホッパから給紙できません。
- 普通紙以外の用紙は両面印刷しないでください。

普通紙



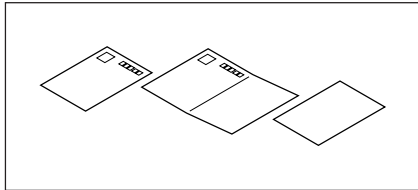
「乾式PPC用紙」が最適です。坪量64.0～81.4g/m² (連量55～70kg) のものを使用してください。A3判、A4判、A5判、B4判、B5判、レターサイズが使用できます。
ホッパまたはトレイにセットすることができます。

厚紙



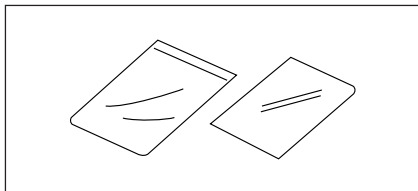
「乾式PPC用紙」が最適です。坪量81.4～104.7g/m²(連量70～90kg)のものを使用してください。A3判、A4判、A5判、B4判、B5判、レターサイズが使用できます。
トレイにセットすることができます。

はがき



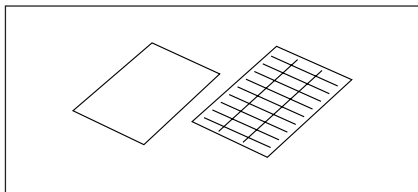
官製はがき、官製往復はがき、あるいは官製はがき、官製往復はがきと同等のものを使用してください。
トレイにセットすることができます。

OHPフィルム



乾式PPC用で厚さ0.1mm±0.025mmで、表面処理されているものを使用してください。大きさはA4判が使えます。
トレイにセットすることができます。

ラベル紙



台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。大きさはA4判、B4判が使えます。
トレイにセットすることができます。



チェック

- 往復はがきを印刷する場合は、プリンタドライバの[用紙サイズ]でユーザー定義を選択し、サイズを指定してください。また、プリンタドライバの[用紙種類]で厚紙を選択し印刷を行ってください。
- OHPフィルムを印刷する場合は、プリンタドライバの[給紙方法]でトレイ、[用紙種類]でOHPを選択してください。また、プリンタドライバの[排出方法]でフェイスアップを選択し印刷を行ってください。



重要

次のような用紙への印刷はおやめください。印刷不良、紙づまり、故障の原因になります。

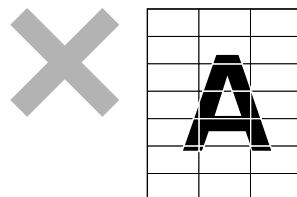
- 無塵紙
- 裏移り防止用の白粉(マイクロパウダ)が塗布された用紙
- 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
- ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
- ミシン目のある用紙、穴あき用紙

- 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
- シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙
- すでに片面が印刷されている用紙
- 次のような状態のラベル紙

台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの

✓ チェック

- 再生紙、ラベル紙の使用については、制限があります。お買い求めの販売店または、添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
- はがき、OHPフィルムおよびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。
- OHPフィルム、ラベル紙をプリンターにセットするときは十分にさばいてから行ってください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

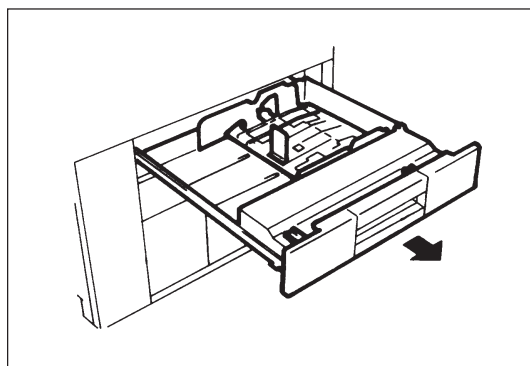


用紙の補給

ホッパ1への用紙補給

以下の手順でホッパ1に用紙をセットします。用紙は普通紙(坪量64.0g/m²)なら500枚までセットできます。セットできる用紙はA3縦、A4縦／横、A5縦、B4縦、B5縦／横、レターです。

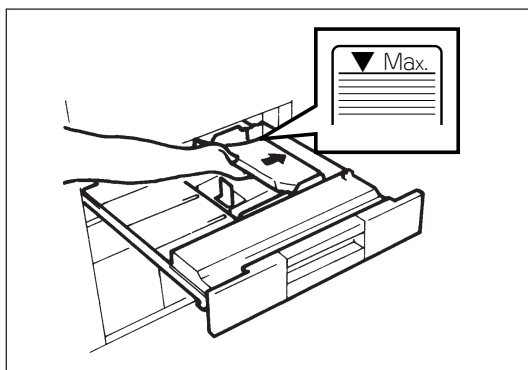
1. ホッパ1を引き出す。



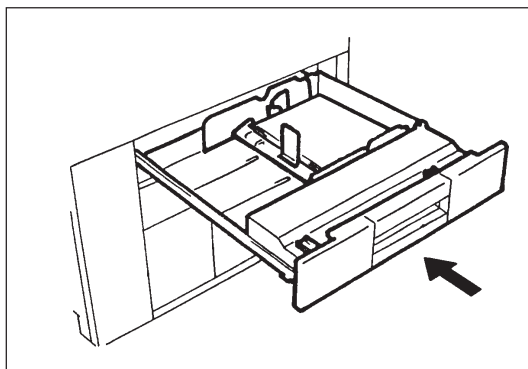
2. 印刷する面を下向きにして用紙をセットする。

—✓チェック—

用紙は「Max.」マークを超えないようにセットしてください。



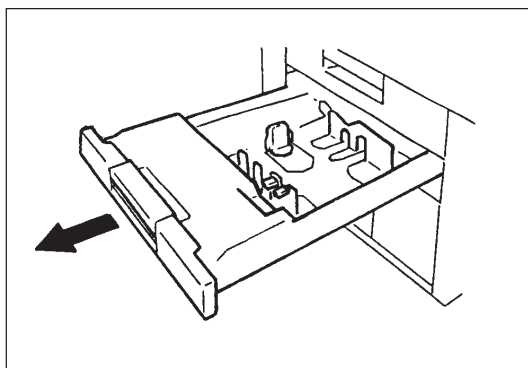
3. ホッパを元に戻す。



ホッパ2への用紙補給

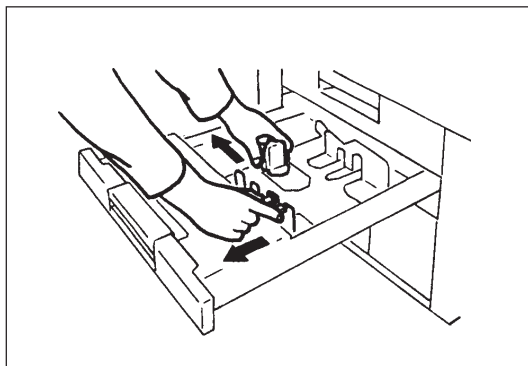
ホッパ2に用紙をセットします。用紙は普通紙(坪量64.0g/m²)なら500枚までセットできます。セットできる用紙はA3縦、A4縦／横、A5縦、B4縦、B5縦／横、レターです。

1. ホッパ2を引き出す。



2. ガイド板を調整する。

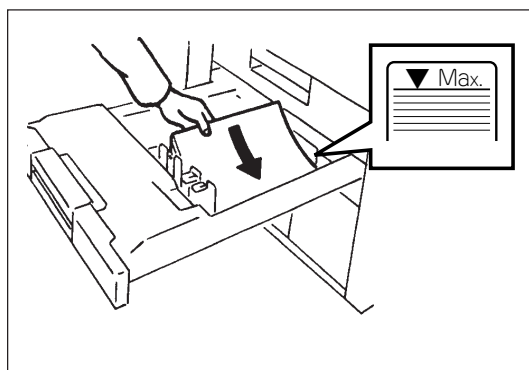
用紙ガイド板のつまみを握り、セットする用紙サイズの位置へガイド板を合わせます。



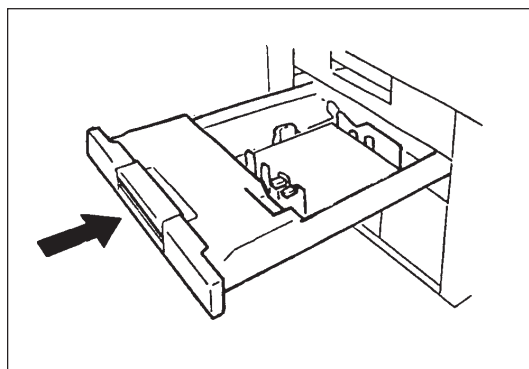
3. 用紙の開封した面を下向きにして、用紙をセットする。



用紙は「Max.」マークを超えないようにセットしてください。



4. ホッパ2を元に戻す。



ホッパ3への用紙補給

ホッパ3に用紙をセットします。用紙は普通紙(坪量64.0g/m²)なら2,500枚までセットできます。セットできる用紙はA4横のみです。

1. トレイ解除キーを押してトレイを引き出す。

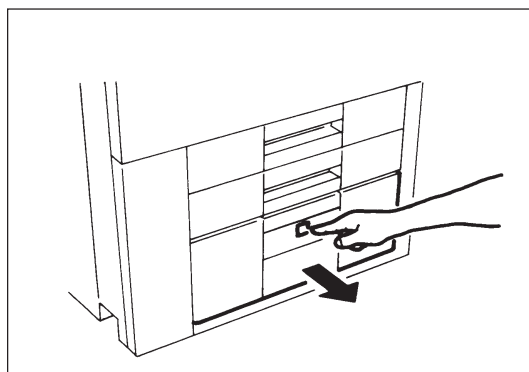
トレイ解除キーの表示



点灯：ホッパ3以外が選択されていて、ホッパ3に用紙がない場合。



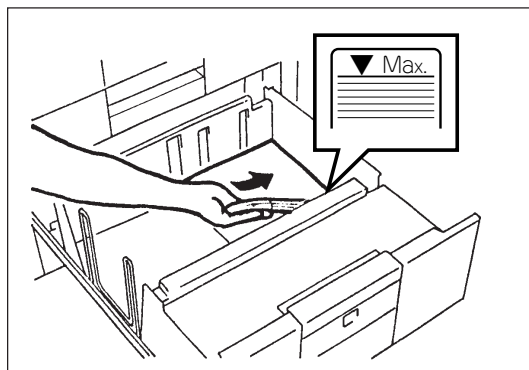
点滅：ホッパ3が選択されていて、ホッパ3に用紙がない場合。



2. 用紙の開封した面を下向きにし、右に寄せて用紙をセットする。



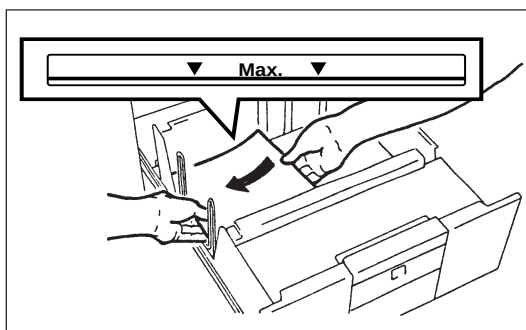
用紙は「Max.」マークを超えないようにセットしてください。



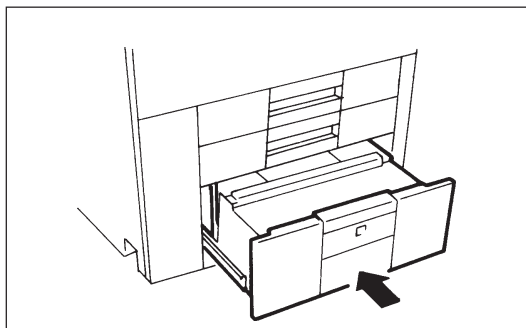
3. 用紙の開封した面を下向きにし、左に寄せて用紙をセットする。



用紙は「Max.」マークを超えないようにセットしてください。



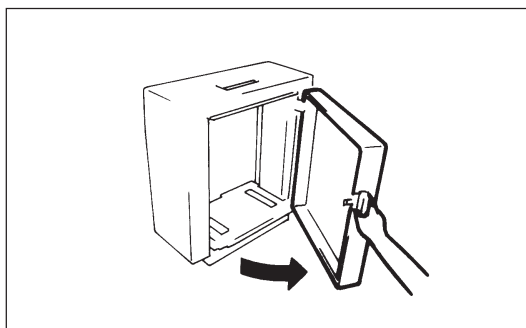
4. ホッパ3を元に位置に戻す。



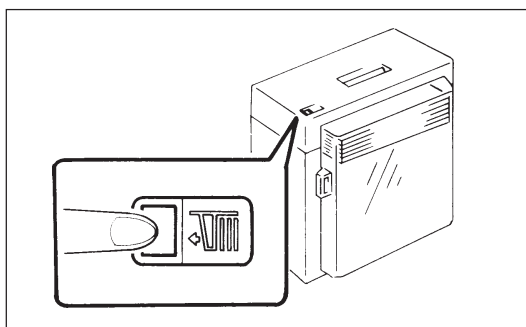
大容量ホッパへの用紙補給

大容量ホッパに用紙をセットします。用紙は普通紙(坪量64.0g/m²)なら3,000枚までセットできます。セットできる用紙はA4横のみです。

1. ドアロック解除レバーをつかみながら、ホッパドアを開く。



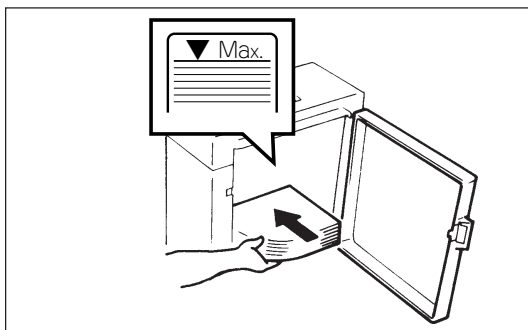
用紙を追加補給するときは、給紙テーブル[下降]キーを押して給紙テーブルを下げてからホッパドアを開きます。



2. 用紙の開封した面を上向きにして、用紙をセットする。

— ✓ チェック —

- 用紙の先端が、必ず奥のガイド板に当たるようにセットしてください。
- 用紙は「Max.」マークを超えないようにセットしてください。

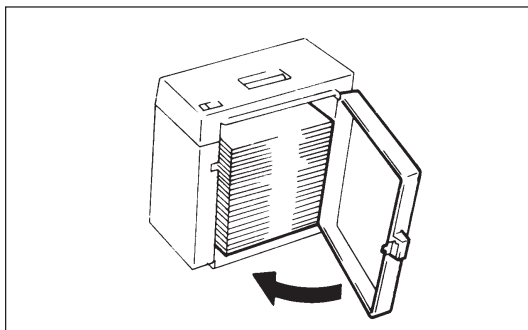


3. ホッパドアを閉じる。

給紙テーブルは自動的に上がります。

— ✓ チェック —

ホッパドアが確実に閉じていないと、給紙テーブルが上がらないことがあります。ドアを確実に閉じてください。



4

操作の手順

2 電源コードを接続する

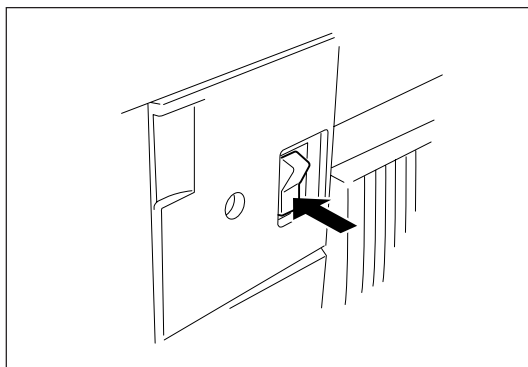
⚠ 注意

電源コードは、添付されているものを使用してください。定格に満たない電源コードを使うと火災や感電、故障のおそれがあります。

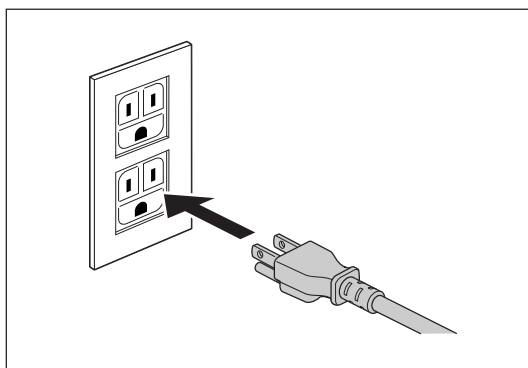
1. プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。

2. 電源コードを電源コネクタに差し込む。

電源コネクタは、プリンターの背面から見て右下にあります。



3. もう一方の電源プラグを3極電源コンセント(電流容量15A以上)へ差し込む。

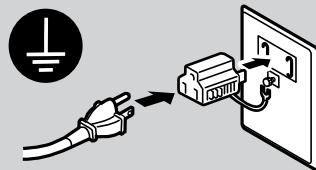


チェック

プリンターの電源コードは、コンピューター本体の補助コンセントに接続しないでください。

⚠ 注意

- 2極/3極変換プラグを使用するときはアース線を次のどれかに取り付けてください。
 - 電源コンセントのアース端子
 - 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
 - 接地工事(第3種)を行っている接地端子
- 次のようなところにはアース線を接続しないでください。
 - ガス管(引火や爆発のおそれがあります。)
 - 電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。)
 - 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)



3 テスト印刷をする

プリンターが正常に動くことを確かめるために、テスト印刷を行います。

重要

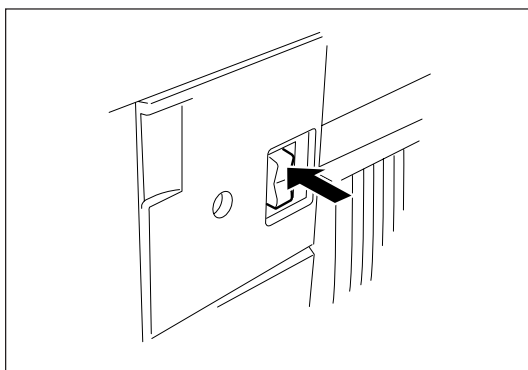
印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりになります。

1. メインスイッチをONにする。

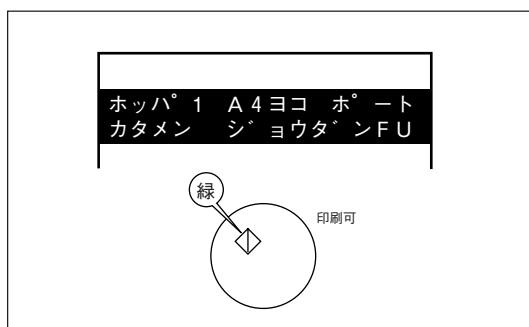
ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

“イニシャライズチュウ”

“ウォームアップチュウ”

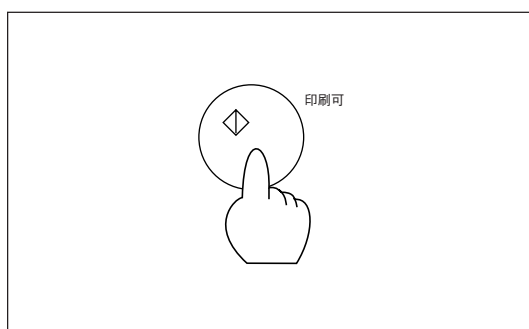


2. ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯することを確認する。



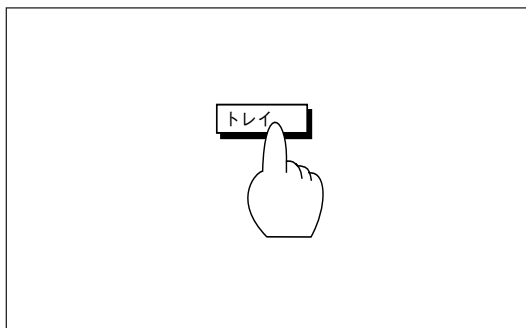
3. [印刷可]スイッチを押す。

印刷可ランプが消灯します。



4. トレイに用紙をセットした場合は、ここで[トレイ]スイッチを押し、印刷する用紙のサイズを選択する。

トレイが選択され、ディスプレイには“トレイ”と表示されます。

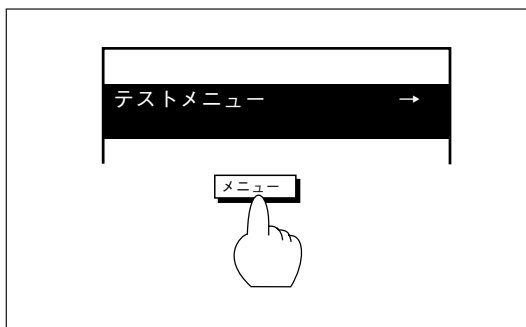


— ✓ チェック —

- トレイから給紙する場合は、プリンターは自動的に用紙サイズを検出しないので、[トレイ]スイッチで用紙サイズを選択してください。
- トレイにセットする用紙がOHPフィルムや厚紙の場合は、通常メニューモード設定項目一覧表(34ページ)を参照して、メニューモードの「トレイヨウシシュベツ」項目で用紙種別の設定を行ってください(詳細については付録A参照)。この場合、印刷は片面で行われます。
- スイッチで選択した用紙サイズよりも小さい用紙に印刷したり、用紙のセット方向をまちがえて印刷すると、用紙をはみ出して印刷してしまい、プリンター内部のローラを汚す原因となります。ローラが汚れたときは、テスト印刷を数枚行い、汚れを取り除いてください。

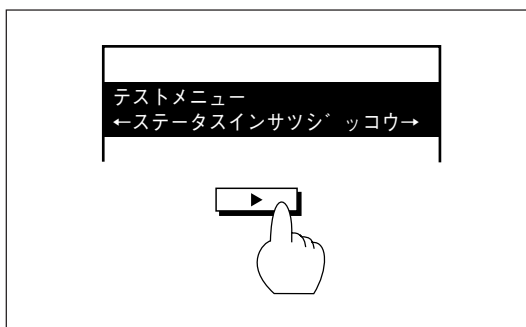
5. [メニュー]スイッチを押す。

ディスプレイには“テストメニュー →”と表示されます。



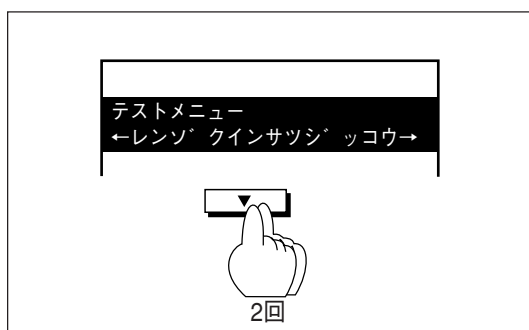
6. [▶]スイッチを押す。

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。



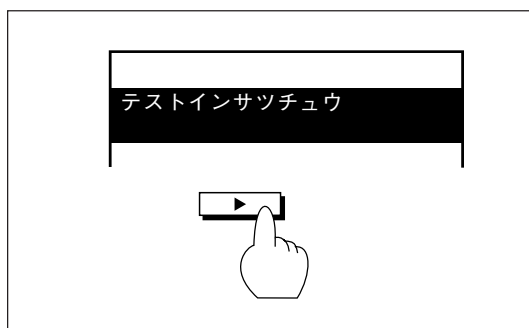
7. [▼]スイッチを2回押す。

ディスプレイ下段には“←レンゾクインサツ ジッコウ→”と表示されます。



8. [▶]スイッチを押す。

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。テスト印刷の結果については、付録Bの「テスト印刷のプリント結果」(169ページ)をご覧ください。

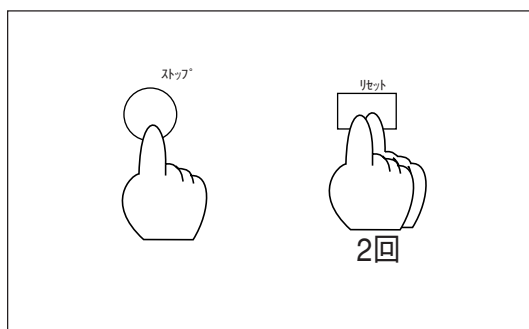


9. テスト印刷を停止させる。

テスト印刷は自動的に止まらないので、[ストップ]スイッチを押してください。

次に[リセット]スイッチを2回押します。

ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯します。



これでテスト印刷は終了です。

4 コンピューターに接続する

MultiWriter 6050にはプリンターケーブルが添付されていないため、別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類がわからない場合は、「使用できるプリンターケーブル一覧」(124ページ)をご覧ください、ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

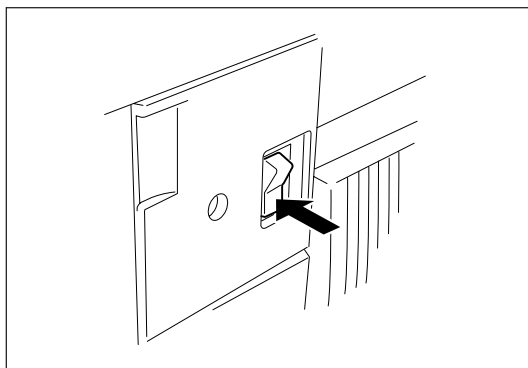
重要

パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器などを使用したりすると、MultiWriter 6050の機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

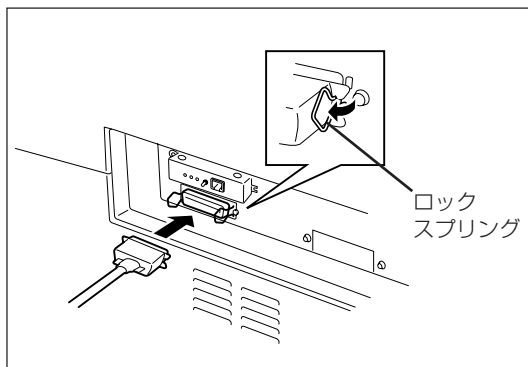
チェック

- MultiWriter 6050をコンピューターのUSBコネクタに接続する場合は、オプションの「USBプリンターケーブル(型番 PR-CA-U02)」が必要です。(Windows 95(OSR2.1以降)のみ対応)
- Macintoshコンピューターと接続する場合やネットワークに接続する場合は、オプションの「マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01)」と専用のネットワークケーブルが必要です。詳細は63ページを参照してください。

1. プリンターおよびコンピューターの電源スイッチをOFFにする。

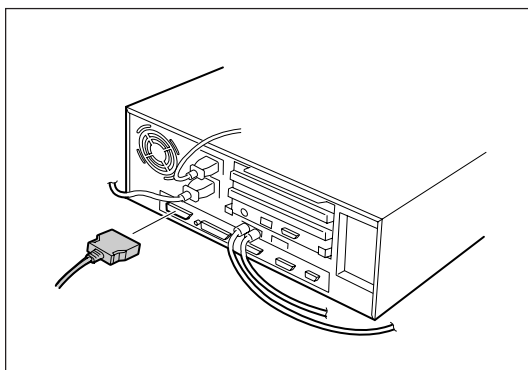


2. プリンターケーブルのコネクタをプリンター背面のソケットに差し込み、コネクタ両端のロックスプリングで固定する。



3. プリンターケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続する。

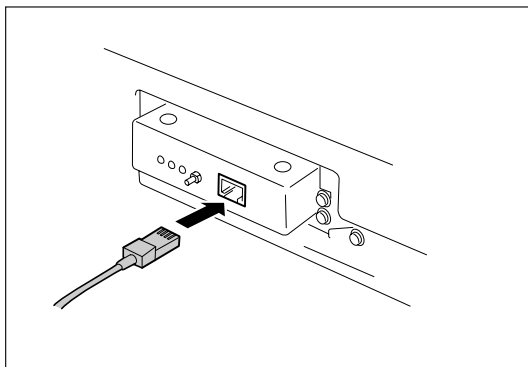
コンピューターのインターフェース用ソケットの位置については、コンピューターのマニュアルを参照してください。



4. ネットワークに接続する場合は、LANボードに、ネットワークケーブルを接続する。

LANボードを使ってネットワークに接続する場合は、ケーブルを取り付ける。

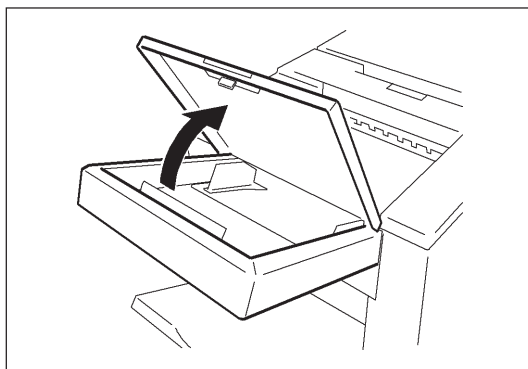
詳細についてはLANボード添付品キット内の取扱説明書をご覧ください。



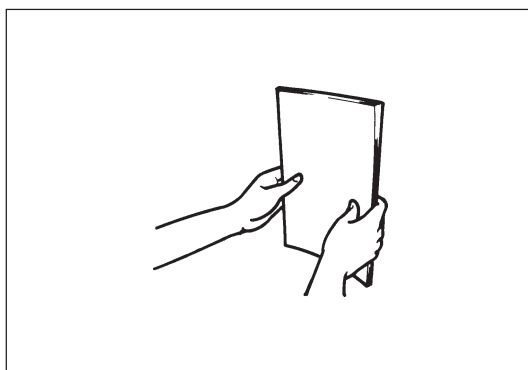
5 マニュアルステープルをする

オプションのフィニッシャを使用している場合は、マニュアルステープルをすることができます。
マニュアルステープルは印刷した後などの用紙をステープルどめする機能です。

1. 処理トレイカバーを開ける。



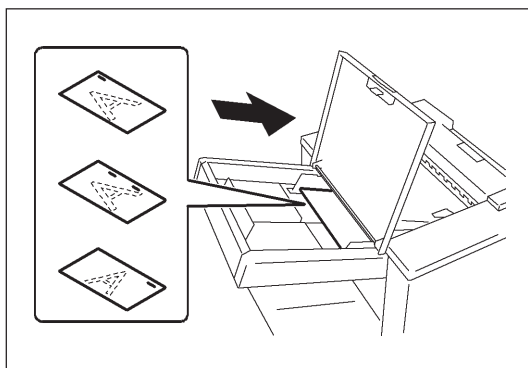
2. ステープルどめしたい用紙をきれいにそろえる。



3. ステープルどめしたい用紙のおもて面を下向きにし、ステープルどめされる側が奥になるようにセットする。

— ✓ チェック —

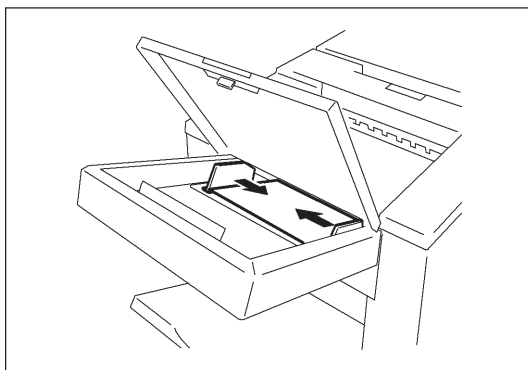
- 用紙はステープルどめされる位置を確認してから、確実に矢印方向に突き当ててセットしてください。
- ステープルどめできる用紙枚数は50枚までです。



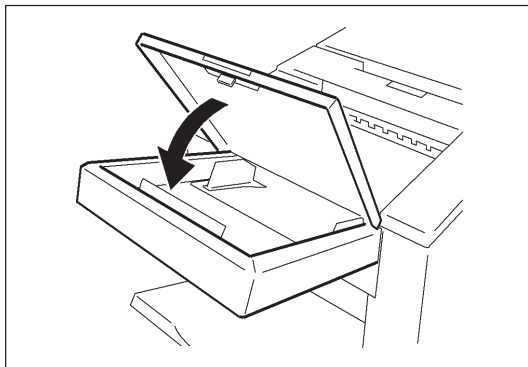
4. 用紙ガイドを調節する。



用紙ガイドが確実に用紙にあたるようにセットしてください。



5. 処理トレイカバーを閉じる。



6. フィニッシャのパネルから希望するステープル位置を選択します。

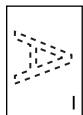
ステープルの種類は次の3種類から選択できます。



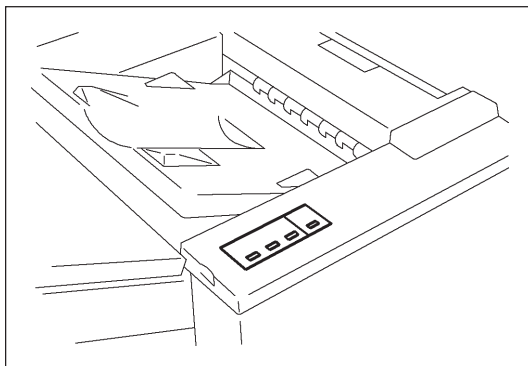
用紙サイズ：
A3縦, B4縦, A4縦, A4横, B5縦, B5横
ステープル枚数：2～50枚



用紙サイズ：
A3縦, B4縦, A4縦, A4横, B5縦, B5横
ステープル枚数：2～50枚

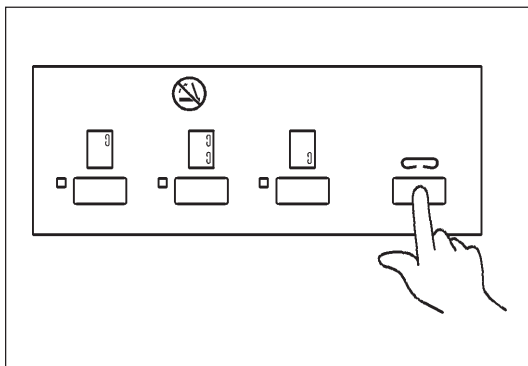


用紙サイズ：
A3縦, B4縦, A4縦, A4横, B5縦, B5横
ステープル枚数：2～50枚

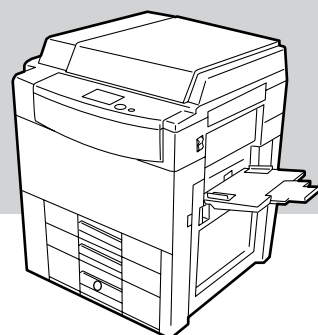


7. キーを押す。

セットした用紙がステープルどめされます。



5章 オプション



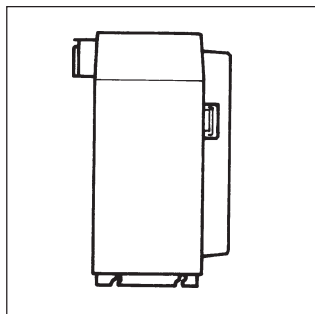
この章では、MultiWriter 6050に取りそろえられているオプション品を紹介します。

オプション・消耗品の紹介

オプション品のご購入にあたりましては、お買い上げの販売店または当社指定のサービス窓口にお問い合わせください。

オプション

大容量ホッパ(型番 PR-L6050-03)

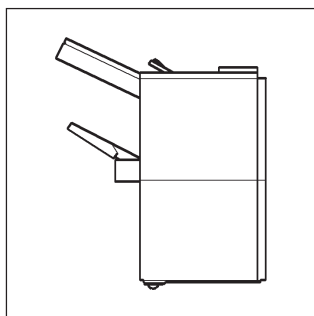


A4用紙を横置きで最大3000枚(普通紙坪量64.0g/m²)までセットすることができます。

サイズ： 287(W)×446(D)×500(H)mm

質量： 約14.2kg

フィニッシャ(型番 PR-L6050-FS)



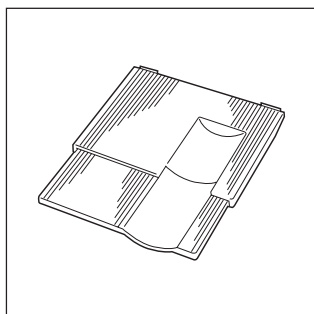
上段排出トレイには最大100枚、下段排出トレイには最大2,000枚の大容量排紙が可能です。3種類の紙折り(Z折り、袋折り、折り目)機能、マルチステープル機能、穴あけ機能等で、簡易製本ができます。

各機能を使用したときの排紙枚数については、「付録B 技術情報」の「仕様」をご覧ください。

サイズ : 931(W)×664(D)×1111(H)mm

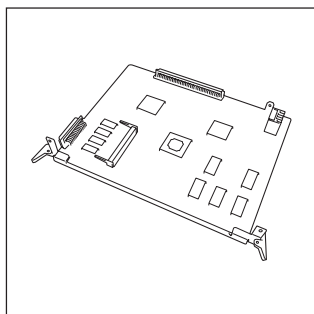
質量 : 約90kg

排紙トレイ(型番 PR-L6050-ST)



排紙された用紙が置かれるトレイです。オプションのフィニッシャを使用しないときに使用します。

増設CPUボード(型番 PR-L6050-AB)



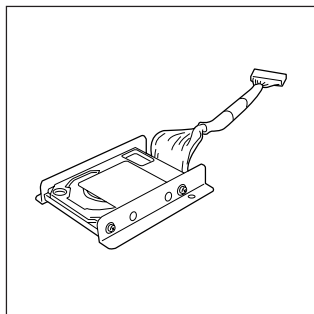
このボードを増設することで多量データ印刷、および両面印刷での印刷速度の向上が実現できます。

標準で64MBのRAMを装備しています。

増設単位は1ボードで最大2ボードまで増設可能です。

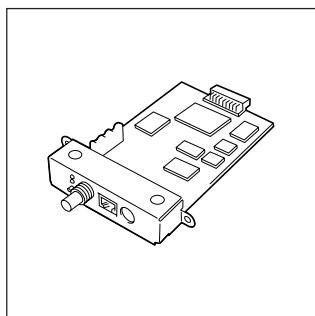
増設CPUボードを増設したときは、プリンター本体の標準CPUボードに増設RAMサブボードを増設してください。

増設ハードディスク(型番 PR-L6050-HD)



このハードディスクを増設することにより、電子ソート機能およびスプーラー機能が実現できます。

マルチプロトコルLANボード (型番 PC-PR-L01)



10 BASE2、10 BASE-T、LocalTalkインターフェースを装備しているプリンター内蔵型のLANボードです。

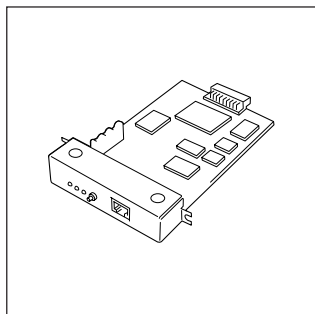
LANに接続したり、Macintoshから印刷したりすることができます。

また別売りの拡張ドライバ(型番 PR2200NW2-21)を使うとMacintoshからの印刷が可能になります。

マルチプロトコルLANボードが対応しているネットワーク環境

ネットワークOS		プロトコル
NetWare	3.11J、3.12J、4.1J、4.11J (NDS対応)	IPX/SPX
IntranetWare	4.11J (NDS対応)	IPX/SPX
Windows	2000	TCP/IP
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP DLC
LANマネージャ	OS/2 LANマネージャ2.1bおよびOS/2 LAN Server J3.0	NetBEUI
Windows	95/98 (NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	TCP/IP
Macintosh	漢字Talk7.1.X、7.5.X、 Mac OS 7.6.X、8.0.X、8.1.X、8.5.X、8.6 (ただしQuickDraw GWIには未対応)	AppleTalk
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L02)

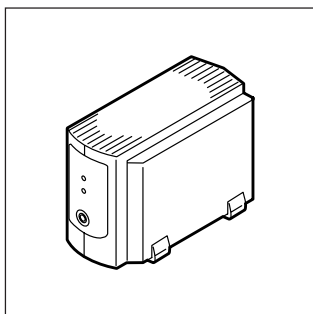


100 BASE-TX、10 BASE-Tに対応しているプリンター内蔵型のLANボードです。

マルチプロトコルLANボードが対応しているネットワーク環境

ネットワークOS		プロトコル
NetWare	3.11J、3.12J、4.1J、4.11J (NDS対応)	IPX/SPX
IntranetWare	4.11J (NDS対応)	IPX/SPX
Windows	2000	TCP/IP
Windows NT	3.1、3.5、3.51、4.0	TCP/IP DLC
Windows	95/98 (NEC TCP/IP Printing Systemにより対応)	TCP/IP
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

LANアダプタ(型番 PR-NP-03TR2)



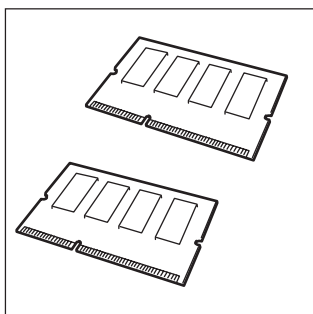
100BASE-TX、10BASE-Tに対応している外付け型のLANアダプタです。
PrintAgent(プリンター管理ユーティリティ)のリモート電源制御機能を使って、コンピュータからプリンターの電源のON/OFFができます。

本アダプタを使用する前に、装置に実装されているLANボードを取り外すか、
プリンタアクセス周期をユーティリティ等で「0」に設定してください。

LANアダプタが対応しているネットワーク環境

ネットワークOS		プロトコル
Windows	2000	TCP/IP
Windows NT	3.5、3.51、4.0	
Windows	95/98 (添付のユーティリティにより対応)	
UNIX	—	TCP/IP (ftp,lpr)

増設RAMサブボード(型番 PR/MM1)

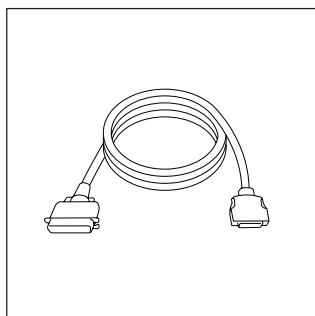


このボードは、32MBのRAMを搭載した拡張メモリボードです(2枚入り)。
MiltiWriter 6050には1セット(2枚)だけ取り付けすることができます。取り付けることにより、次の効果があります。

- 複雑な印刷データの印刷性能向上
- メモリー不足で印刷できない(両面印刷など)事を解消
- フォーム登録数の増加
- 受信バッファの拡大

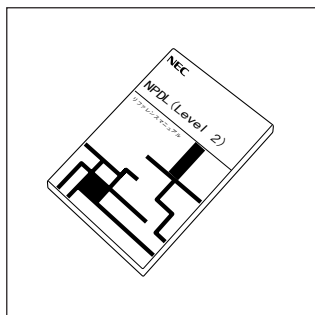
増設RAMサブボードを2枚増設した場合、128MBまで拡張することができます。
また増設CPUボードを増設した場合は、最大256MBまで拡張することができます。

プリンターケーブル



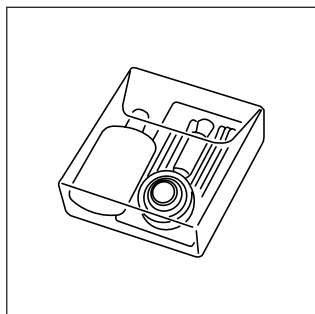
プリンターケーブルについては124ページの「使用できるプリンターケーブル」をご覧ください。

日本語ページプリンタ言語NPDL(Level 2)リファレンスマニュアル (型番 PC-PRNPDL2-RM)



ページプリンターの様々な動作を制御する命令およびプログラミングについての詳しい解説書です。

クリーニングキット(型番 PC-PR601-14)

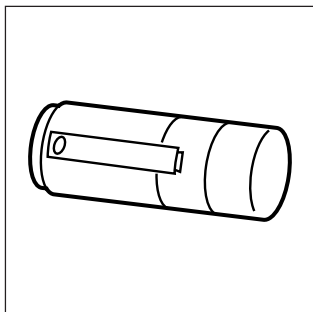


プリンター内部を清掃するためのキットです。

クリーナー、クリーニングパッド、綿棒、フロアブラシなどがセットになっています。

消耗品

トナーボトル(型番 PR-L6050-TB)



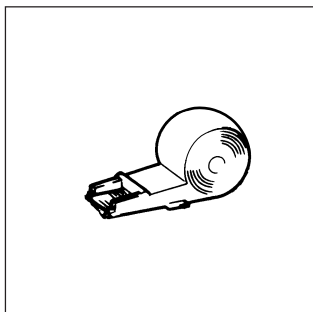
トナーボトル1本あたり約45,000ページの印刷が可能です(プリンターに1本添付されています)。

— ✓ チェック —

トナーボトルの1個あたりの印刷可能枚数はA4用紙サイズに画像面積比5%の連続印刷を行ったとき(70ページ参照)の値です。

印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定、OPC寿命などの印刷に関する設定の要素によって、印刷可能ページ数は、異なります。

ステープル針(型番 PR-L6050-SP)

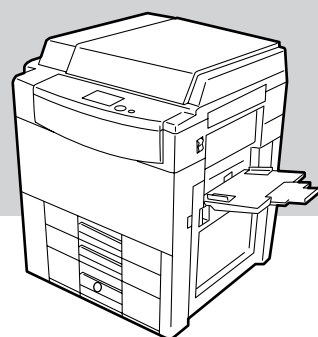


フィニッシャーで使用するステープルカートリッジです。

5000針のカートリッジになっています。

フィニッシャー購入時には1個(5000針)添付されています。

6章 日常の保守

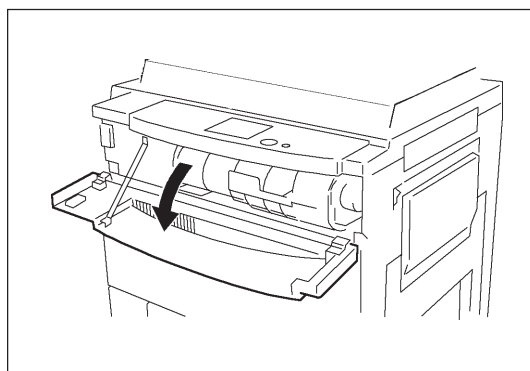


トナーの補給

ディスプレイに“トナーナシ”と表示されたら、以下の手順でトナーを補給してください。

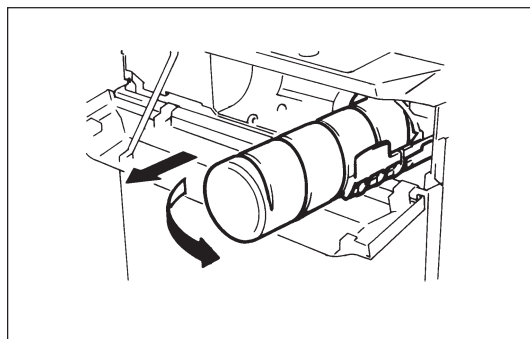
トナー補給の手順

1. 前上ドアを開く。



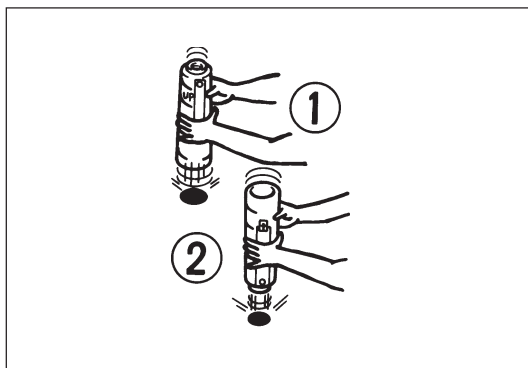
2. トナーボトルを引き抜く。

トナーボトルが回転していないことを確認し、トナーボトルホルダーを手前に開き、トナーボトルを引き抜きます。



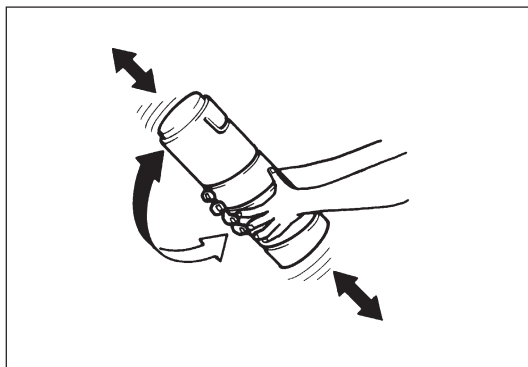
3. 新しいトナーボトル内のトナーの固まりをなくす。

新しいトナーボトルを、矢印を上向きにして、5～10cmの高さから机などの堅いものの上に5回落とします。次に、矢印を下向きにして、5～10cmの高さから5回落とします。



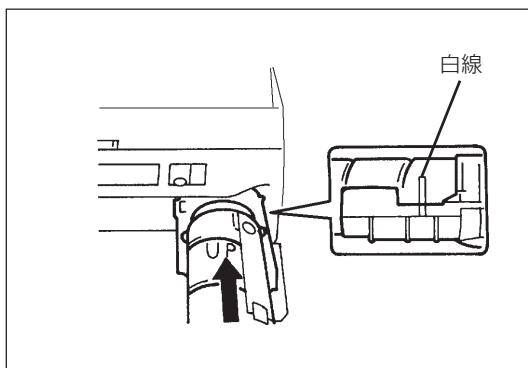
4. トナーボトル内のトナーを均一にならす。

トナーボトルをよく振り、上下を5回ひっくり返す。

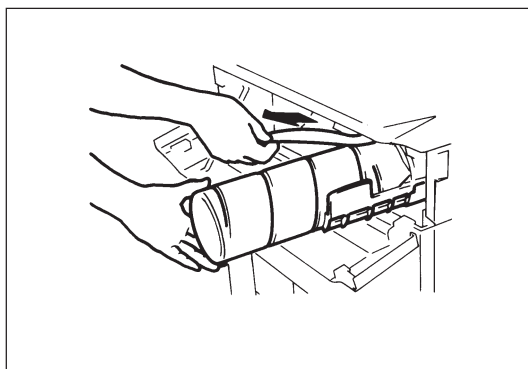


5. UP表示を上に向け、トナーボトルを差し込む。

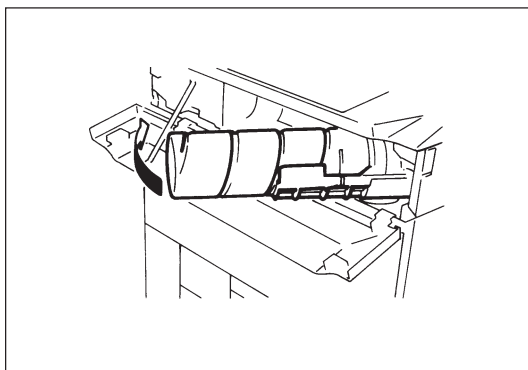
トナーボトル上の白線とトナーボトルホルダー上の白線が合っていることを確認する。



6. トナーボトルのシールを引き抜く。



7. トナーボトルホルダーを閉じ、前上ドアを閉じる。



✓ チェック

- 前上ドアを閉じると、自動的にトナー補給が開始されます。トナー補給中は、電源をOFFにしたり、前上ドアを開いたりしないでください。
またトナー補給が完了するまで5分程かかることがあります。ディスプレイの“トナーホキウチュウ”の表示が消えるまでお待ちください。
- トナーボトルは、必ず専用トナーを使用してください。それ以外のトナーを使用すると故障の原因となります。
- 使用済みのトナーボトルは、サービス担当者が回収しますので、捨てずに保管しておいてください。
- トナーボトルは1m以上の高さから落とすと破損することがあります。

⚠ 注意

トナーは吸い込んだり、目に入ったりしないように取り扱いに注意してください。鼻、のど、気管や目に刺激を与えることがあります。もし吸い込んだり目に入ったりした場合は、うがいをして目を洗ってください。また、トナーボトル交換時には、トナーがこぼれないように十分注意してください。

8. テスト印刷を実行する。

本書の「**3** テスト印刷をする」(53ページ)に従って印刷が正しく行われること確認してください。

トナーボトルの寿命

プリンターに添付されているトナーボトルの寿命は、A4用紙で画像面積比(1ページ中の黒い部分の面積と用紙全体の面積との比率)5%のとき約45,000ページになります(画像面積比による印刷枚数はあくまでも目安です。画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によっては異なります)。

画像面積比5%の印刷例

トナーボトルの寿命について

本プリンターの消耗品の「トナーボトル」の寿命は45,000ページ（A4、画像面積比5%）となっています。

ここで画像面積比5%の意味およびトナーボトルの寿命について説明いたします。

従来のシリアルプリンター（ドットインパクトプリンターや熱転写プリンターなど）では、消耗品のインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対して、本プリンターのようなページプリンターでは、「何ページ」という単位で表現されます。

このように、表現を「何文字」から「何ページ」に変えた理由には、

- ① ページプリンターでは、処理や印刷の単位がページごとになっていること。
 - ② ①に関連して、イメージデータやグラフィック等、文字数では把握できないようなデータを印刷するケースが増えてきていること。
- の2つがあります。

トナーボトルの寿命を決定するものの1つに、その内部に収容されているトナー（インクに相当するもの）の量があります。トナーをすべて消費してしまえば、トナーボトルの寿命となります。（これは従来のインクリボンで、インクがなくなるまでを寿命と呼んだのと同じことです）。

したがって、「ページ数」で寿命を考えるときは、1ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

1ページの中に黒い部分がどれくらいの割合であるかを表したものが画像面積比です。1ページの中に黒い部分（印刷）がまったくない状態が0%、真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が100%です。この画像面積比によりトナーボトルの寿命は長くも短くもなります。このことから、トナーボトルの寿命を表現する場合にも、この画像面積比を使って「画像面積比何%のときに寿命が何ページ」という表現をします。したがって、印刷する内容の画像面積比が5%より大きい場合、45,000ページ印刷する前にトナーボトルの寿命となる場合があります。

以上によりページプリンターではトナーボトルの寿命が印刷ページ数のみでなく、画像面積比によっても変わることがご理解いただけたと思います。

なお、この文書を10.5ポイントでA4用紙に印刷した場合が約5%の画像面積比になります。

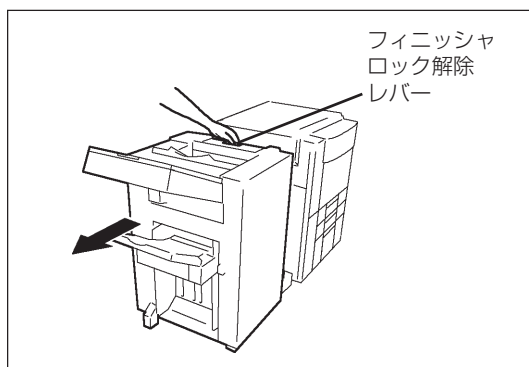
ステープルカートリッジの交換

オプションのフィニッシャを使用している場合は、ステープルが無くなった時に右のようなメッセージがディスプレイに表示されます。
このメッセージが表示されたら、以下の手順でステープルカートリッジを交換してください。

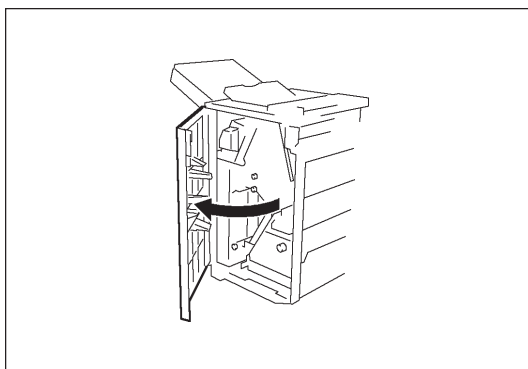
78 ステープルナシ
カートリッジ コウカン

ステープルカートリッジの交換手順

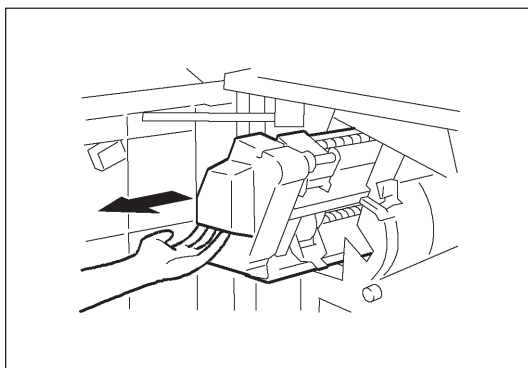
1. フィニッシャロック解除レバーを握りながら、フィニッシャをプリンター本体から引き離す。



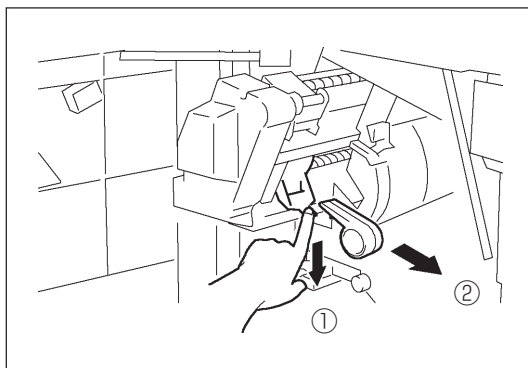
2. フィニッシャ前ドアを開く。



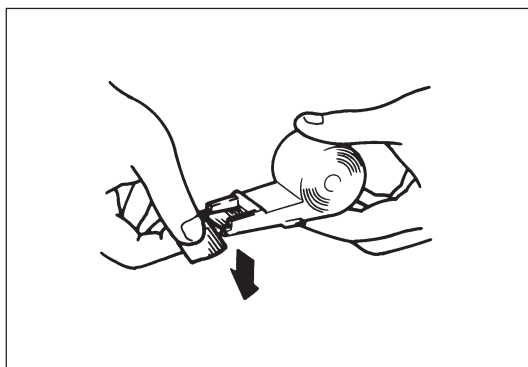
3. ステープルユニットを引き出す。



4. ステープルの解除レバーを矢印方向に下げながら、ステープルカートリッジを手前に引き抜く。

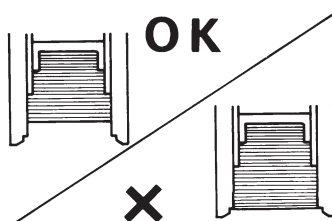


5. 新しいステープルカートリッジから針シートを約3cm引き出し、切り取る。

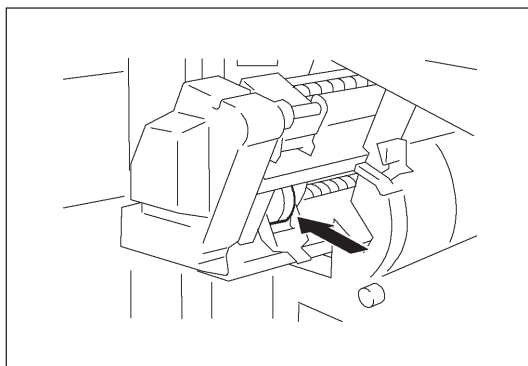


— チェック —

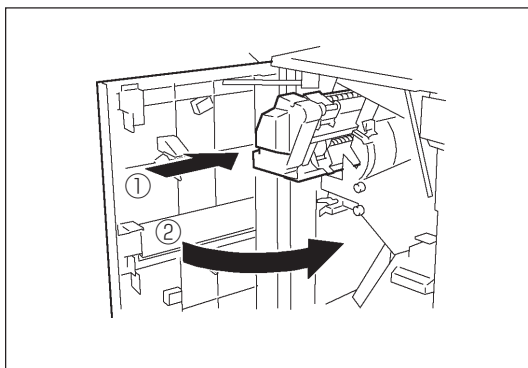
右図のようにステープル針がカートリッジの先からはみ出していないことを確認してください。針がはみ出している場合は、針シートをもう一度切り取ってください。



6. 新しいステープルカートリッジをカチッと音がして止まるまで差し込む。



7. ステープルユニットを元に戻し、フィニッシャ前ドアを閉じる。

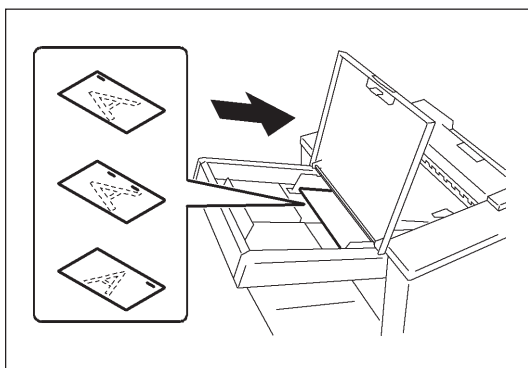


8. フィニッシャを元に戻す。

9. ディスプレイ下段に“ハリオクリシテクダサイ”と表示されたら、処理トレイに用紙を1枚セットする。

— チェック —

ステープル済みの用紙を処理トレイにセットしないでください。



10. 任意のステープル位置でマニュアルステープルをする。

11. トレイの用紙を取り出し、ステープルされたかどうか確認する。

— チェック —

ステープルされていない場合は、再び処理トレイに用紙をセットし、マニュアルステープルをしてください。

ステープルされるまで、この作業を繰り返します。ステープルされないまま印刷を再開すると次のステープル使用時に正しくステープルされない場合があります。

12. [印刷可]スイッチを押して、セレクト状態にする。

清 掃

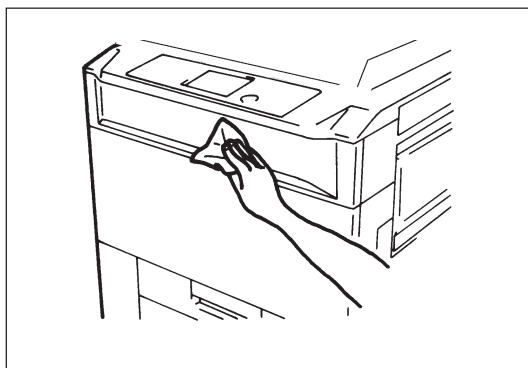
プリンターが汚れたときは、以下の手順で清掃してください。清掃には、糸くずの出ない柔らかい布を用意してください。

⚠ 注意

- 清掃を行うときは、電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。また、電源コードはプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張るとコードが傷み、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺は高温になっています。清掃はプリンター内部が十分に冷めてから行ってください。

外装カバー

1. 柔らかな布に薄めた家庭用中性洗剤を付け、外装カバーの表面の汚れをふき取る。

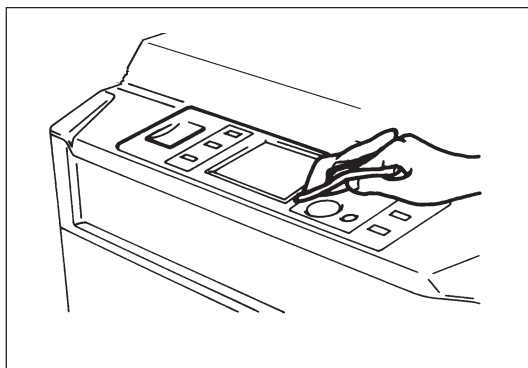


操作パネル部

1. メインスイッチをOFFにする。
2. 柔らかな布で操作パネルの表面を空拭きし、汚れをふき取る。

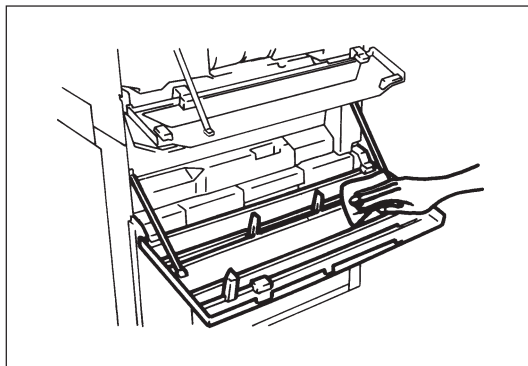
✓ チェック

家庭用中性洗剤、ガラスクリーナーなどは使用しないでください。操作パネル、タッチパネルを傷めるおそれがあります。

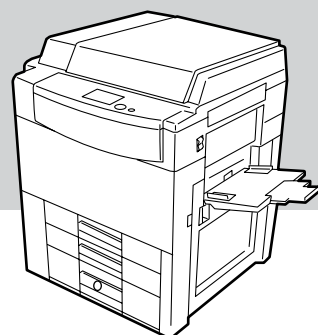


前ドア内部

1. 前ドアを開く。
2. 柔らかな布で前ドア内部を空拭きし、汚れをとる。



7章 故障かな?と 思ったら



ここでは「故障かな?」と思ったときの原因と処置方法を説明します。「故障かな?」と思わせる症状を「印刷がおかしい」、「アラーム表示が出ている」、「紙づまり」に分けて説明しています。ソフトウェアの不具合に関してはユーザーズマニュアル[2/2]を参照してください。

印刷がおかしいときは

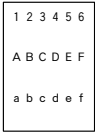
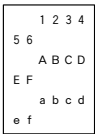
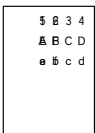
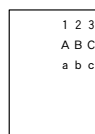
プリンターの動作がおかしかったり、印刷結果が思うように出なかったりしたときはここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

思うように印刷できないとき

思うように印刷ができないとき、次にあげるような症状なら、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

症 状	原因と処理方法
PrintAgentを利用すると正常に印刷できない	プリンターのメモリースイッチ5-1が1になっていませんか。 → メモリースイッチ5-1を0にしてください。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	アプリケーションの用紙・印刷に関する設定がまちがっていませんか。 → アプリケーションのマニュアルを見て正しく設定してください。 ソフトウェアによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれるものがあります。

症 状	原因と処理方法
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない(続き)	プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されていませんか。 → メニューモードまたはリモートパネルでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。 A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 使用している用紙がプリンターの規格に合っていないません。 → 「用紙について」(45ページ)を参照して、確認してください。 MultiWriter 6050のようなカット紙プリンターは、用紙送りをローラの摩擦によって行っています。そのため、他のカット紙プリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 以前使用していたプリンターとMultiWriter 6050との間に印刷位置の互換性はありません。 → メニューモードまたはアプリケーションで印刷位置を調整してください。
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	改ページコードまたは排出コードがありません。 → [印刷可]スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、[排出]スイッチを押してください。 MultiWriter 6050はページプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中には、ページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 アプリケーションのプリンター設定が[シリアルプリンター]になっていませんか。 → [ページプリンター]を選択してください。 ソフトウエアのプリンター設定が[シリアルプリンター]になっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード(0Ch)を付加するようにしてください。 自動排出機能が無効になっていませんか。 → メニューモードまたはリモートパネルで自動排出の設定時間を選択してください。 プリンターには自動排出機能(コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータを自動的に印刷・排出する機能)があります。ただし、コンピューターからのデータ送信が途中で長い時間途切れるような場合には、この機能は使用できません。
ページの途中までしか印刷されない、または、1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	自動排出機能が有効になっていませんか。 → メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能(コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能)があります。しかし、コンピューターからのデータ送信が1ページ分そろっていても、それまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 綴じしろは合っていますか。 → 印刷範囲を確認してください。両面印刷のときにはクリップ機能を使うと印刷範囲を超えた分のデータを次のページに印刷しないようになります。

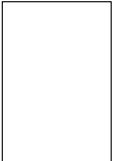
症 状	原因と処理方法
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	一部のソフトウェアでは、用紙位置が異なる場合があります。 → メニューモードまたはリモートパネルで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合があります。 → プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量（行の間隔）が2倍になる  1行が2行にわたる  各行の文字が重なって印刷されてしまう  用紙の途中から印刷が始まってしまう 	アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっていませんか。 → ソフトウェアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 → 他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードまたはリモートパネルを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピュータの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 アプリケーションのプリンター設定が[シリアルプリンター]になっていませんか。 → [ページプリンター]を選択してください。 → メニューモードまたはリモートパネルを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用で作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	一部のソフトウェアには、ソフトウェアの改行指定によって用紙を排出するものがあります。 → ソフトウェアの設定をシートフィード付きにするか、1ページの長さを67桁（A4サイズの場合）に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していますか。 → ユーザーズマニュアル[2/2]の各OSの章をご覧ください。 適切なエミュレーションモードを選択していますか。 → 「メニューモード」(33ページ)を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。 動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 プリンターケーブルがきちんと接続されていますか。 → プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 プリンターバッファや切替器を使用していないですか。 → プリンターバッファや切替器を使用しない接続方法に変更してください。

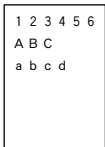
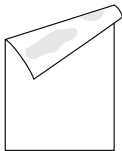
症 状	原因と処理方法
白紙が出る	ソフトウェアのプリンター設定がシートフィーダ付きになっていませんか。 → シートフィーダ付きになっている場合は、メニューモードまたはメモリースイッチの設定で「136桁モード」を有効にしてください。
両面印刷が正しく機能しない	メニューモード、メモリースイッチは合っていますか。 → 設定し直してください。 ホッパの用紙種類を普通紙以外に設定していませんか。 → ホッパから両面印刷を行う場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。
リプリント機能が使用できない	プリンターとコンピューターは双方向通信が設定されていますか。 → PrintAgentで双方向通信をサポートする設定になっていることを確認してください。 → ご使用のプリンターケーブルは正しいものが使われているかどうかチェックしてください。 [リプリント機能を使用する]がチェックされていますか。 → [プロパティ]ダイアログボックスの[出力制御]シートを開き、確認してください。詳しくはユーザーズマニュアル[2/2]をご覧ください。 [リプリント機能を提供する]がチェックされていますか。 → [PrintAgentのプロパティ]を開き、確認してください(ネットワーク共有プリンターをご使用の場合は、サーバー上の[PrintAgentのプロパティ]を開き、設定を確認してください)。詳しくはユーザーズマニュアル[2/2]をご覧ください。
TrueTypeフォントおよびFAフォントをプリンターフォントに置換する設定で、一部の文字が印刷されない、またデザインの異なる文字が印刷される	プリンターフォントとして実装されていない文字が使用されている、または画面の書体と異なるデザインで実装されている文字が使用されている可能性があります。 → [プロパティ]ダイアログボックスの[フォント]を開き、[特殊文字をそのまま印刷]をチェックしてください。
ジョブセパレート機能が使用できない	A4サイズが縦置き、横置きでセットされていますか。 → プリンターにセットされている用紙を確認してください。 ホッパの用紙サイズは設定されていますか。 → ホッパの用紙サイズを設定してください。 ホッパの用紙種類を普通紙以外に設定していませんか。 → ホッパから印刷する場合、用紙の種類を普通紙に設定してください。 用紙給紙は自動に設定されていますか。 → ダイアログボックスを開き、自動に設定してください。 [ジョブセパレート機能を使用する]がチェックされていますか。 → ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべての利用者(クライアント)の設定をプリンタードライバで[ジョブセパレート機能を使用する]にしてください。

症 状	原因と処理方法
ジョブセパレート機能がうまく働かない	丁合い機能は正しく選択されていますか。 → アプリケーションの印刷機能から丁合機能を指定している場合は正しく機能しません。指定を外してください。 印刷部数(コピー印刷)は指定されていますか。 → 印刷部数の指定を確認してください。 すべてのクライアントがジョブセパレート機能を使用するように設定されていますか。 → ネットワーク環境で共有プリンターとして使用しているすべてのクライアントが[ジョブセパレート機能を使用する]に設定していることを確認してください。

印刷に異常が見られるとき

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症 状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき 	用紙が規格に合っていないです。 → 「用紙について」(45ページ)を参照して、確認してください。 用紙ガイド板が用紙の幅に合っていないです。 → 「用紙の補給」(47ページ)を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 ホッパ給紙の「用紙種類」はセットされている用紙に対して、正しく設定されていますか。 → リモートパネル、[プロパティ]ダイアログボックス、メニューで設定しなおしてください。
用紙が汚れているとき 	プリンターの内部が汚れています。 → 「清掃」(74ページ)を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄いとき 	トナーがありません。 → 「トナーの補給」(67ページ)を参照して、トナーを補給してください。 トナーボトルのビニールシールが取り付けられたままです。 → 「トナーの補給」(67ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。 ホッパ給紙の「用紙種類」はセットされている用紙に対して、正しく設定されていますか。 → リモートパネル、[プロパティ]ダイアログボックス、メニューで設定し直してください。 用紙が湿気を吸収している可能性があります。 → 「用紙の補給」(47ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。
何も印刷されない 	トナーがありません。 → 「トナーの補給」(67ページ)を参照して、トナーを補給してください。 トナーボトルのビニールシールが取り付けられたままです。 → 「トナーの補給」(67ページ)を参照して、ビニールシールを引き抜いてください。

症 状	原因と処理方法
真っ黒に印刷されたとき 	多発する場合はプリンター内部の電気系に問題がある可能性があります。 → 保守サービス窓口にて修理をお申し付けください。
文字のグレー印刷ができない 	[文字を白黒で印刷する]がチェックされていませんか。 → [プロパティ]ダイアログボックスを開き、[文字を白黒で印刷する]がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。
印刷に縦線や横線が入るとき 	感光ドラム上に傷、汚れがある可能性があります。 → 保守サービス窓口にて修理をお申し付けください。
印刷用紙の裏が汚れるとき 	プリンター内部がトナーで汚れています。 → 保守サービス窓口にご相談ください。
部分的に白く抜けるとき 	用紙が湿気を吸収している可能性があります。 → 「用紙の補給」(47ページ)を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 用紙が規格に合っていない。 → 「用紙について」(45ページ)を参照して、確認してください。
縦線の形状で白く抜けるとき 	プリンターの転写系、現像系に問題がある可能性があります。 → 保守サービス窓口にて修理をお申し付けください。

印刷できないとき

次の表に、印刷できないときの症状、および確認と処理方法を示します。それぞれの方法に従って確認、処理してください。

症 状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	メインスイッチがOFFになっています。 → メインスイッチをONにしてください。 電源コードがきちんと差し込まれていません。 → プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 コンセントに電気が供給されていません。 → 配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	印刷可ランプが消灯しています。 → [印刷可]スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 プリンターケーブルが正しく選択されていないか、または正しく接続されていません(データランプ消灯)。 → 56ページおよび124ページを参照して、プリンターケーブルを確認、接続してください。 改ページまたは排出コードがありません(データランプ点灯)。 → [排出]スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウェアをお使いの場合は、メニューモードまたはリモートパネルで自動排出を選択することをお勧めします。 用紙がなくなったか、または指定されたサイズ用の紙がありません(アラームランプ(赤)点灯)。プリンターの規格に合っていない。 → 「用紙の補給」(47ページ)を参照して、用紙を補給してください。 アラームランプ(赤)が点灯していませんか。 → 「アラーム表示が出ているときは」(次ページ)をご覧ください。 プリンターは1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。 → もう少しお待ちください。 MultiWriter 6050が[通常使うプリンター]として選択されていますか。 → MultiWriter 6050を[通常使うプリンター]として選択してください。 コンピューターのメモリーが不足しています。 → コンピューターのメモリーを増やしてください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点灯し、ディスプレイにその内容が表示(アラーム表示)されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回ずつ鳴ります。

— ✓ チェック —

リモートパネルで「ブザーを鳴らさない」を設定しているとき、またはメモリースイッチ3-8の設定が有効のときは、ブザーは鳴りません。

次の表にアラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

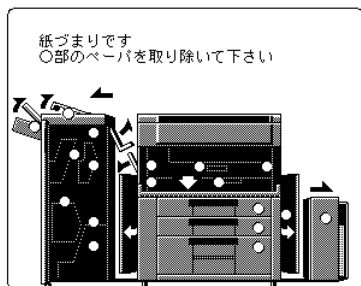
ディスプレイ表示	アラーム内容と処理方法
ホッパ[°] 1 A4ヨコ ホキュウ トレイ A4ヨコ セット	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズ用紙がありません。 →表示されているサイズの用紙をホッパまたはトレイに補給してください。
ホッパ[°] オーフ[°] ン	ホッパがセットされていません。 →ホッパをきちんとセットしてください。
72 カバ[°] オーフ[°] ン ホントイ	前ドアが開いています。 →前ドアをきちんと閉じてください。
	紙づまりが発生しています。 →この後の「紙づまりの処理」に従って、つまった用紙を取り除いてください。
76 トナーナシ	トナーがありません。 →「トナーの補給」(67ページ)に従ってトナーを補給後、前上ドアをきちんと閉じてください。
77 テイキホシュ	定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期です。 →サービス担当者に連絡してください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、[印刷可]スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。 “77テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。

7

故障かな?と思ったら

ディスプレイ表示	アラーム内容と処理方法
78 ステープ ルナシ	ステーブルの針がなくなりました。 →「ステーブルカートリッジの交換」（71ページ）に従ってステーブルカートリッジを交換してください。
79 ハイトナーホ トルフル	廃トナーボトルのトナーがもうすぐ一杯になります。 →保守サービス窓口に連絡してください。 このアラームが発生しても印刷できなくなるわけではありませんので、 [印刷可] スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば印刷を続けることができます。しかし、なるべく早く保守サービス会社に連絡してください。
80 ハイトナーホ トルコウカン	廃トナーボトルのトナーが一杯になりました。 →保守サービス窓口に連絡してください。
81 ハイトナーホ トルナシ	廃トナーボトルが取り付けられていません。または、正常にセットされていません。 →保守サービス窓口に連絡してください。
82 セットフリオウ	フィニッシャが正常にセットされていません。 →フィニッシャを正常にセットしてください。
83 ハイシュツトレイフル	用紙排出中のフィニッシャの下段排出トレイに用紙が一杯です。 →用紙排出中のフィニッシャの下段排出トレイから用紙を取り除いてください。 電源投入時に、フィニッシャの処理トレイ、または下段排出トレイに用紙があります。 →処理トレイまたは下段排出トレイの用紙を全て取り除いてください。
84 フォーム オーバ XXX リセットシテクタ サイ	フォーム登録に必要なメモリーが不足しています。 →処理不可能なデータ印刷です。パネルからリセット操作を行ってください。
85 テイチャクキジュミョウ	定着ユニットの寿命が近くなりました。 →保守サービス窓口に連絡してください。 このアラームが発生しても印刷できなくなるわけではありませんので、 [印刷可] スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば印刷を続けることができます。しかし、なるべく早く保守サービス会社に連絡してください。
86 テイチャクキコウカン	定着ユニットの交換時期になりました。 →保守サービス窓口に連絡してください。
15 コール15-〇X ゾウセツ	増設したメモリに不具合があります。 →保守サービス窓口に連絡してください。 このアラームが発生しても [印刷可] スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば印刷を続けることができますが、その場合メモリは標準構成（32MB/1CPU）のままになります。
上記以外の表示	障害が発生しています。 →電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

紙づまりのときは



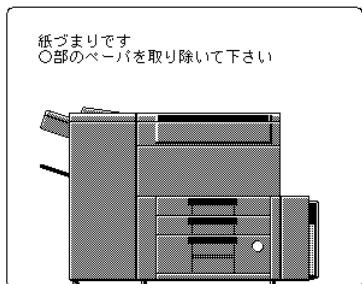
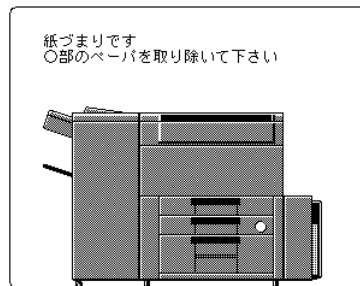
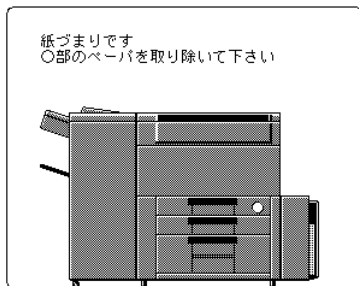
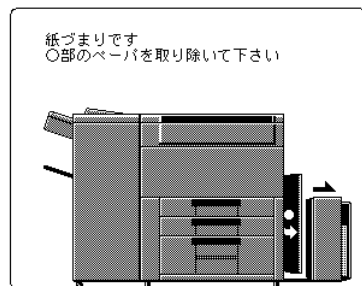
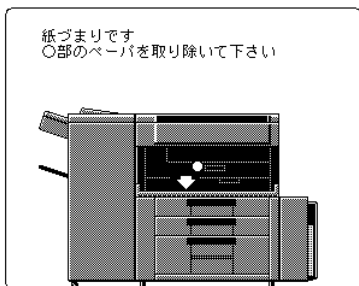
紙づまりが発生すると、印刷可(赤)ランプが点滅し、ディスプレイに左のメッセージが表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態(印刷可ランプが赤色に点滅)になります。

紙づまり位置表示

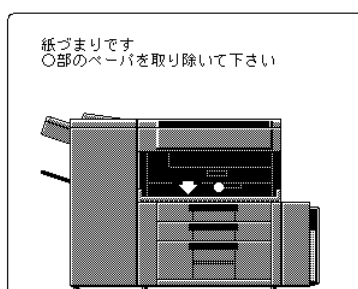
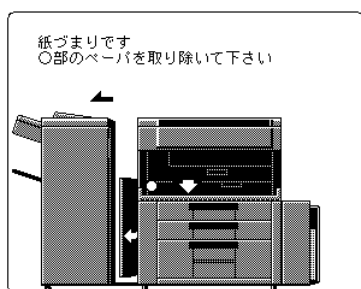
紙づまりが発生した位置により、紙づまり処理手順が異なります。紙づまり位置表示を見て、それぞれの説明に従って用紙を取り除いてください。

“○”が点灯している箇所が紙づまり発生位置です。

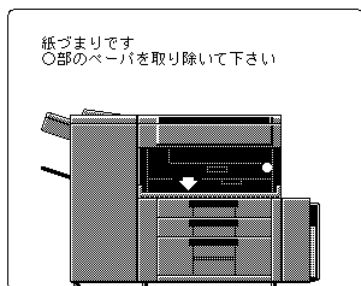
A プリンター用紙搬送部



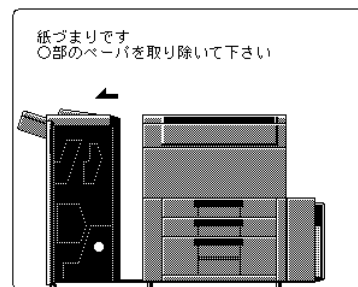
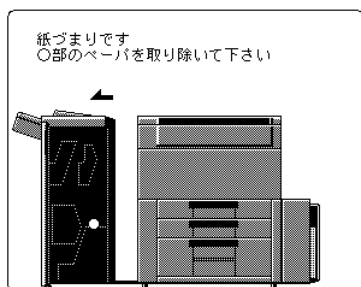
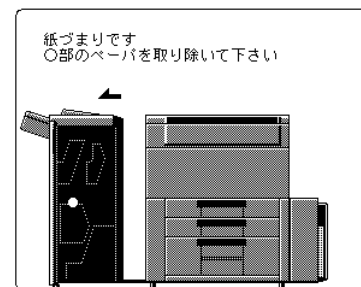
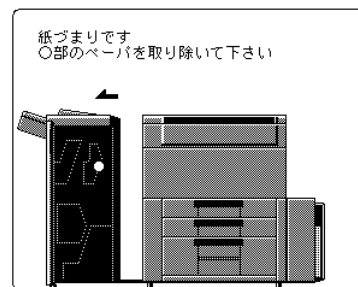
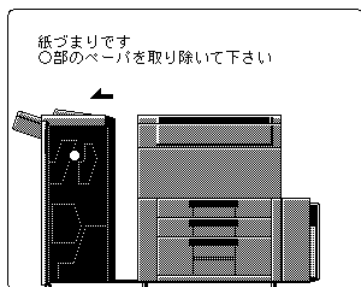
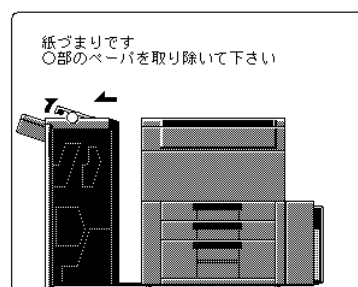
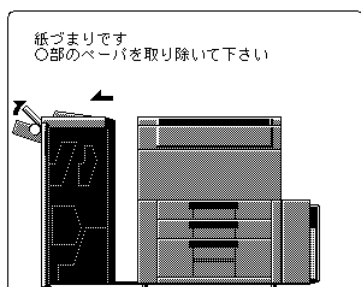
B 両面ユニット



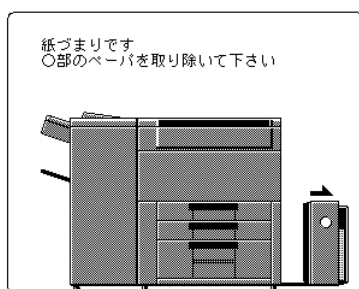
C トレイ



D フィニッシャー



E 大容量ホッパ



つまった用紙を取り除くことができたなら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、印刷が再開されます。

紙づまりが頻発するようでしたら、「紙づまり処理後の確認」(110ページ)を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。

— ✓ チェック —

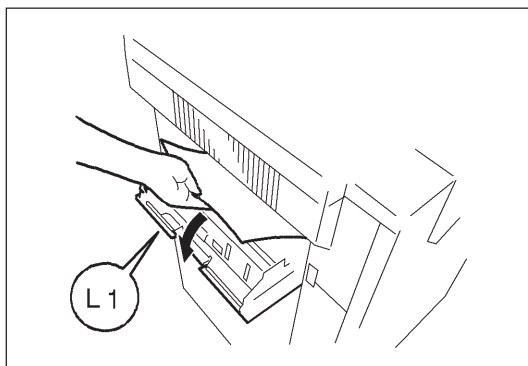
- つまんだ用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- MultiWriter 6050では、つまんだ用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開する機能を持っています。

ただし、紙づまりが発生した位置によっては、それ以降のページから印刷が再開される場合があります。

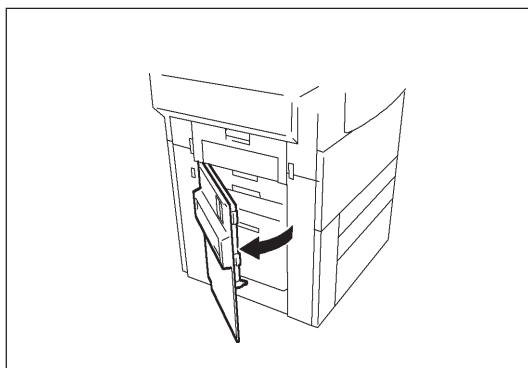
紙づまりの処理

A プリンター用紙搬送部の紙づまり

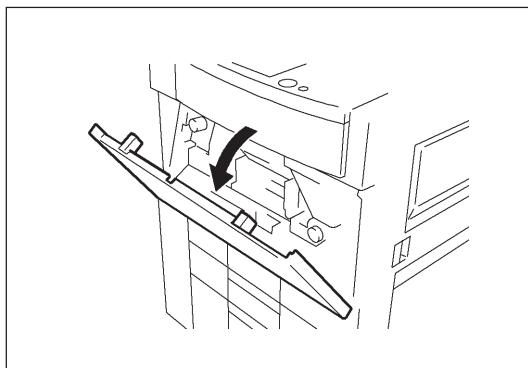
1. 紙づまり処理ガイド(L1)を開きながら用紙を取り除く。



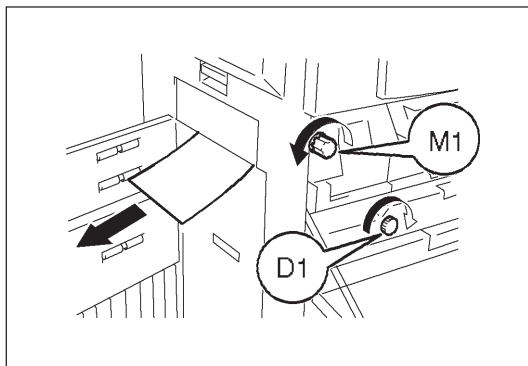
2. 左ドアを開ける。



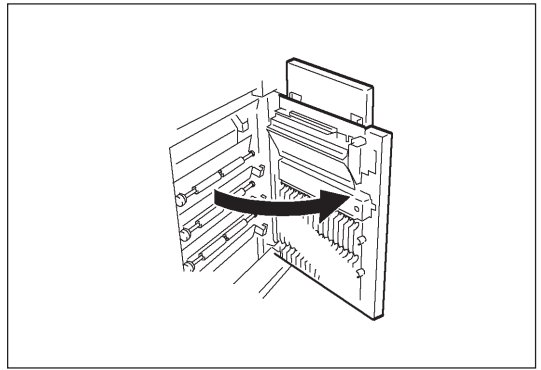
3. 前ドアを開ける。



4. ノブ(M1)を回しながら用紙を取り除き、ノブ(D1)を回し用紙を送る。

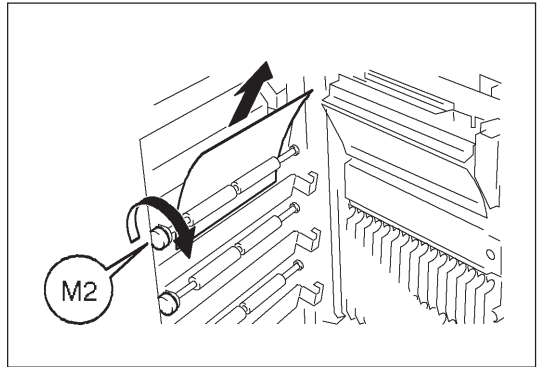


5. 左ドアを閉じ、右ドアを開ける。

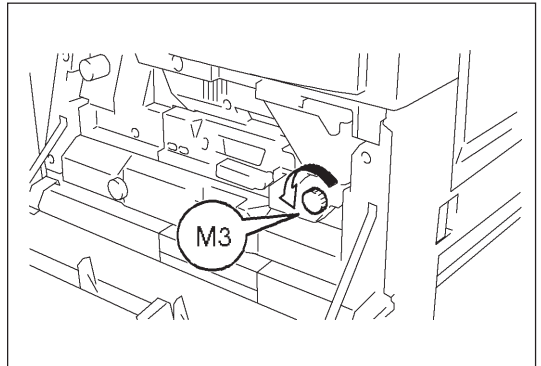


6. ノブ(M2)を回しながら用紙を取り除く。

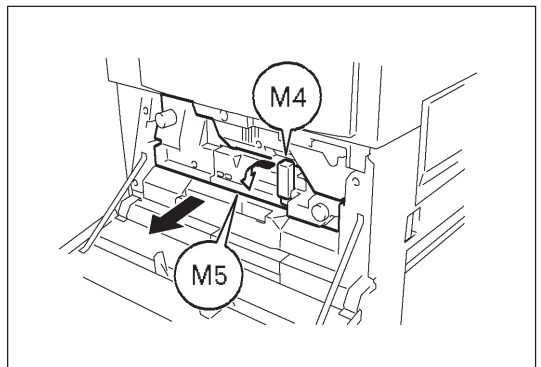
7. 右ドアを閉じる。



8. ノブ(M3)を回し、用紙を送る。

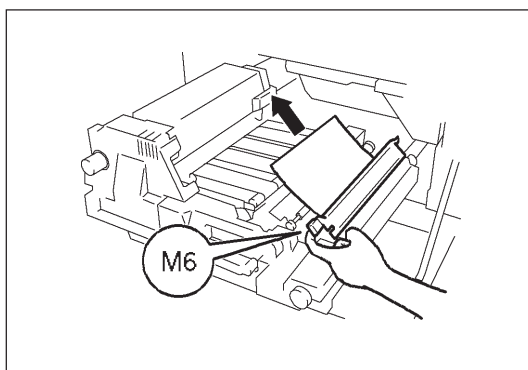


9. (M4)レバーを倒し、(M5)ユニットを引き出す。

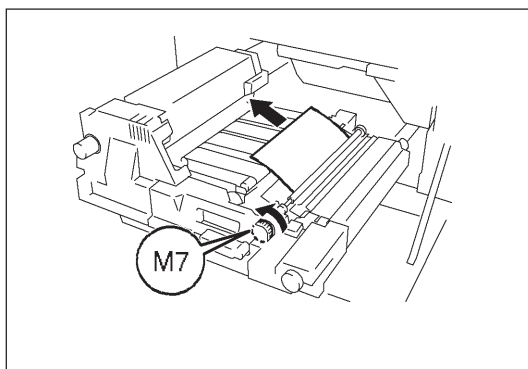


7
故障かな?と思ったら

10. 紙づまり処理ガイド(M6)を持ち上げながら用紙を取り除く。



11. ノブ(M7)を回し、用紙を取り除く。

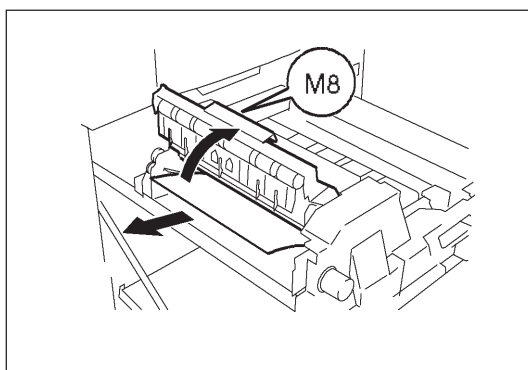


12. 紙づまり処理ガイド(M8)を持ち上げながら用紙を取り除く。

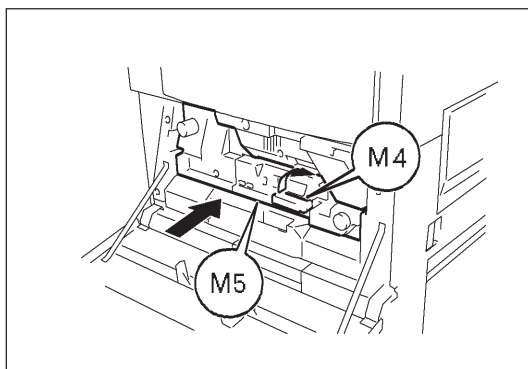


注意

定着部周辺は高温になっています。火傷の原因となりますので用紙以外には手を触れないでください。

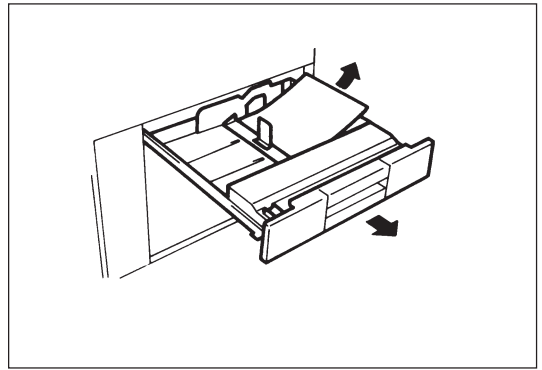


13. (M5)ユニットを元に戻し、レバー(M4)を元に戻す。

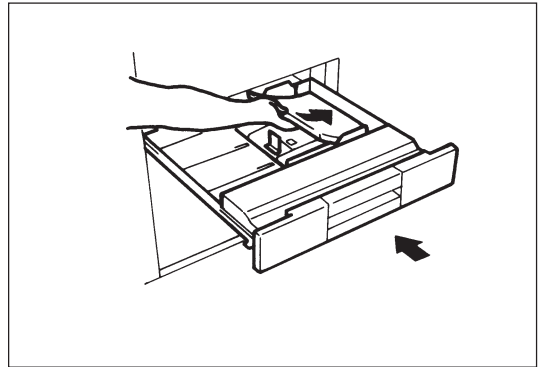


14. 前ドアを閉じる。

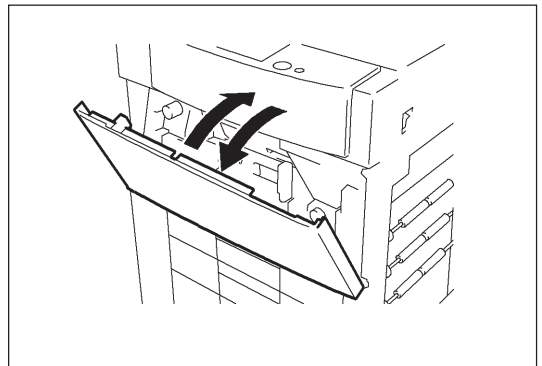
15. 使用しているホッパを引き出し、ホッパ内に残っている用紙を取り出す。



16. 用紙をセットし直し、ホッパを元に戻す。



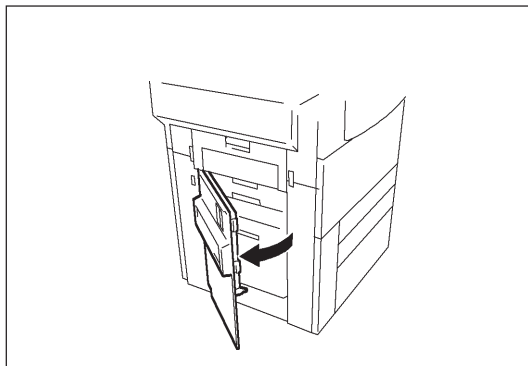
17. ディスプレイの紙づまり表示をリセットするため、前ドアを一度開閉する。



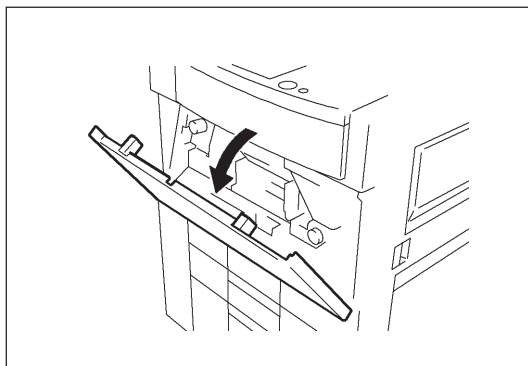
7
故障かな?と思ったら

B プリンターユニットでの紙づまり

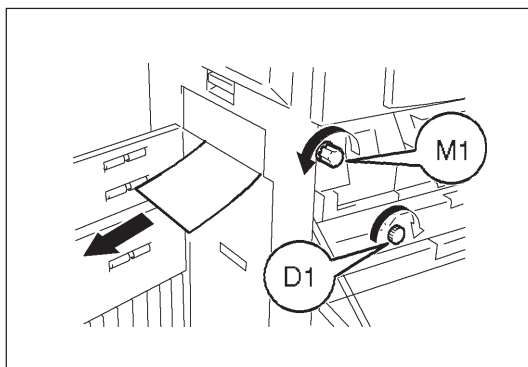
1. 左ドアを開く。



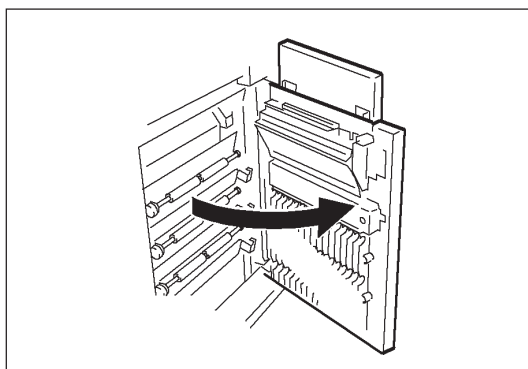
2. 前ドアを開く。



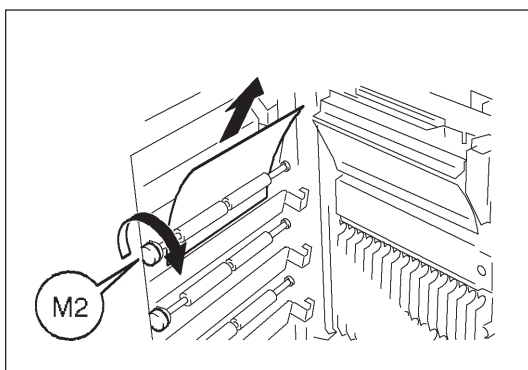
3. ノブ(M1)を回しながら用紙を取り除き、ノブ(D1)を回し、用紙を送る。



4. 左ドアを閉じ、右ドアを開ける。

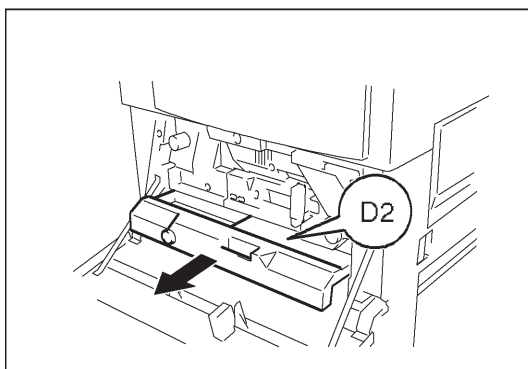


5. ノブ(M2)を回しながら用紙を取り除く。

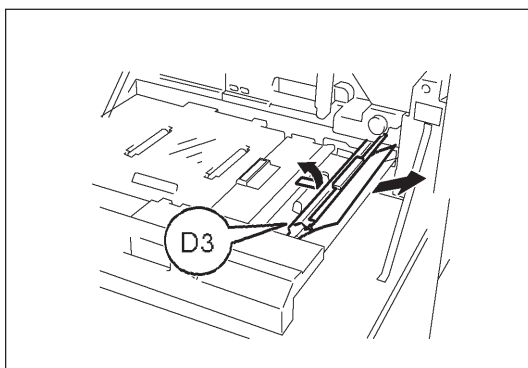


6. 右ドアを閉じる。

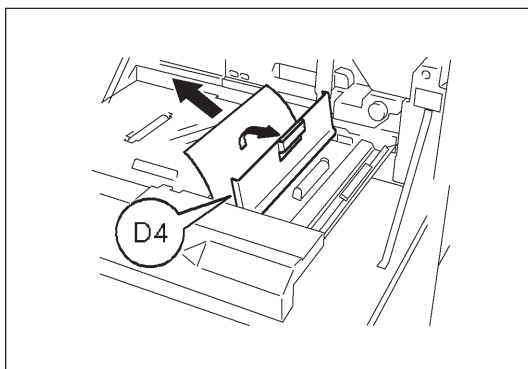
7. 両面ユニット(D2)を引き出す。



8. 紙づまり処理ガイド(D3)を持ち上げながら用紙を取り除く。

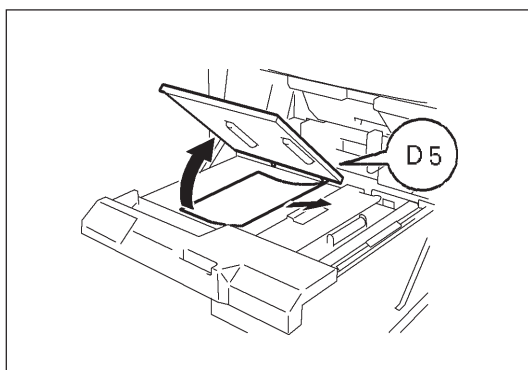


9. 紙づまり処理ガイド(D4)を持ち上げながら用紙を取り除く。

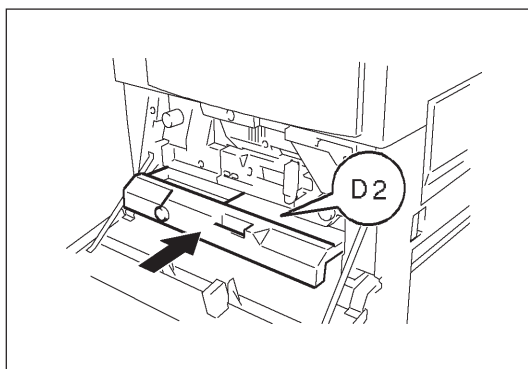


7
故障かな?と思ったら

10. 紙づまり処理ガイド(D5)を持ち上げながら用紙を取り除く。



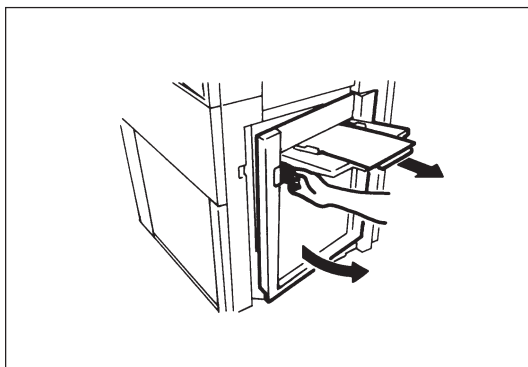
11. 自動両面ユニット(D2)を元に戻す。



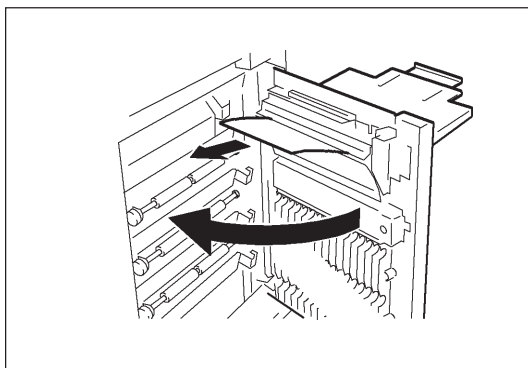
12. 前ドアを閉じる。

C トレイでの紙づまり

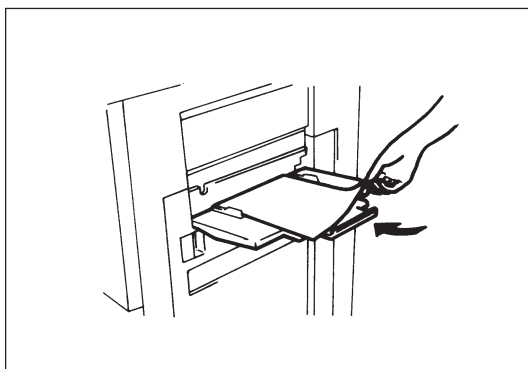
1. トレイ上の用紙を取り除き、右ドアを開く。



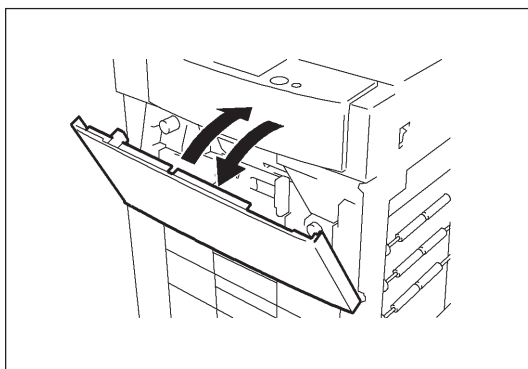
2. 給紙部の用紙を取り除き、右ドアを閉じる。



3. 再度、用紙をセットする。



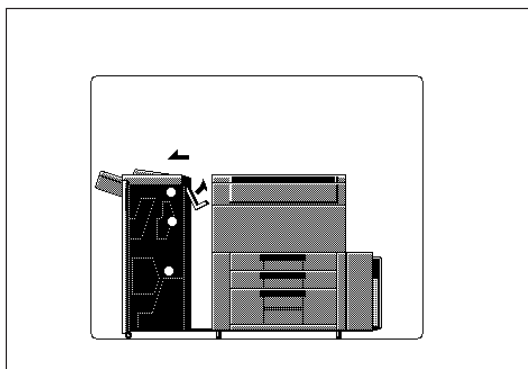
4. ディスプレイの紙づまり表示をリセットするため、前ドアを一度開閉する。



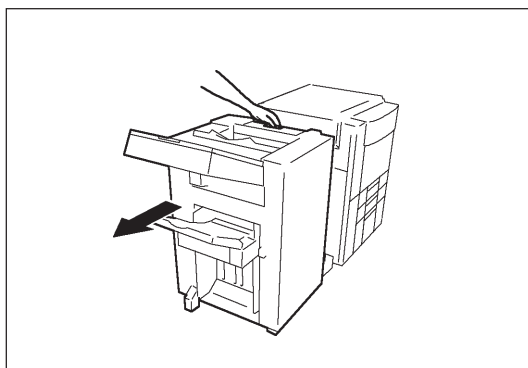
7
故障かな?と思ったら

□ フィニッシャでの紙づまり

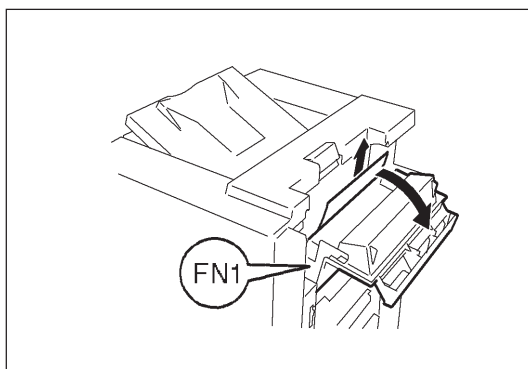
ディスプレイの右図の部分が点灯した場合



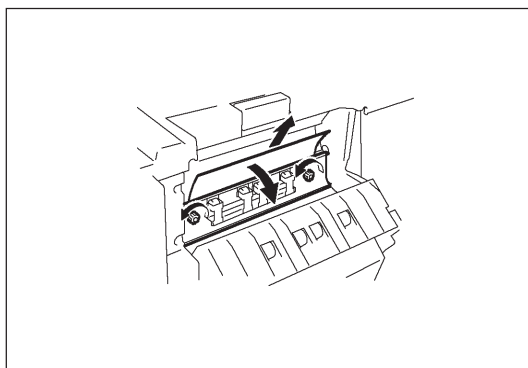
1. フィニッシャロック解除レバーを握りながら
フィニッシャをプリンター本体から引き離す。



2. 紙づまり処理ガイド(FN1)を開きながら用紙を
取り除く。

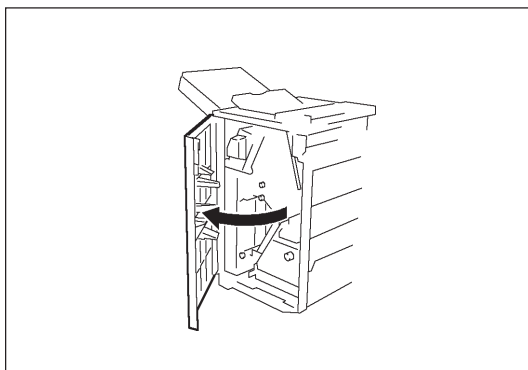


3. ネジをゆるめた後、ガイド板を倒し、用紙を取
り除く。

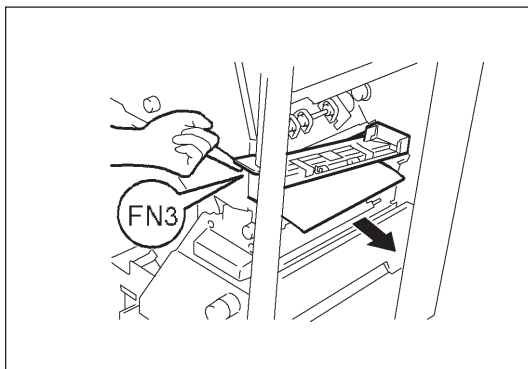


4. ガイド板を戻し、ネジをしめる。

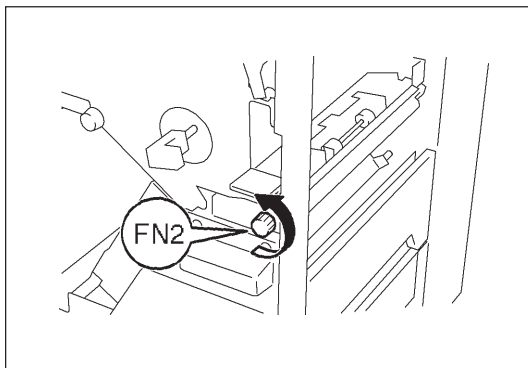
5. フィニッシャ前ドアを開ける。



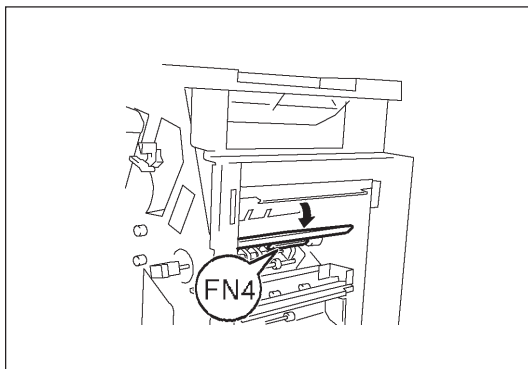
6. 紙づまり処理ガイド(FN3)を持ち上げながら用紙を取り除く。



7. ノブ(FN2)を回し、用紙を送る。

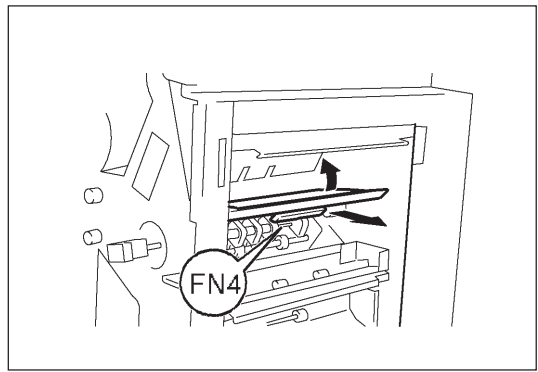


8. 紙づまり処理ガイド(FN4)を開ける。

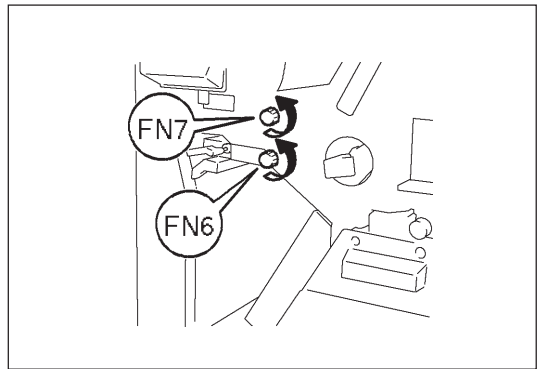


7
故障かな?と思ったら

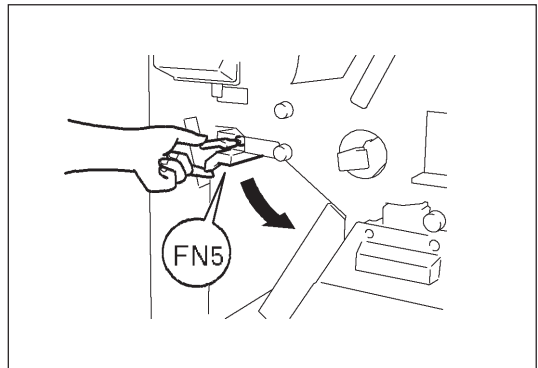
9. 用紙を取り除き、紙づまり処理ガイド(FN4)を閉じる。



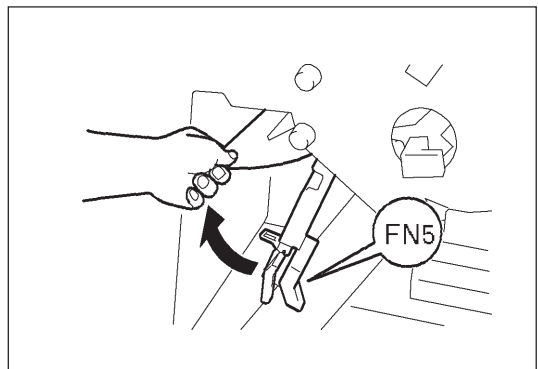
10. ノブ(FN7)、(FN6)を回し、用紙を送る。



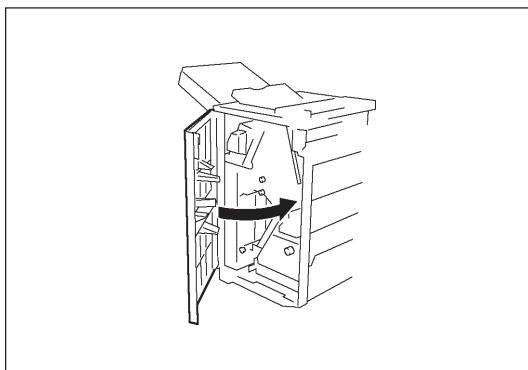
11. 紙づまり処理ガイド(FN5)のレバーをつまみ、開く。



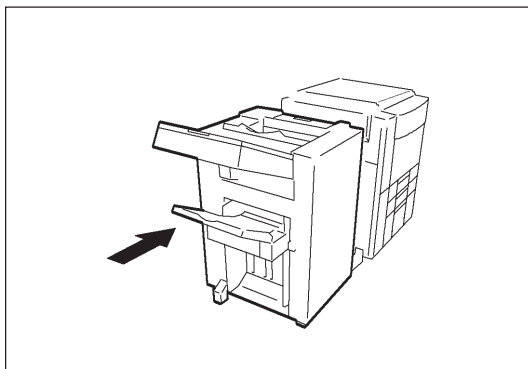
12. 用紙を取り除き、紙づまり処理ガイド(FN5)を閉じる。



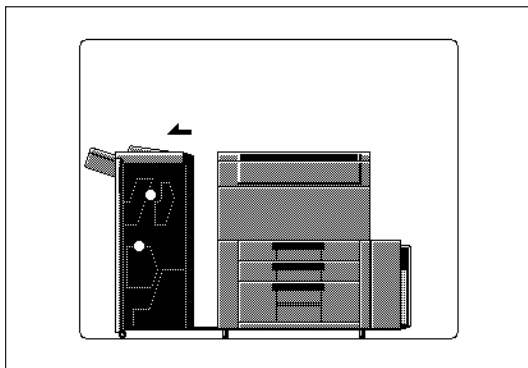
13. フィニッシャ前ドアを閉じる。



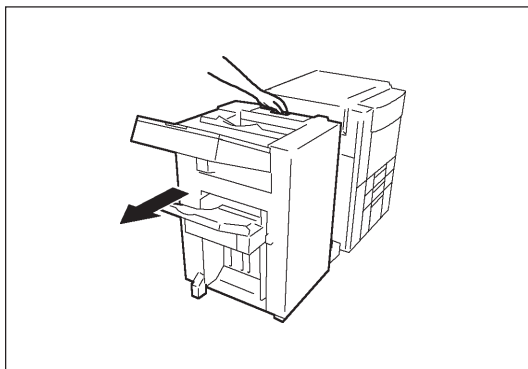
14. フィニッシャを元に戻す。



ディスプレイの右図の部分が点灯した場合

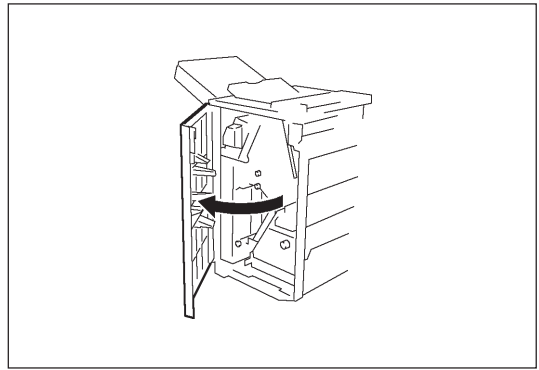


1. フィニッシャロック解除レバーを握りながら
フィニッシャをプリンター本体から引き離す。

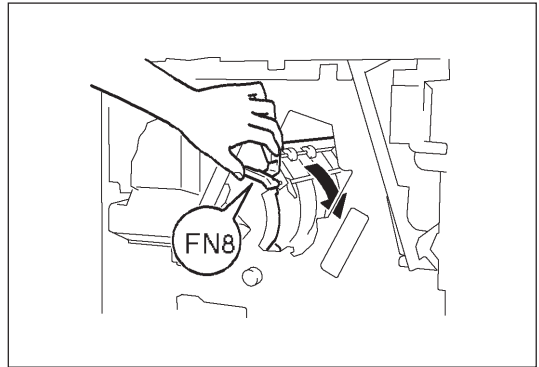


7
故障かな?と思ったら

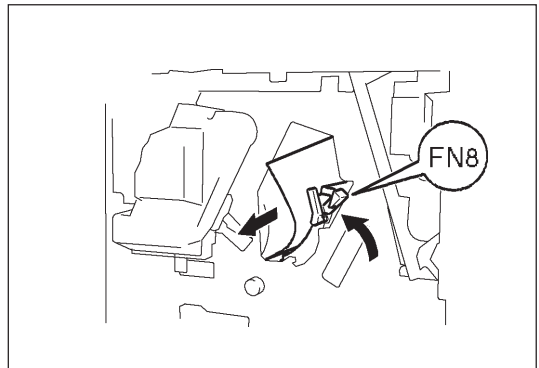
2. フィニッシャの前ドアを開ける。



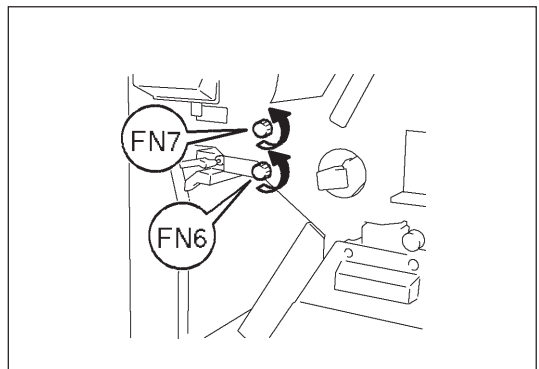
3. 紙づまり処理ガイド(FN8)のレバーをつまみ、開ける。



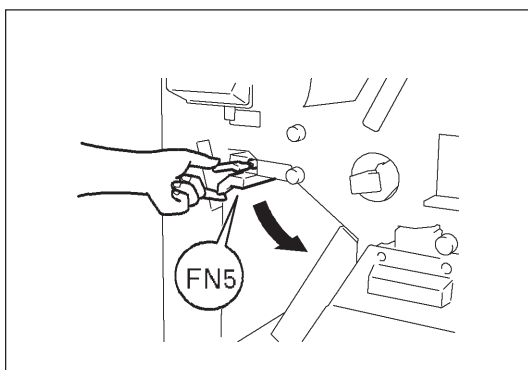
4. 用紙を取り除き、紙づまり処理ガイド(FN8)を閉じる。



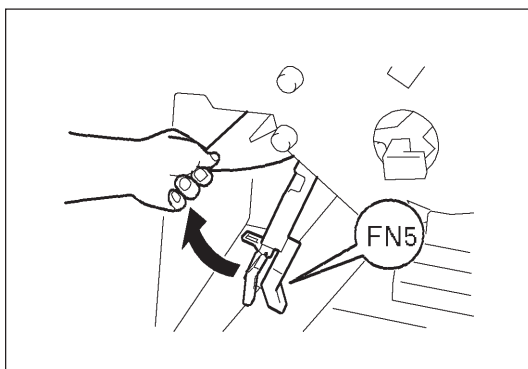
5. ノブ(FN7)、(FN6)を回し、用紙を送る。



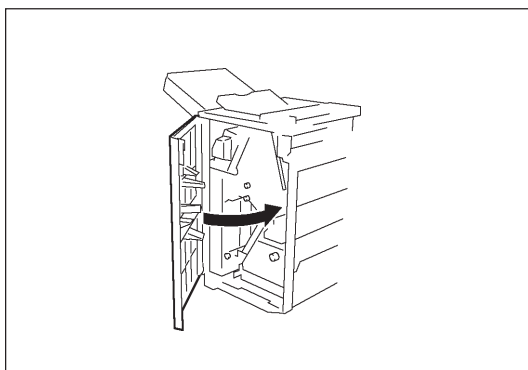
6. 紙づまり処理ガイド(FN5)のレバーをつまみ、開く。



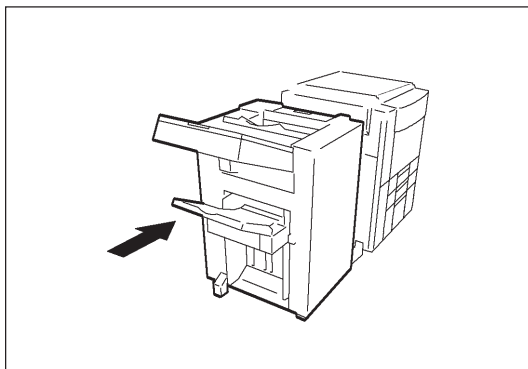
7. 用紙を取り除き、紙づまり処理ガイド(FN5)を閉じる。



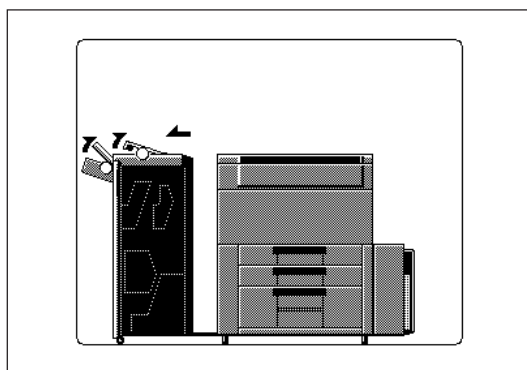
8. フィニッシャの前ドアを閉じる。



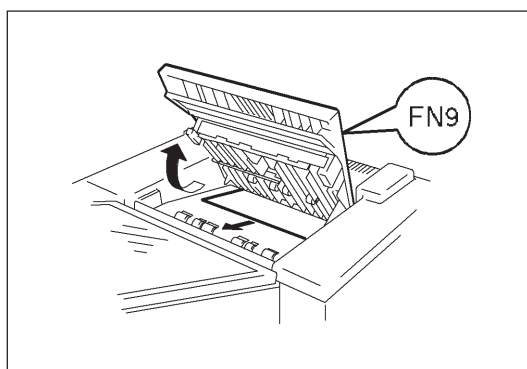
9. フィニッシャを元に戻す。



ディスプレイの右図の部分が点灯した場合

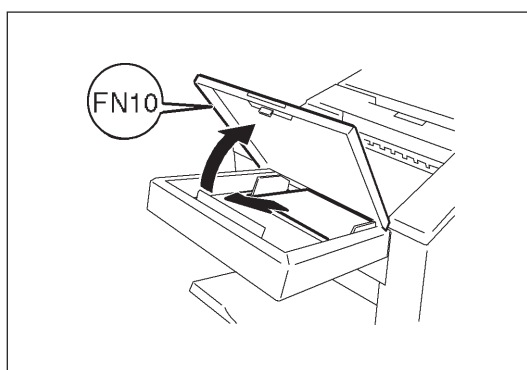


1. 排出トレイ(FN9)を開けて、用紙を取り除く。



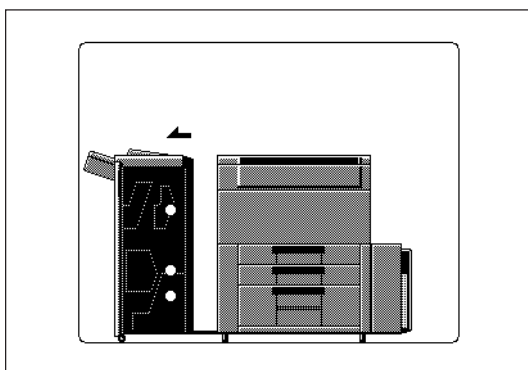
2. 排出トレイ(FN9)を閉じる。

3. 処理トレイカバー(FN10)を開け、用紙を取り除く。

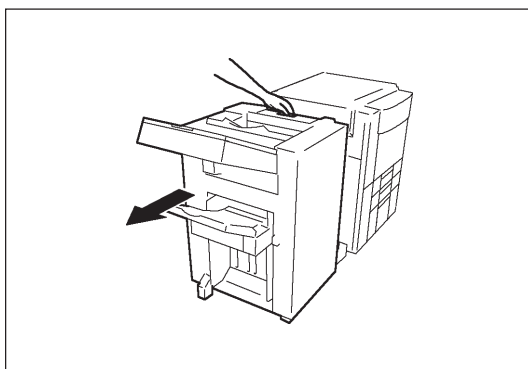


4. 処理トレイカバー(FN10)を閉じる。

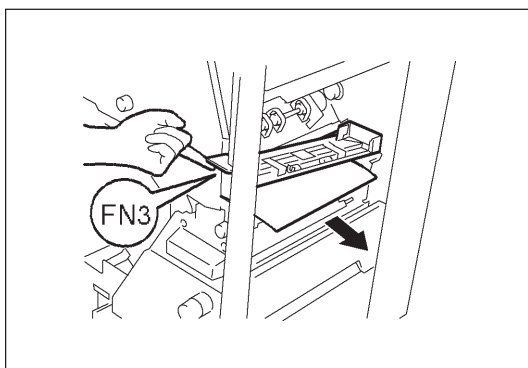
ディスプレイの右図の部分が点灯した場合



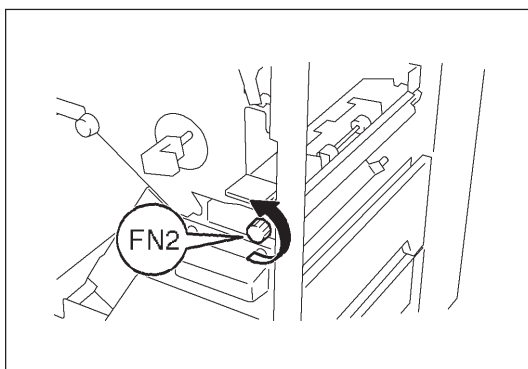
1. フィニッシャーロック解除レバーを握りながらフィニッシャーをプリンター本体から引き離す。



2. フィニッシャー前ドアを開ける。
3. 紙づまり処理ガイド(FN3)を持ち上げながら用紙を取り除く。

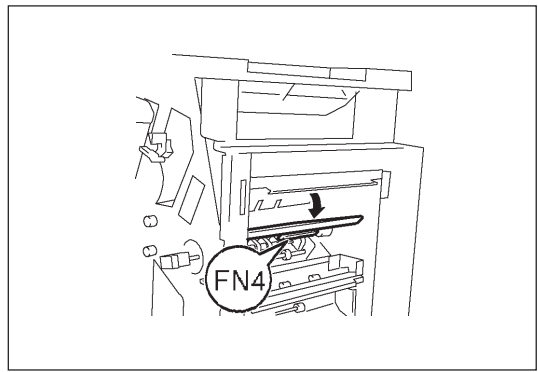


4. ノブ(FN2)を回し、用紙を送る。

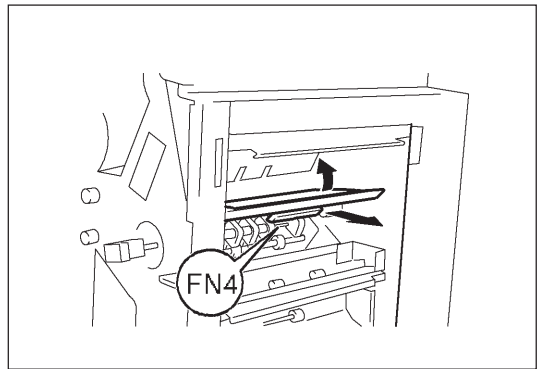


7
故障かな?と思ったら

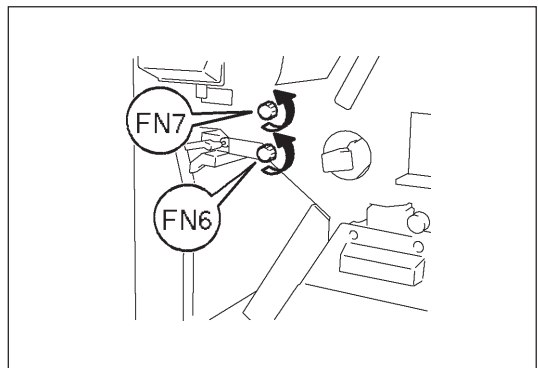
5. 紙づまり処理ガイド(FN4)を開ける。



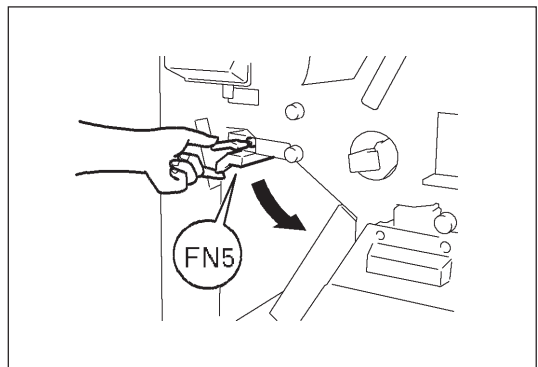
6. 用紙を取り除き、紙づまり処理ガイド(FN4)を閉じる。



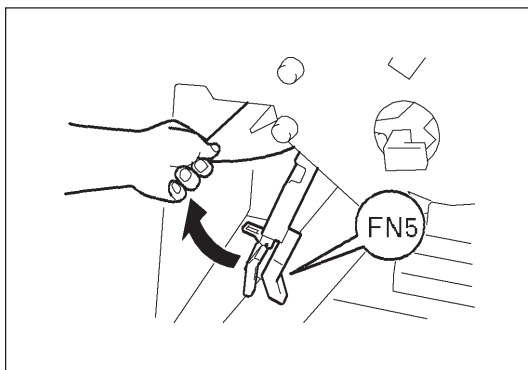
7. ノブ(FN7)、(FN6)を回し、用紙を送る。



8. 紙づまり処理ガイド(FN5)のレバーをつまみ、開く。



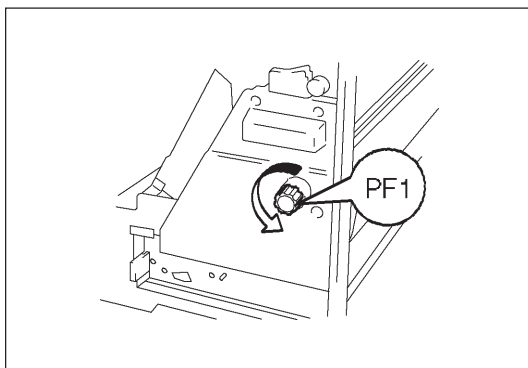
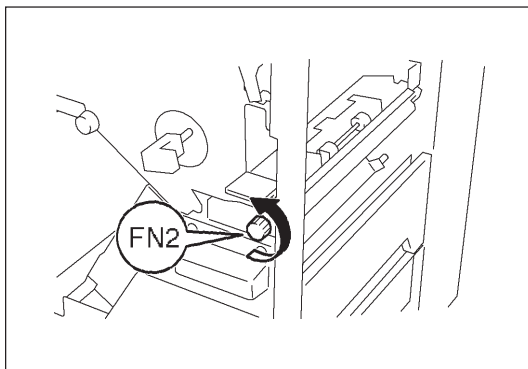
9. 用紙を取り除き、紙づまり処理ガイド(FN5)を閉じる。



10. ノブ(FN2)とノブ(PF1)を同時に5回転させ、用紙を送る。

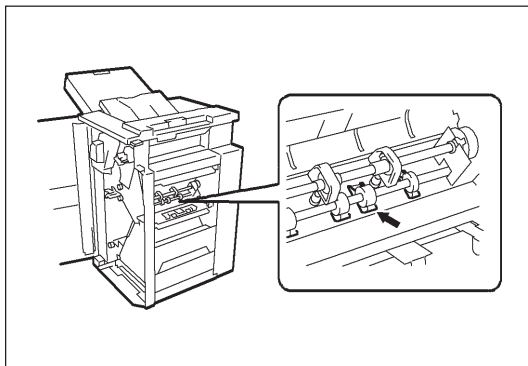


用紙が残った状態では紙折りユニット(PF2)を引き出さないでください。故障の原因となります。

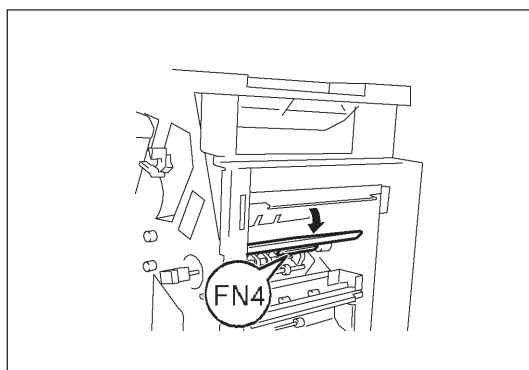


11. 用紙が残っていないことを確認する。

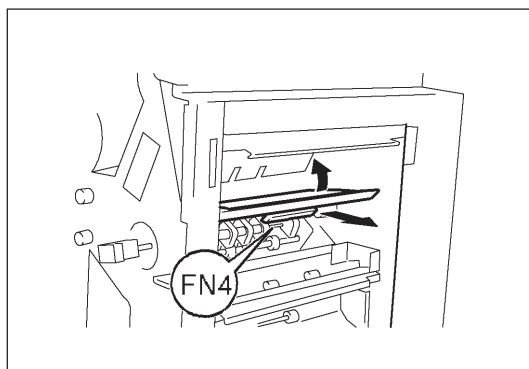
用紙が見える場合は、手順10をもう一度行ってください。



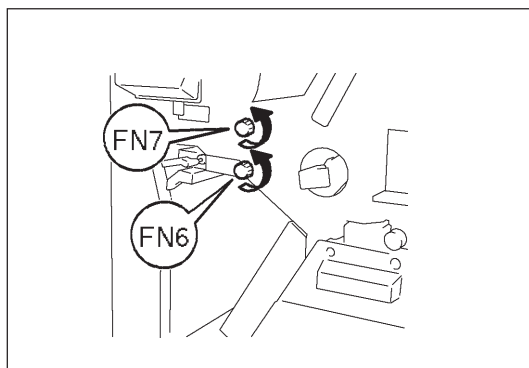
12. 紙づまり処理ガイド(FN4)を開ける。



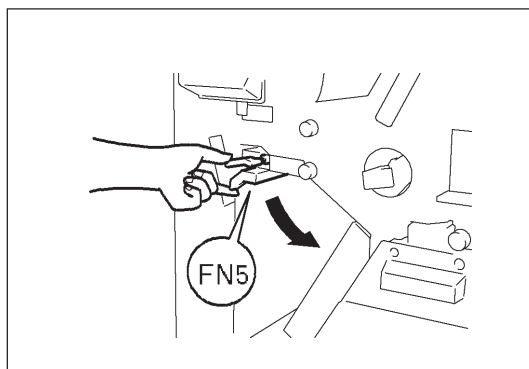
13. 用紙を取り除き、紙づまり処理ガイド(FN4)を閉じる。



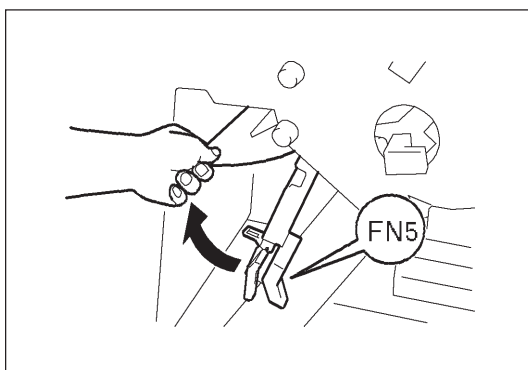
14. ノブ(FN7)とノブ(FN6)を回し、用紙を送る。



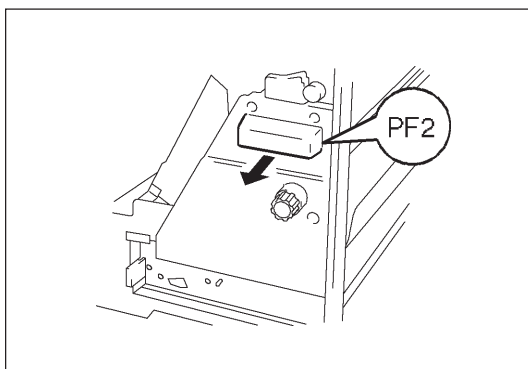
15. 紙づまり処理ガイド(FN5)のレバーをつまみ、開く。



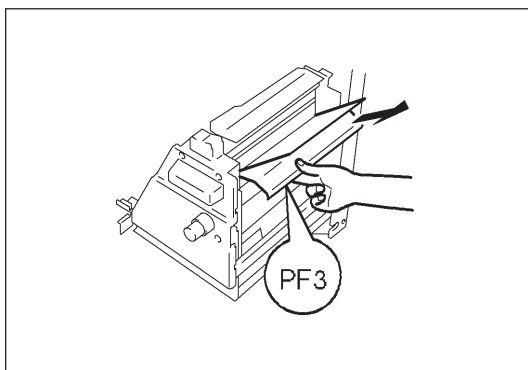
16. 用紙を取り除き、紙づまり処理ガイド(FN5)を閉じる。



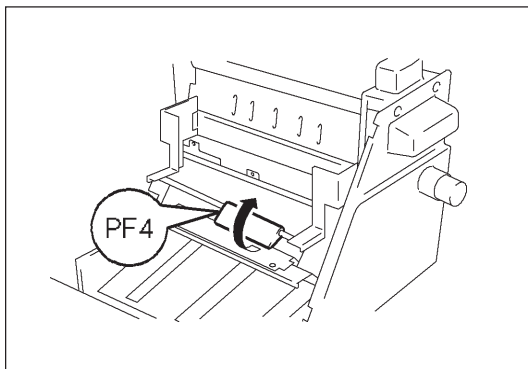
17. 紙折りユニット(PF2)を引き出す。



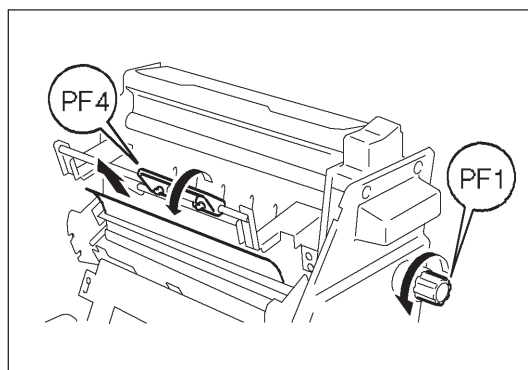
18. 紙づまり処理ガイド(PF3)を開きながら用紙を取り除く。



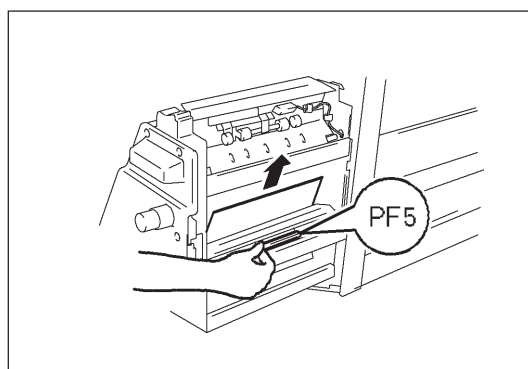
19. 紙づまり処理ガイド(PF4)を引き上げる。



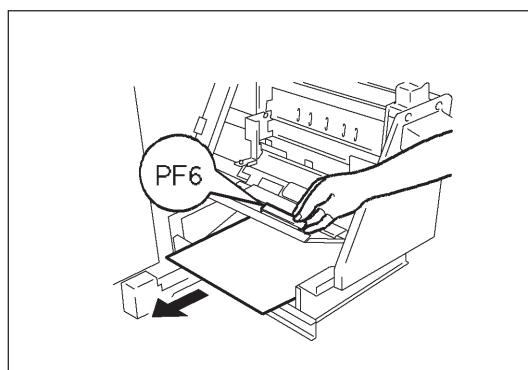
20. ノブ(PF1)を回しながら用紙を取り除き、紙づまり処理ガイド(PF4)を元に戻す。



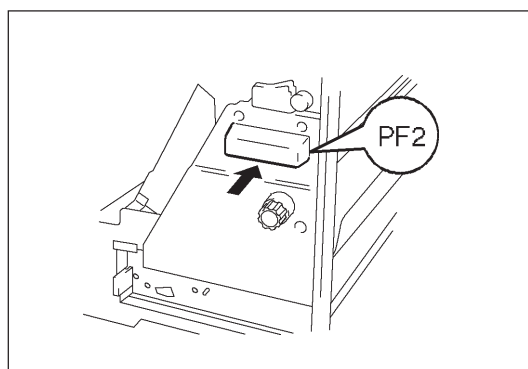
21. 紙づまり処理ガイド(PF5)を開きながら用紙を取り除く。



22. 紙づまり処理ガイド(PF6)を開きながら用紙を取り除く。



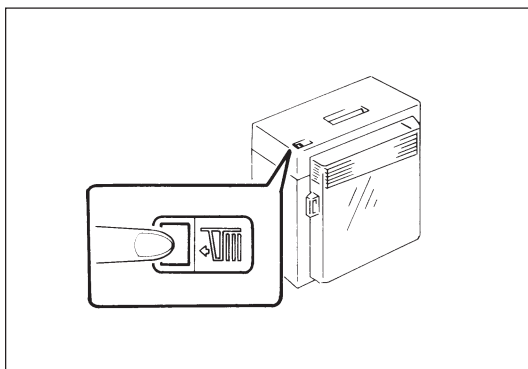
23. 紙折りユニット(PF2)を元に戻す。



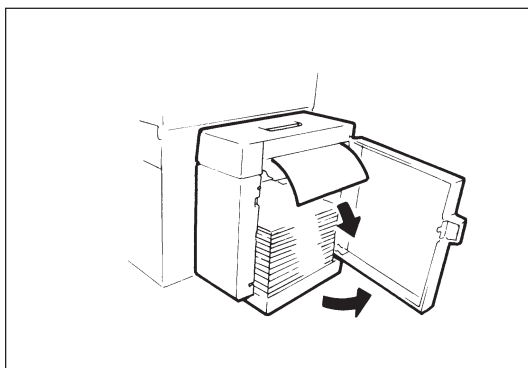
24. フィニッシャ前ドアを閉じ、フィニッシャを元に戻す。

E 大容量ホッパでの紙づまり

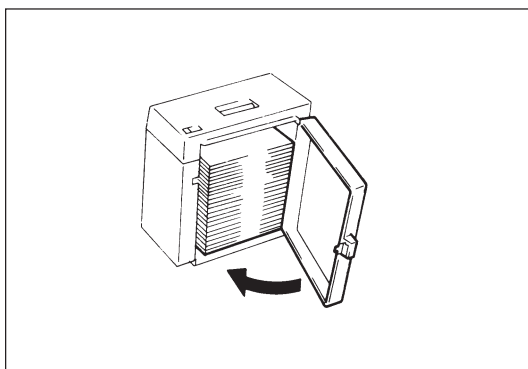
1. 給紙テーブル[下降]キーを押す。



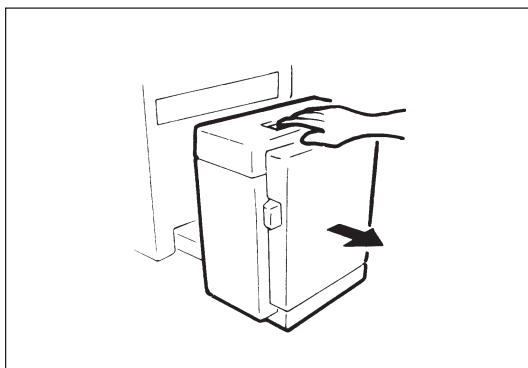
2. ドアロック解除レバーをつかみながら、ホッパドアを開き、用紙を取り除く。



3. ホッパドアを閉じる。

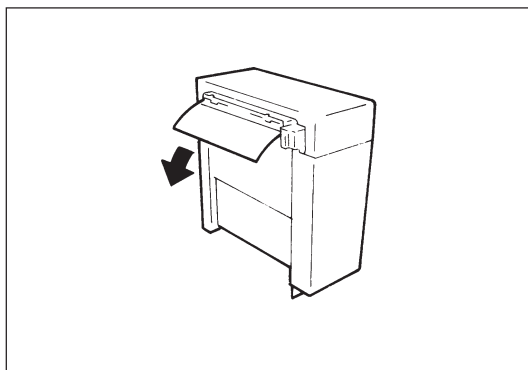


4. ロック解除レバーを押し、大容量ホッパを本体から引き離す。

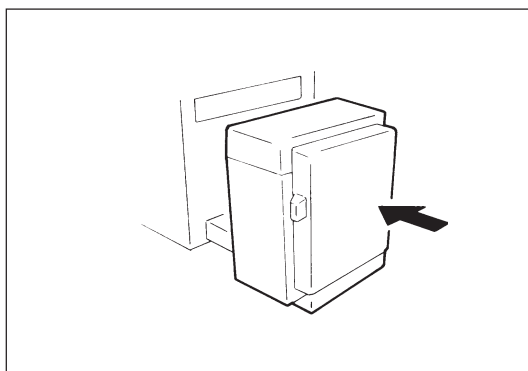


7
故障かな?と思ったら

5. 用紙を取り除く。



6. 大容量ホッパを元に戻す。



紙づまり処理後の確認

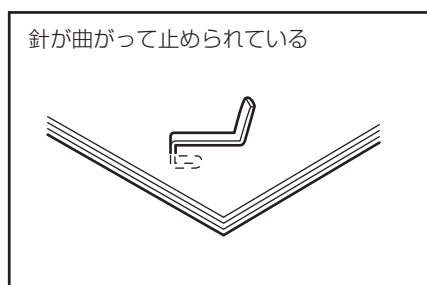
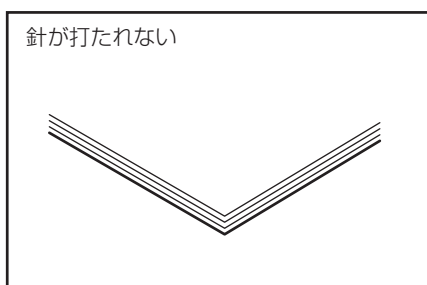
つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために、次の事項を確認してください。

- ☐ 用紙片が紙づまりした場所に残っていませんか。
- ☐ 各カバーは確実に閉じられていますか。
- ☐ ホッパは奥までセットされていますか。
- ☐ ホッパ内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。
- ☐ 用紙は正しくセットされていますか。
- ☐ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙について」(45ページ)に記載されている事からは守られていますか。
- ☐ 用紙の量が多すぎませんか。
- ☐ 一度印刷した用紙を使用していませんか。

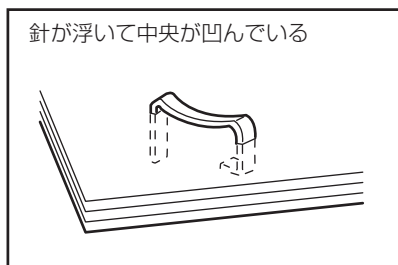
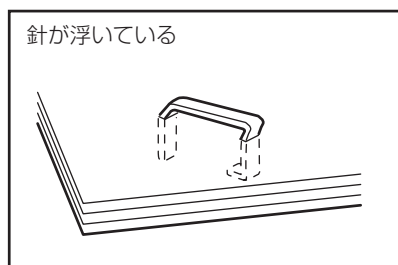
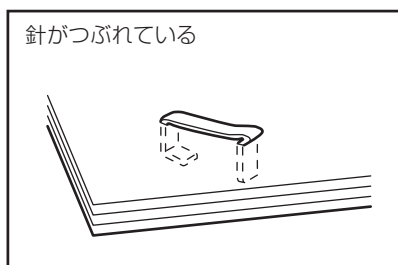
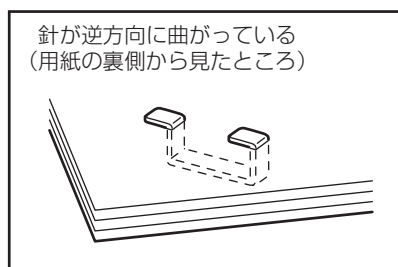
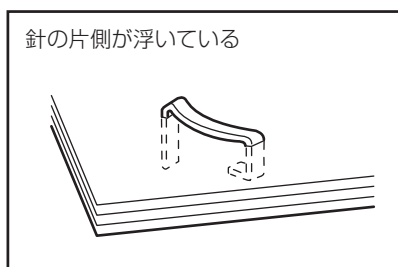
紙づまり処理直後は、ローラ等に付着したトナーで用紙が汚れることがあります。その場合は、数枚テスト印刷を行ってから印刷を再開してください。

ステープルどめがうまくいかないときは

フィニッシャでステープルどめをした場合のトラブルについて説明します。針が打たれなかったり、針が曲がってとめられているときは、ステープル本体を確認します。



下図のように針が打たれているときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。



✓ チェック

- ステープルどめができるのは最大50枚(坪量64.0g/m²)までです。
- ステープルどめをする場合は、用紙サイズ、用紙方向をそろえてホッパに用紙をセットしてください。
また、合紙をセットする場合も、同一サイズ、同一方向に用紙をセットしてください。

付録A

メニューモードと メモリースイッチの詳細

メニューモードでは、操作パネル上のスイッチを使って、プリンターのさまざまな設定を変更することができます。ここではメニューについての詳細を説明します。メニューモードの設定変更のしかた、メニューの設定項目一覧表、メモリースイッチの内容、メニューツリーについては3章をご覧ください。

メニューの詳細

テスト印刷（テストインサツメニュー）

ステータス印刷、サンプル印刷、連続印刷（テスト印刷）、16進ダンプ印刷、または保守印刷を実行します。連続印刷（テスト印刷）は自動的に印刷を終了しません。[ストップ]スイッチを押した後、もう一度[ストップ]スイッチを押しながら[印刷可]スイッチを2回押してください。プリント結果については169ページをご覧ください。

印刷環境の設定（インサツセッテイメニュー）

コピー枚数

コピー枚数は“01”から“99”まで設定できます。プリンターをリセットしたり、電源スイッチをOFFにしたりすると、設定はクリアされ“01”になります。アプリケーションによっては、ソフトウェアからコピー枚数を設定するものがあります。この場合、ソフトウェアで設定したコピー枚数が優先します。

用紙の設定 (ヨウシメニュー)



ここで設定できる機能には、メモリスイッチ(119ページ参照)で設定できる機能もあります。その場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。

1. ホッパ初期設定

電源投入時およびリセット時のホッパ設定をどのホッパにするかを選択します。

2. トレイ用紙

トレイで使用する用紙の種別を「普通紙」、「厚紙」、「OHP」の3種類から設定します。
ここで指定した種別はすべての用紙サイズで有効です。

3. 合紙設定

合紙(色紙など)を給紙するホッパ/トレイを選択します。
合紙ホッパを設定した場合、通常の印刷ページへの使用はできません。合紙のみの印刷となります。
合紙モードを使用しないときは、OFFにしてください。
合紙と印刷ページと一緒にステープルする場合は、用紙サイズおよび用紙のセット方向を同じにしてください。合紙と印刷ページが異なる場合は、一緒にステープルされません。

4. リレイ給紙設定

リレイ給紙機能を使用するかどうかを選択します。
指定している給紙先に用紙がなくなった場合に、他のホッパかトレイに同じサイズの下紙があれば、自動的に給紙先を切り替えて印刷を行う機能です。
リレイ給紙が有効となるのは以下の条件をすべて満たしている場合です。

- 指定しているホッパやトレイがリレイ給紙機能を使用する設定になっている。
- 2つ以上のホッパやトレイがリレイ給紙機能を使用する設定になっている。
- リレイ給紙機能を使用するホッパやトレイの内、2つ以上に同じサイズの下紙をセットしている。

5. ジョブセパレート機能

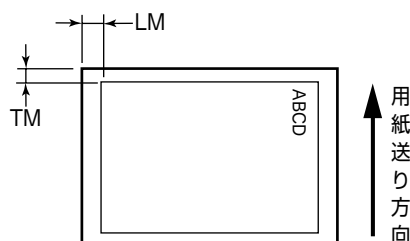
ジョブセパレート機能を使用するかどうかを選択します。ジョブセパレート機能の詳細についてはユーザーズマニュアル[2/2]の「ジョブセパレート機能」をご覧ください。

印字位置微調整の設定 (インジイセツイメニュー)

ホッパ、トレイ、両面印刷時の表面、裏面の印刷位置を調整します。
メニューモードの「テスト印刷」で出力した「ステータス印刷」の結果を使い、外周の四角い罫線のトップマージン(TM)とレフトマージン(LM)を測定して調整します。

調整できる範囲は、「-3.9ミリ」～「+3.9ミリ」で、0.3ミリ単位で設定できます。

設定変更スイッチを押すと、0.3ミリずつ減り、「-3.9ミリ」を越えると「+3.9ミリ」になります。



この設定は、プリンターやオプションの状態、使用する用紙の種類によって発生する印刷位置の誤差を補正するための機能です。この調整が正しく行われないとアプリケーションで余白の値が正確に指定できなくなったり、用紙端に近い部分の印刷が正常に行われなくなったりします。またこの機能は、用紙送り方向に対する位置を調整するもので、用紙の向きや印刷方向を設定するものではありません。

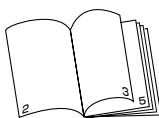
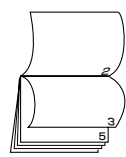
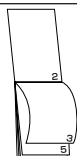
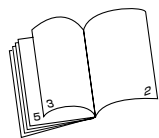
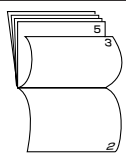
両面印刷の設定（リョウメンインサツメニュー）

1. 初期設定

電源投入時およびリセット時の印刷モードを両面印刷にするかしないかを選択します。

2. とじしろ

綴じしろを付加する位置を設定します。

とじしろ	印刷方向	
	ポートレート	ランドスケープ
ロング1	左綴じ 	上綴じ 
ショート1	上綴じ 	右綴じ 
ロング2	右綴じ 	下綴じ 
ショート2	下綴じ 	左綴じ 

3. 余白

綴じしろを付加する量を設定します。設定範囲は0～20mmで、1mm間隔で設定可能です。

4. クリップ

綴じしろを付加した場合、印刷領域が狭くなることによって、印刷範囲からはみ出したデータをクリッピングするか自動改行／改ページするかを設定します。

運用環境の設定 (ユーザー)

1. 節電機能

節電機能を使用するかしないかを選択します。節電機能に入るまでの時間を選択します。

— チェック —

プリンターの電源をONにしたまま一定時間、印刷を行わないとき、自動的に消費電力を75W以下の状態に節約できる機能です。

節電機能を使用しているときは、プリンターは印刷を開始する前にウォームアップを行うことがあります。この場合、通常より印刷が始まるまでに時間がかかることがあります。

節電モード中には、動作可能な電力を使ってないためホッパ、カバー、フィニッシャ(オプション)の動作を行いません。

2. 自動排出

自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。

データを送り終わったのに印刷を開始しない状態が多く発生するソフトウェアを使用している場合は、このメニューで設定時間を選択することをお勧めします。

3. メモリーセッテイ

プリンターが持つメモリーの使用方法を選択します。

メモリー割り当て

ページプロテクトで印刷データのために割り当てられた容量を除く残りのメモリーを、印刷する場合にどのように利用するかを指定します。

— 標準

通常の用途で最も性能が発揮できるように、それぞれのバッファにメモリーを最適に割り当てます。通常はこの設定のままでお使いください。

— 受信バッファ優先

印刷データをプリンター内部に蓄えるために使用されるメモリー(受信バッファ)に優先してメモリーを割り当てます。これにより、コンピューターが印刷のために行う処理を少なくすることができます。

— チェック —

「ジョシンバッファユウセン」に設定した場合、ネットワーク用プリンターユーティリティ使用時に表示される「メモリーサイズ」の各々の項には実装されているメモリー容量よりも少ない値が表示されます。NPDLのステータス印刷では正しい値が表示されます。

— 文字キャッシュ優先

印刷データ中の文字データを認識するために使用されるメモリー(文字キャッシュ)に優先してメモリーを割り当てます。文字データの多いもの(テキストデータなど)を印刷するときこの設定を指定しておくと、処理能力が向上します。

— フォーム登録優先

フォーム登録のために使用されるメモリーに優先してメモリーを割り当てます。定型の印刷データを使う場合はこの設定にしておくと、多量の印刷データを取り扱うことができます。

フォーム登録についての詳細は、別売の「日本語ページプリンタ言語NPDL (Level 2) リファレンスマニュアル」を参照してください。

フォント環境の設定（フォントメニュー）

フォントに関する設定は、プリンターが持っている文字に対してのみ有効です。詳細については「文字の種類」(167ページ)をご覧ください。

- 1バイト系ゼロ
1バイトコード系の数字ゼロの字体(0または0)を選択します。
メモリースイッチ2-1でも選択できます。
- 2バイト系ゼロ
2バイトコード系の数字ゼロの字体(0または0)を選択します。
- ANK
1バイトコード系のフォントのANK文字(アルファベット、数字、カタカナ)のフォントを選択します。
- 漢字
標準フォント(2バイト文字)を選択します。
明朝またはゴシックの書体を選択します。
- 文字セット
2バイト系文字セットを選択します。
- 国別
各国文字セットを選択します。

動作環境の設定（トウサメニュー）

動作エミュレーション

セントロポート、LANボードで個別にプリンターの動作モードをNPDLモードに設定しています。

NPDL環境の設定（NPDLセッテイメニュー）

1. A4ポートレート桁数

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

B5サイズの場合67桁、B4サイズの場合95桁となります。

メモリースイッチ2-7でも選択できます。

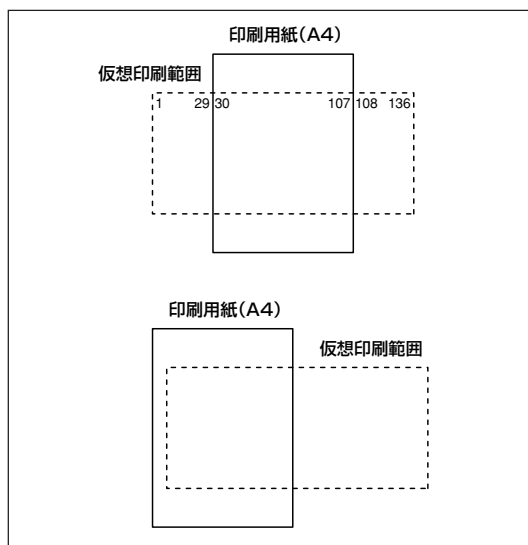
2. エミュレーション

ページプリンターモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。

メモリースイッチ2-2でも選択できます。

3. 136桁モード設定

- 136桁モード
136桁モードの有効・無効を選択します。
- 用紙位置
136桁モードが有効のとき、用紙位置を中央合わせにするか、左合わせにするかを選択します。メモリスイッチ3-6でも選択できます。
 - ー 用紙位置中央合わせでは、A4サイズの下紙を使用した場合、136桁の仮想印刷範囲の30桁目から107桁目までが印刷されます。
 - ー 用紙位置左端合わせでは、136桁の仮想印刷範囲と印刷用紙の左端を合わせます。また、用紙位置調整によって、右の図のように仮想印刷範囲を超えて用紙位置を設定することもできます。
- 微調整
136桁モードが有効のとき、用紙位置微調整の方向と量を1/10インチ単位で選択します。
メモリスイッチ3-1、3-2、3-3、3-4の組み合わせで選択することもできます。



セントロ環境の設定 (セントロメニュー)

セントロポートの受信/送信モードを選択します。

メニュー項目の登録 (セッティンクスメニュー)

設定をまとめて記憶させ、必要なときに呼び出します。同時にメニューモードを終了します。

設定初期化を実行すると、プリンターは初期設定に戻ります。

設定呼び出しを実行すると、セッティンクスで記憶されている内容を呼び出します (初期設定に戻すこともできます)。

設定記憶を実行すると、メニューモード内の各種機能設定とトレイスイッチで設定した用紙サイズをまとめて記憶します。一度記憶された内容は次に設定記憶を実行するまで変化しません。

メモリスイッチの設定 (メモリスイッチメニュー)

メニューモードの中で比較的可変頻度の低いものがこのメニューの中にまとめられています。詳細については次ページからの「メモリスイッチの詳細」をご覧ください。

メモリスイッチの詳細

メモリスイッチで設定できる機能の中には、メニューモードで設定できるもの(※)もあります。このような場合は、どちらか一方で設定を変更すれば、もう一方の設定も連動して自動的に変更されます。

1-1～1-3

各国文字の切り替え※

3つのメモリスイッチの組み合わせにより各国文字を切り替えます。

国別文字セット	1-1	1-2	1-3
日本	0	0	0
アメリカ	0	1	0
イギリス	1	1	0
ドイツ	0	0	1
スウェーデン	1	0	1

- 表中の太文字は工場設定を表します。
- 表以外の組み合わせは、すべてスウェーデン文字となります。国別の文字については「国別相違点」(169ページ)をご覧ください。

1-5

DC1およびDC3の有効／無効の切り替え

DC1およびDC3を有効にするか、無効にするかを切り替えます。

201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2:0)時に有効です。

1-6

自動復帰改行の切り替え

バッファフル印刷を行うとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

同期コード無効(メモリスイッチ5-1:0)時に有効です。

1-7

印刷指令の切り替え

印刷指令をCRのみ有効にするか、CR、LF、VT、FF、US、ESC a、ESC bを有効にするかを切り替えます。

1-8

CR機能の切り替え

印刷指令コードCRを受信したとき、復帰のみか、復帰改行かを切り替えます。

2-1

1バイトコード系の数字ゼロの字体の切り替え※

1バイト(8ビット)コード系の数字ゼロを「0」と印刷するか、「Ø」と印刷するかを切り替えます。

2-2

エミュレーションモードの切り替え※

エミュレーションモードを201PLエミュレーションにするか、ページプリンター(NPDL)にするかを切り替えます。

2-3

グラフィック(ドット列印刷)モードの切り替え

横ドット数をネイティブモードにするか、コピーモードにするかを切り替えます。コピーモードにすると、横ドット数がネイティブモードのときの1/2になります。

201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2:0)時に有効です。

2-6

7ビット／8ビットデータの切り替え

インタフェースのデータが7ビット有効か、8ビット有効かを切り替えます。

201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2:0)時に有効です。

ページプリンター(メモリスイッチ2-2:1)時は8ビット有効に固定されます。

A4ポートレート印刷桁数の切り替え※

用紙がA4サイズ、ポートレート方向で使われるときの一行あたりの文字数をパイカ文字で78桁にするか80桁にするかを設定します。

B5サイズ用の紙の場合は67桁、B4サイズの用紙の場合は95桁となります。

B4→A4縮小の縮小率の切り替え

操作パネルの縮小スイッチまたは制御コード(FS f)を使ってB4→A4縮小モードを指定したときに、縮小率を2/3にするか、4/5にするかを切り替えます。

レフトマージン量の設定※

レフトマージン量を設定します。

ページプリンター(メモリースイッチ2-2:1)時に有効です。

レフトマージン量とは用紙の最左端印刷位置から第1印刷位置までの距離です。

レフトマージン量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては下の表をご覧ください。

用紙位置の微調整(136桁モード)※

印刷位置がずれた場合、用紙位置を調整します。

136桁モード(メモリースイッチ3-7:1)時に有効です。

201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2:0)時に有効です。

用紙位置調整量は4つのメモリースイッチの組み合わせにより16通りに設定できます。組み合わせについては下の表をご覧ください。

レフトマージン量/ 用紙位置微調整量	3-1	3-2	3-3	3-4
0インチ	0	0	0	0
1/10インチ	1	0	0	0
2/10インチ	0	1	0	0
3/10インチ	1	1	0	0
4/10インチ	0	0	1	0
5/10インチ	1	0	1	0
6/10インチ	0	1	1	0
7/10インチ	1	1	1	0
8/10インチ	0	0	0	1
9/10インチ	1	0	0	1
1インチ	0	1	0	1
11/10インチ	1	1	0	1
12/10インチ	0	0	1	1
13/10インチ	1	0	1	1
14/10インチ	0	1	1	1
15/10インチ	1	1	1	1

表中の太文字は工場設定を表します。

用紙位置微調整方向の設定(136桁モード)※

136桁モードで用紙位置調整を右方向にするか、左方向にするかを切り替えます。

136桁モード(メモリースイッチ3-7:1)時に有効です。

201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2:0)時に有効です。

用紙位置の設定(136桁モード)※

136桁モードで用紙位置を中央合わせにするか、左端合わせにするかを切り替えます。

136桁モード(メモリースイッチ3-7:1)時に有効です。

201PLエミュレーション(メモリースイッチ2-2:0)時に有効です。

3-7

136桁モードの有効／無効の切り替え※

136桁モードを有効にするか、無効にするかを切り替えます。
201PLエミュレーション(メモリスイッチ2-2：0)時に有効です。

3-8

ブザー機能の有効／無効の切り替え

ブザーを鳴らすか、鳴らさないかを切り替えます。

4-1

解像度の設定

制御コードによる解像度設定の有効／無効を指定します。

4-3

ESC c1での登録データを初期化する／しないの切り替え

制御コードESC c1での登録データの初期化をするか、しないかを切り替えます。
ESC c1で初期化をしない(メモリスイッチ4-3：1)ときは、ESC c8と同じ機能になります。

4-4

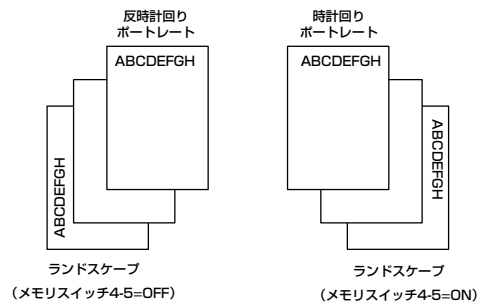
FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え

FFコードのみで白紙を出力するか、しないかを切り替えます。
白紙を出力しない(メモリスイッチ4-4：1)ときは、ESC a、ESC bと同じ機能になります。

4-5

ランドスケープ方向の切り替え

ランドスケープ印刷とポートレート印刷を行ったときのスタッカ上での積み重なり方を切り替えます。



5-1

同期コードの有効／無効の切り替え

同期コードを有効とするか無効とするかを切り替えます。PC-PTOS環境で使用する場合は、このスイッチを1(同期コード有効)にする必要があります。

6-7

節電機能を使用する／しないの切り替え※

節電機能を使用するか、しないかを切り替えます。

7-1

データストローブ信号のデータラッチタイミング

7-1：セントロニクス・インターフェース

7-2

データストローブ信号のデータラッチタイミング

7-2：LANボードインターフェース

7-1または7-2を前縁ラッチに指定した場合は、高速にデータを受信することができます。ただし、接続するコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合には、後縁ラッチに切り替えて使用してください。

7-7

FS fコマンドで指定サイズなしを表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、用紙補給表示をするか、表示しないでコマンドを無効にするかを設定します。

7-8

FS fコマンドで自動縮小を表示する／しないの切り替え

FS fコマンドにおいて指定用紙サイズがないとき、縮小印刷が可能ならば自動縮小をするか、しないかを切り替えます。

8-1, 8-2

ビジー(BUSY)ーアクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)のタイミング

8-1, 8-2: セントロニクス・インターフェース
設定は、8-5、8-6を参照してください。

8-3, 8-4

アクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)の幅の切り換え

8-3, 8-4: セントロニクス・インターフェース
設定は、8-7、8-8を参照してください。

8-5, 8-6

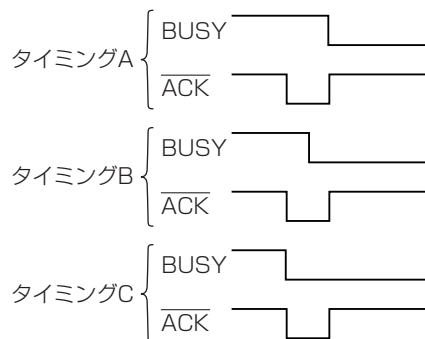
ビジー(BUSY)ーアクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)のタイミング

8-5, 8-6: LANボードインターフェース

2つのメモリスイッチの組み合わせにより、BUSY- $\overline{\text{ACK}}$ のタイミングを切り替えます。

$\overline{\text{ACK}}$ のタイミング	8-1または8-5	8-2または8-6
タイミングA	0	0
タイミングB	1	0
タイミングC	0	1
タイミングA	1	1

表中の太文字は工場出荷時の設定を表します。



8-7, 8-8

アクノリッジ($\overline{\text{ACK}}$)の幅の切り換え

8-7, 8-8: LANボードインターフェース

$\overline{\text{ACK}}$ の幅	8-3または8-7	8-4または8-8
1μs	0	0
2 μ s	0	1
4 μ s	1	0
10 μ s	1	1

表中の太文字は工場出荷時の設定を表します。

チェック

ACKの幅を短く設定すると、高速にデータを受信することができます。ただし、接続されたコンピューターによっては、うまく受信できない場合があります。その場合は、ACKの幅を長くして使用してください。

付録B 技術情報

ここでは、MultiWriter 6050の仕様、印刷範囲、制御コード、文字コードその他の技術情報について説明します。

使用できるプリンターケーブル

下の表をご覧になり、使用するコンピューターが、MultiWriter 6050を正常に動作できる機種かどうかを確認してください。

また、MultiWriter 6050にはプリンターケーブルが添付されていないため、別途お買い求めになる必要があります。ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルは下の表で確認してください。

プリンターケーブル一覧

コンピューター		プリンターケーブル
IBM PC/AT互換機*5 (DOS/V対応機)	PC98-NXシリーズ	PC-PRCA-01 PC-CA205 PR-CAU02
	IBM、富士通、東芝、Sony、その他各社	PC-PRCA-01
PC-9800シリーズ デスクトップタイプ ミニタワータイプ	98MATEシリーズ（除くAp・As・Ae・Af） 98MATEサーバシリーズ 98FELLOWシリーズ（除くBA・BX） 98MULTiシリーズ（除くCe） 98MULTi CanBeシリーズ VALUE STARシリーズ CanBeJam CEREB 98FINE PC-H98シリーズ	PC-CA202*1 PC-CA204*2
	PC-98XA・XL・XL・RL*3	PC-PR801-21 （パソコン本体に標準添付）
	上記以外の14ピンパラレルインタフェースを持つデスクトップタイプ	PC-CA201R*4 PC-CA203
98サーバシリーズ	SV-H98シリーズ*3 SV-98シリーズ	PC-CA202*1 PC-CA204*2
98NOTEシリーズ	Lavieシリーズ Aileシリーズ 98NOTE Light PC-9821Nf・Np・Nx・Nd・Nm・Ne3・Ne2・Nd2 PC-9801NL/A・NS/A	PC-CA202*1 PC-CA204*2
	上記以外の20ピンパラレルインタフェースを持つ98NOTEシリーズ	PC-9801N-19
PC-9800シリーズ ラップトップタイプ	PC-9821Ts	PC-CA202*1 PC-CA204*2
プリンタ増設インタフェースボード（PC-9801-94）		PC-CA202*1 PC-CA204*2

*1 PC-H98-K05と同等。長さ1.5m。

*2 PC-CA202同等。長さ4m。

*3 ハイレゾリューションモードでは、プリンタステータスウィンドウ機能、音声メッセージ機能は利用不可。

*4 PC-CA201と同等。長さ1.5m。

*5 MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS J5.0/V以上が動作するIBM PC/AT 100%互換機。

チェック

- 一部のコンピューターによっては、CPUの性能によりPrintAgentの動作が不安定または動作しないものがあります。
- PrintAgentはプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

仕 様

印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザダイオード+ポリゴンスキャナー 現像方式：乾式電子写真方式	
印刷速度*	約62ページ/分(A4用紙横置き、ホッパ1給紙片面印刷時) * 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。	
ウォームアップの待ち時間	電源投入時：約450秒以内(20℃)	
ファーストプリントタイム	ホッパ1給紙片面印刷時：A4サイズ 約5秒(A4用紙横置き)	
ドット間隔	0.0423mm×0.0423mmまたは0.0635mm×0.0635mm (1/600インチ×1/600インチまたは1/400インチ×1/400インチ)	
CPU	RV4640(150MHz)	
RAM	標準64MByte(1CPUあたり32MByte) 最大256MByte(オプション増設時)	
インターフェース	セントロニクス仕様に準拠(背面に装備) イーサネット(100BASE-TX/10BASE-T：TCP/IPのみ)	
データ形式	NPDL Level 2(201PLエミュレーション含む)	
フォント	アウトラインフォント 2種類(明朝体、ゴシック体)	
対応OS	● Microsoft Windows 98 日本語版、Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版、Microsoft Windows 95 日本語版、Microsoft Windows 2000 日本語版、Microsoft Windows NT 4.0 日本語版、Microsoft Windows NT 3.51 日本語版、Microsoft Windows 3.1 日本語版 ● PC-PTOS Ver.1.0以上 PC-PTOS Ver.1.0～2.3でお使いの場合は「PTOS IV プリンターOS支援パッケージPS」が必要です。 ● 日本語MS-DOS(Ver. 3.3以上)、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver.J5.0/V以上(DOS/V) ● Macintosh 漢字Talk 7.1.X、7.5.X、Mac OS 7.6.X、Mac OS 8.0～8.6、Mac OS 9.0.X(PC-PR-L01使用時) ただし、漢字Talk 7.5.X以降のQuickDraw GXには未対応	
環境	動作温度：10～32.5℃ 動作湿度：20～80%(結露しないこと) 保管温度：0～32.5℃ 保管湿度：10～80%(結露しないこと) 塵埃量：一般事務室程度 ガス成分：一般事務室程度 気圧：1.013×10 ⁵ ～ 0.7524×10 ⁵ Pa(海拔0～2500m)	
騒音	動作時(音圧レベル、A補正)：60dB 待機時(音圧レベル、A補正)：50dB	
電源	電圧：100V±10% 周波数：50/60Hz±1Hz	

消費電力*	動作時最大(プリンター単体時) : 1300W 動作時最大(フルオプション時) : 1340W 動作時平均(プリンター単体時) : 1060W 節電モード時 : 75W以下 * 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。また、同系列の電源に入力条件が厳しい機器を接続する場合は、NECフィールディング(株)にご相談ください。
寸法	幅777mm×奥行き735mm×高さ1070mm(プリンター本体) 幅1995mm×奥行き735mm×高さ1070mm(オプション装着時)
質量	約190kg(消耗品、オプション含まない)
製品寿命	印刷枚数500万枚または使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命	● トナー(本体添付) : 1ボトル約45,000ページ印刷 (ただしA4用紙、画像面積比5%連続印刷時) ● ステープルカートリッジ(フィニッシャ装着時のみ) : ステープル針5,000本
用紙容量	ホッパ1 : 500枚(坪量64.0g/m ² 用紙使用時) ホッパ2 : 500枚(坪量64.0g/m ² 用紙使用時) ホッパ3 : 2,500枚(坪量64.0g/m ² 用紙使用時) 大容量ホッパ(オプション) : 3,000枚(坪量64.0g/m ² 用紙使用時) トレイ : 50枚(再生紙、専用紙は20枚)
スタック容量	排紙トレイ上段 : 100枚(坪量64.0g/m ² 用紙使用時) 排紙トレイ下段 : 250枚(坪量64.0g/m ² 用紙使用時) フィニッシャ上段排出トレイ *1 : 100枚*2(坪量64.0g/m ² 用紙使用時) フィニッシャ下段排出トレイ *1 : 2,000枚*2(坪量64.0g/m ² 用紙使用時) *1 フィニッシャ装着時 *2 フィニッシャの機能によっては、最大スタック容量や使用できる用紙サイズに制限があります。詳しくは以下の表をご覧ください。

紙折り機能を使用しない場合

フィニッシャ機能		用紙サイズ	スタック容量/ステープル数		綴じ枚数
			上段排紙トレイ	下段排紙トレイ	
なし		A4ヨコ/B5ヨコ	100枚	2,000枚	—
		A3タテ/B4タテ/A4タテ/B5タテ	100枚	1,000枚	—
		A5タテ	100枚	—	—
パンチ		A4ヨコ/B5ヨコ	100枚	2,000枚	—
		A4タテ/B5タテ	100枚	1,000枚	—
		A3タテ/B4タテ	100枚	1,000枚	—
ステープル	コーナー1点	A4ヨコ/B5ヨコ	—	1,000枚または100部	2~50枚
		A3タテ/B4タテ/A4タテ/B5タテ			
	サイド2点	A4ヨコ/B5ヨコ	—	2,000枚または200部 1,000枚または200部	2~50枚
		A3タテ/B4タテ/A4タテ/B5タテ			
	センタ2点	A3タテ/B4タテ/A4タテ	—	1,000枚または100部	2~15枚
パンチとステープル	コーナー1点	A4ヨコ/B5ヨコ	—	1,000枚または100部	2~50枚
		A3タテ/B4タテ/A4タテ/B5タテ			
	サイド2点	A4ヨコ/B5ヨコ	—	2,000枚または200部 1,000枚または200部	2~50枚
		A3タテ/B4タテ/A4タテ/B5タテ			
	センタ2点	A3タテ/B4タテ/A4タテ	—	1,000枚または100部	2~15枚

紙折り機能を使用する場合

フィニッシャ機能		用紙サイズ	スタック容量/ステーブル数		綴じ枚数
			上段排紙トレイ	下段排紙トレイ	
Z折り	なし	A3タテ/B4タテ	10枚	50枚	—
	パンチ	A3タテ/B4タテ	10枚	50枚	—
	ステーブル	A3タテ/B4タテ	—	100枚	2～10枚
	パンチとステーブル	A3タテ/B4タテ	—	100枚	2～10枚
袋折り	なし	A3タテ/B4タテ	10枚	50枚	—
	パンチ	A3タテ/B4タテ	10枚	50枚	—
	ステーブル	A3タテ/B4タテ	—	100枚	2～10枚
	パンチとステーブル	A3タテ/B4タテ	—	100枚	2～10枚
折り目	ステーブル（センタ2点）	A3タテ/B4タテ/A4タテ	—	1,000枚または100部	2～15枚

片面印刷時の用紙の規格

- 普通紙(乾式PPC用紙)

寸法 定形サイズ A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、
B4判(257×364mm)、B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×280mm)
定形外サイズ* 幅100～297mm
長さ148～420mm
* ただし画面印刷不可

坪量 ホッパ給紙：64～81.4g/m²
 トレイ給紙：64～105g/m²

連量 ホッパ給紙：55～70kg
 トレイ給紙：55～90kg
 (連量とは、用紙788×1091mmのサイズ of 用紙1000枚あたりの重さを示します。)

表面電気抵抗 $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

- はがき

官製はがきと同等の寸法、連量のものを使用してください。

寸法 官製はがき(148×100mm)

坪量 157g/m²相当

連量 135kg相当

- OHPフィルム

寸法 A4判(210×297mm)

厚さ $0.1\text{mm} \pm 0.025\text{mm}$ ($100\text{mm} \pm 25\text{mm}$)

乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。

- ラベル紙

寸法 A4判(210×297mm)、B4判(257×364mm)

乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。

両面印刷時の用紙の規格

普通紙(乾式PPC用紙)

寸法** A3判(297×420mm)、A4判(210×297mm)、A5判(148×210mm)、B4判(257×364mm)、
B5判(182×257mm)、レターサイズ(約216×280mm)

* * 定形外サイズは不可

坪量 ホツパ給紙：64～81.4g/m²
 トレイ給紙：64～81.4g/m²

連量 ホッパ給紙：55～70kg
 トレイ給紙：55～70kg

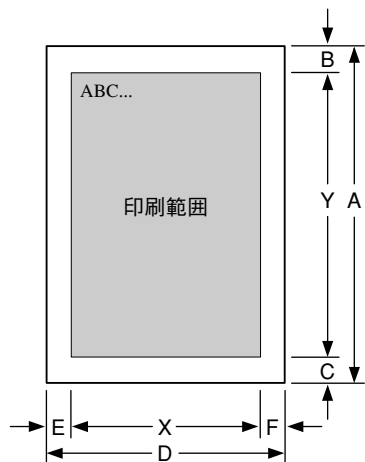
表面電気抵抗 $1 \times 10^9 \sim 1 \times 10^{12} \Omega$

印刷範囲

定形用紙

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲とは使用環境、プリンター設定により多少異なる場合があります。

- ポートレート

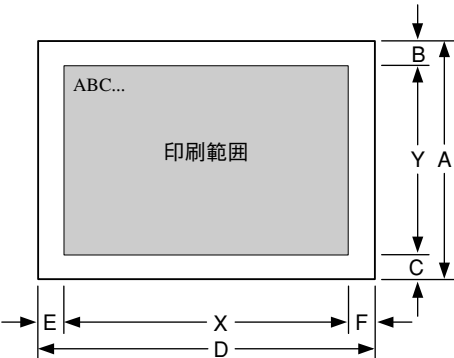


記号	意 味			単位	寸法								
					A3	A4	A5	B4	B5	レター	はがき	往復はがき	封筒
A	用紙の長さ			mm	420	297	210	364	257	280	148	148	235
B	用紙の上端から印刷範囲までの距離（上端印刷不可領域）			mm	5	5	5	5	5	5	5	5	5
C	用紙の下端から印刷範囲までの距離（下端印刷不可領域）			mm	6	5	4	6	6	6	3	5	5
D	用紙の幅			mm	297	210	148	257	182	216	100	200	105
E	用紙の左端から印刷範囲までの距離（左端印刷不可領域）			mm	5	8	8	8	8	8	8	5	5
F	用紙の右端から印刷範囲までの距離（右端印刷不可領域）			mm	5	4	4	8	4	5	6	5	5
X	横方向の印刷範囲			ドット	2712	1872	1284	2280	1608	1920	816	1796	898
	印刷可能文字数	パイカ		文字	113	78	53	95	67	80	34	70	37
		エリート			135	93	64	114	80	96	40	84	44
		コンデンス			193	133	91	162	114	137	58	120	64
		7ポイント*1			113	78	53	95	67	80	34	70	37
		10.5ポイント*2			75	52	35	63	44	53	22	46	24
		12ポイント			67	46	32	57	40	48	20	42	22
Y	縦方向の印刷範囲			ドット	3864	2712	1896	3336	2328	2544	1320	1303	2126
	印刷可能行数	6LPI		行	96	67	47	83	58	63	33	32	53
		8LPI			128	90	63	111	77	84	44	43	70

*1 7ポイントは正確には7.2ポイントです。

*2 10.5ポイントは正確には10.8ポイントです。

● ランドスケープ

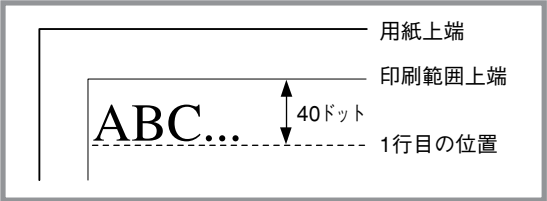


記号	意味		単位	寸法								
				A3	A4	A5	B4	B5	レター	はがき	往復 はがき	封筒
A	用紙の長さ		mm	297	210	148	257	182	216	100	200	105
B	用紙の上端から印刷範囲までの 距離（上端印刷不可領域）		mm	5	4	4	8	4	5	6	5	5
C	用紙の下端から印刷範囲までの 距離（下端印刷不可領域）		mm	5	8	8	8	8	8	8	5	5
D	用紙の幅		mm	420	297	210	364	257	280	148	148	235
E	用紙の左端から印刷範囲までの 距離（左端印刷不可領域）		mm	5	5	5	5	5	5	5	5	5
F	用紙の右端から印刷範囲までの 距離（右端印刷不可領域）		mm	6	5	4	14	6	6	6	5	5
X	横方向の印刷範囲		ドット	3864	2712	1896	3264	2328	2544	1296	1303	2126
	印刷可能 文字数	パイカ	文字	161	113	79	136	97	106	54	54	88
		エリート		193	135	94	163	116	127	64	65	106
		コンデンス		276	193	135	233	166	181	92	93	151
		7ポイント*1		161	113	79	136	97	106	54	54	88
		10.5ポイント*2		107	75	52	90	64	70	36	36	59
		12ポイント		96	67	47	81	58	63	32	32	53
Y	縦方向の印刷範囲		ドット	2712	1872	1284	2280	1608	1920	816	1796	898
	印刷可能 行数	6LPI	行	67	46	32	57	40	48	20	44	22
		8LPI		90	62	42	76	53	64	27	59	29

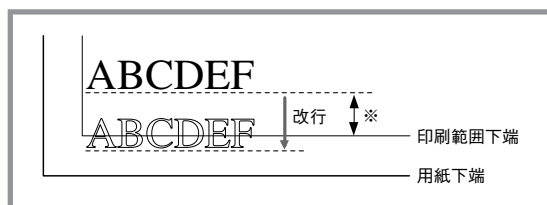
*1 7ポイントは正確には7.2ポイントです。
*2 10.5ポイントは正確には10.8ポイントです。

補足説明

- 余白量(印刷不可領域)は、使用する用紙の寸法差、プリンター個々の用紙走行の精度などの条件により前後する場合があります。
- 印刷範囲(印刷可能ドット数)は、すべて240dpiで規定されています。600dpiでの印刷可能ドット数は240dpiのドット数を5/2倍にした値になります。
- 行桁モードでは、1行目の位置は240dpi相当で印刷範囲の上から40ドット目(約4.2mm)となります。したがって、40ドットより小さい文字を印刷した場合、上端の余白は上記値よりもおおきくなります。
 - 1行目の第一印刷位置に文字を印刷したときは、全点アドレス印刷モードで座標値として(0, 39)(240dpi)を指定したのと同じ位置に印刷されます。
 - 文字が小さい場合などでは見かけ上の余白が大きくなります。



- 行桁モードでは、ページの下端付近での改行の結果、次の印刷位置が上記印刷範囲をはみ出してしまう場合には改ページされます。このため改行ピッチの設定によっては印刷範囲下端付近には印刷できない場合があります、その場合の下端余白は上記値よりも大きくなります。



最終行が下にはみ出してしまうので、実際には改ページ後に印刷されます。その結果、※の部分には印刷できなくなるので見かけ上の余白が大きくなります。

- 印刷可能桁数、行数は、上記印刷範囲のドット数を文字ピッチあるいは行ピッチで割ることによって算出したものです。計算に用いる値は右のとおりです。

種 別			ドット数
文字数	1バイト系	パイカ	24ドット
		エリート	20ドット
		コンデンス	14ドット
	2バイト系	7ポ(1/10インチ)	24ドット
		10.5ポ(3/20インチ)	36ドット
		12ポ(1/6インチ)	40ドット
行数	6LPI(1/6インチ)		40ドット
	8LPI(1/8インチ)		30ドット

- ー 値はすべて240dpiでのドット数です。文字数、行数とも、計算はすべて240dpiで行います。
- ー 2バイト系文字については、カッコ内に示した文字ピッチを使用している場合のドット数を示しています。文字ピッチを変えることにより、印刷可能桁数も変わります。
- ー 1バイト系、2バイト系文字とも、文字間にスペースを挿入することが可能ですが、この場合も印刷可能桁数は減少します。

- 添付ドライバーを使用した場合、ドライバーの機能により余白量をすべて約5mmにできます。

定形外用紙

定形外用紙とは、本プリンターでサポートしている定形用紙(A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき、往復はがき、封筒)以外の大きさの用紙のことです。MultiWriter 6050では最大A3サイズから最小はがきサイズまでの用紙に対応しています。この場合の印刷範囲と印刷位置は、使用する用紙の大きさ、プリンター設定に応じてアプリケーションから正しく制御する必要があります。

プリンターの設定について

定形外用紙に印刷する場合、トレイから給紙させます。プリンターは定形用紙を想定し、印刷位置、印刷範囲の制御を行います。操作パネルの[トレイ]スイッチによって印刷させる定形外用紙の用紙サイズに近似した用紙サイズを設定する必要があります。(プリンタドライバの用紙サイズをユーザー定義サイズに設定してください。詳しくはユーザーズマニュアル[2/2]をご覧ください。)

印刷範囲が定形外用紙内に収まっていないで印刷を行うと、装置内を汚すなど思わぬ障害の原因となる場合があります。印刷前に十分確認してください。



定形外用紙はホッパからは給紙できません。

余白について

印刷結果が実際に使用する用紙をはみ出すことのないように注意してください。はみ出した印刷を続けると、思わぬトラブルの原因となります。

また、印刷品質を保つため、実際に使用する用紙に対して上下左右とも5mm以上の余白ができるように、印刷位置と印刷範囲を設定してください。

印刷位置について

次に様々なケースでの印刷位置、印刷範囲の考え方を説明します。これらの説明は主に行柵モードによる制御を前提にしていますが、それ以外の方法でも同様の考え方による制御を行ってください。

- ポートレートの柵方向(プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左右の端の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

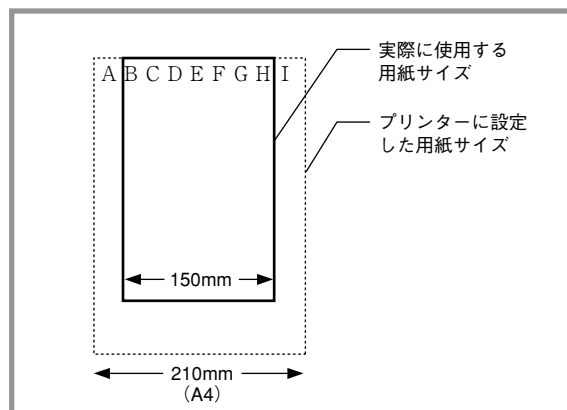
このような場合には、各行の先頭に適当な量のスペースを取ることで、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。

必要なスペース量は次のように算出してください。

$$\text{必要なスペース} = \frac{A - B}{2}$$

A: プリンターに設定されている用紙の幅

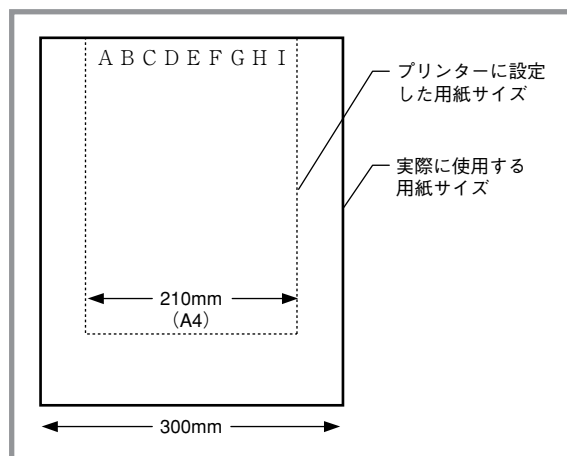
B: 実際に使用する用紙の幅



- ポートレートの柵方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左右には印刷できない部分が発生します。

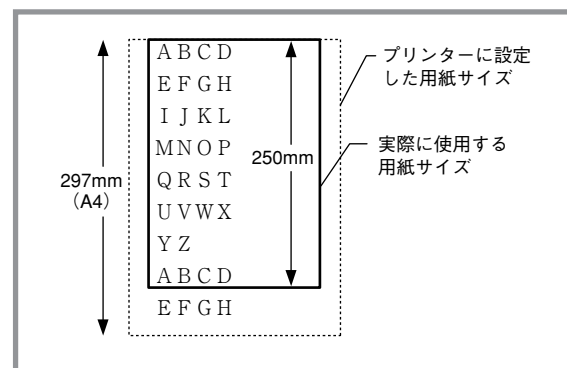
このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左右の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



- ポートレートの行方向(プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙の長さを超えるような改行命令については自動的に改ページをしますが、使用する用紙が短いために下端付近のデータは用紙をはみ出してしまいます。

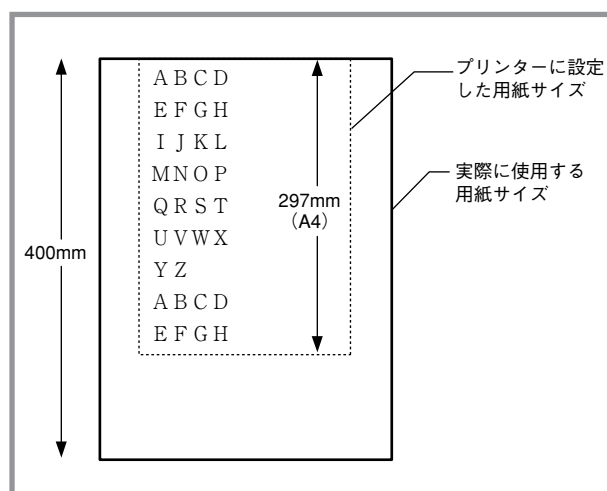
このような場合には、1ページあたりに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。



- ポートレートの行方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙を超えるようなデータは印刷しません。その結果、用紙の下端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の下端部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



- ランドスケープの桁方向(プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが250mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、左端(行の先頭)の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

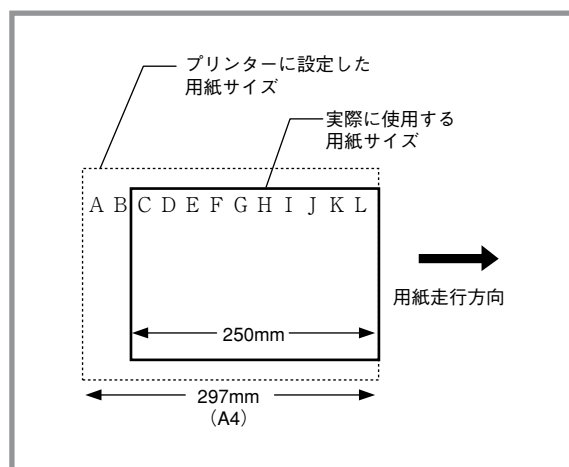
この場合には、各行の先頭に適当な量のスペースをとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。

必要なスペース量は次のように算出してください。

必要なスペース=A-B

A: プリンターに設定されている用紙の幅

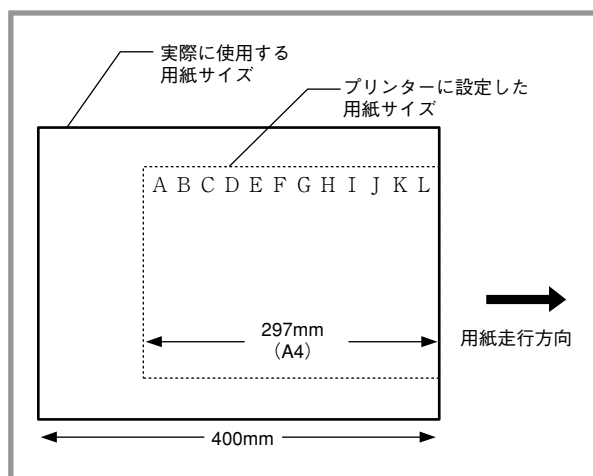
B: 実際に使用する用紙の幅



- ランドスケープの桁方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、長さが400mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の左端には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙の左端の部分にも印刷したい場合は、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに変更してください。



- ランドスケープの行方向(プリンターに設定した用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が150mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、ページの上下の部分の印刷が用紙からはみ出してしまいます。

この場合には各ページの先頭に適当な量の余白(改行)をとることにより、用紙上の正しい位置に印刷するようにしてください。

必要な余白の量は次のように算出してください。

$$\text{必要なスペース} = \frac{C - D}{2}$$

C: プリンターに設定されている用紙の幅

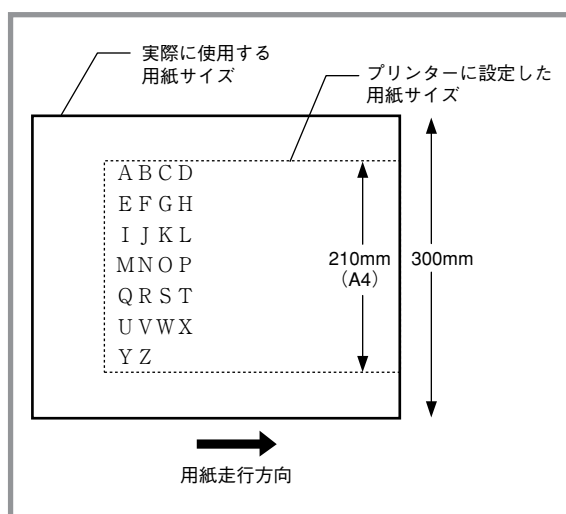
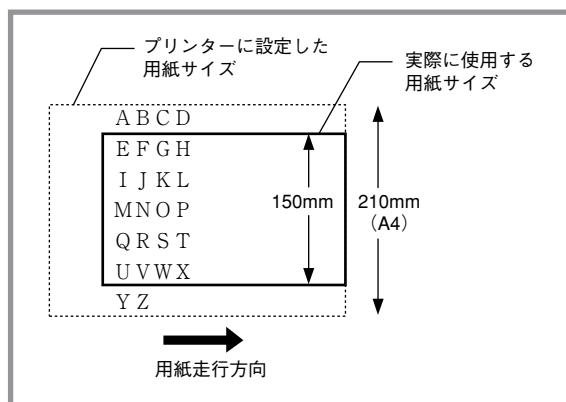
D: 実際に使用する用紙の幅

また、1ページ당りに印刷可能な行数を制限し、はみ出すことのないようにしてください。

- ランドスケープの行方向(実際に使用する用紙サイズの方が大きいとき)

例えば、プリンターの設定をA4にしているときに、幅が300mmの用紙に印刷する場合、プリンターはA4の用紙に対して正しく印刷されるように、印刷位置や範囲を制御します。その結果、用紙の上下には印刷できない部分が発生します。

このような使用方法には問題はありません。ただし、用紙上下の部分にも印刷したい場合には、プリンターに設定する用紙サイズをB4など、もっと大きいものに变更してください。



80桁モード

本プリンターの印刷可能桁数は78桁(A4用紙、パイカモード時)です。したがって80桁のシリアルプリンターでバッファフル印刷を利用して改行を行うソフトウェアを本プリンターで使用した場合、印刷位置が異なることになります。このため、本プリンターではバッファフルまでの印刷桁数を印刷範囲に広げることで、80桁にすることができます(A4ポートレイトの場合のみ可能です)。設定は「A4ポートレイトケタスウ」メニューまたはリモートパネルで行います。(本書117ページまたは、ユーザズマニュアル[2/2]参照)

NPDLの初期状態

内部設定

次の条件で、プリンターの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

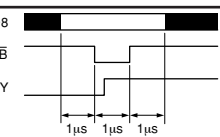
- 電源をONにしたとき
- 操作パネル上でリセットを実行したとき
→ 未印刷データをすべて消します。
- ソフトウェアリセット(ESC c1)を実行したとき
→ 印刷フォーマット、ホッパ指定は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- INPUT・PRIME信号を受信したとき
→ VFU印刷フォーマット、ホッパ指定、およびセレクト／ディセレクトは初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- パラメータリセット(ESC c8)を実行したとき
→ VFU、印刷フォーマット、ホッパ指定、セレクト／ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類				
		電源ON	操作パネル リセット	ESC c1	INPUT・PRIME	ESC c8
現在位置		第1行第1桁				
レフトマージン幅		メニュー設定に従う（工場設定000）				
ライトマージン幅		A3：113 A4：078（80桁モード時 080） A5：053 B4：095 B5：067 レター：080 はがき：034				
水平タブセット		クリア				
VFU	FF長	A3：96行 A4：67行 A5：47行 B4：83行 B5：58行 レター：63行 はがき：33行			変化せず	
	ボトム領域	なし			変化せず	
	VTセット (CH2)	A3：第7、13、19、25、31、37、43、49、55、 61、67、73、79、85、91行目 A4：第7、13、19、25、31、37、43、49、55、 61、67行目 A5：第7、13、19、25、31、37、43行目 B4：第7、13、19、25、31、37、43、49、55、 61、67、73、79行目 B5：第7、13、19、25、31、37、43、49、55行目 レター：第7、13、19、25、31、37、43、49、55、 61行目 はがき：第7、13、19、25、31行目			変化せず	
	VTセット (CH3～CH6)	クリア			変化せず	
	改行方向	順方向改行				
改行幅		1/6インチ				
セレクト／ディセレクト状態		セレクト状態			変化せず	
受信バッファ		クリア		クリアせず		
ページバッファ		クリア		クリアせず		
未印刷データ		－	クリア	印刷実行		
動作モード		メニュー設定に従う（エミュレーション／ページプリンタ）				
印刷方式		バイカモード				
コード表のシフト状態		カタカナ状態（8ビットコード）				
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う（標準／イタリック／クーリエ／ゴシック）				
漢字書体		メニュー設定に従う（内蔵明朝／内蔵ゴシック）				
漢字	文字サイズ	10.5ポイント				
	文字幅	3/20インチ				
半角	縦書き	解除				
	組文字	解除				
スクリプト文字		解除				
倍率指定		縦横とも解除				
修飾印刷		解除				

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類			
		電源ON	操作パネルリセット	ESC c1	INPUT・PRIME
アンダライン	指定	解除			
	線種	実線、一重線			
	線幅	2ドット			
網かけ	指定	解除			
	登録	クリア（未登録状態）			クリアせず
白黒反転		解除			
固定ドットスペース		左右とも0ドット			
縦方向文字位置オフセット		0ドット			
1バイト文字登録	パターン	ROMパターン			
	登録	クリア（未登録状態）			クリアせず
2バイト文字登録		クリア（未登録状態）			クリアせず
ドット切り替え		メニュー設定に従う（ネイティブモード／コピーモード）			
印刷フォーマット	印刷方向	ポートレート		変化せず	
	縮小モード	解除		変化せず	
コピー枚数	コード (FSx)	1 枚		メニュー設定に従う	
	操作パネル	1 枚		変化せず	
座標指定単位		1/240インチ			
描画座標		(X, Y) = (0, 0)			
全点アドレス印刷モード		解除			
フォーム	登録	クリア			クリアせず
	参照	解除			変化せず
図形印刷モード		解除			
グラフ描画モード		絶対描画モード			
プリンタ単位		1/240インチ			
線分	線種	実線			
	線幅	1ドット幅			
	線長	P ₁ P ₂ の対角線距離の4%			
	線端タイプ	断ち切り型			
	接続タイプ	マイタ接続			
	選択パターン	黒べた			
	登録パターン	クリア			クリアせず
ペン	座標	(X, Y) = (0, 0)			
	上下位置	アップ状態			
塗り潰しモード		解除			
塗り潰し	選択パターン	パターン番号0			
	登録パターン	クリア（未登録状態）			クリアせず
スケーリング ポイント		(X, Y) = (0, 0)			
		各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置			
スケーリング		解除			
ウィンドウ領域		各用紙サイズでの最大			
座標系反転		解除			
座標系回転		0度			
論理描画		OR			
パス構築モード		解除			
パスデータ		廃棄			
ホッパ指定		メニュー設定に従う (ホッパ1/ホッパ2/ホッパ3)		変化せず	
ホッパ/トレイ給紙		ホッパ給紙		変化せず	
セントロ切り替え		準備（前後Ready）		以前の状態を継続	
両面印刷		メニュー設定に従う (片面印刷/両面印刷)		変化せず	

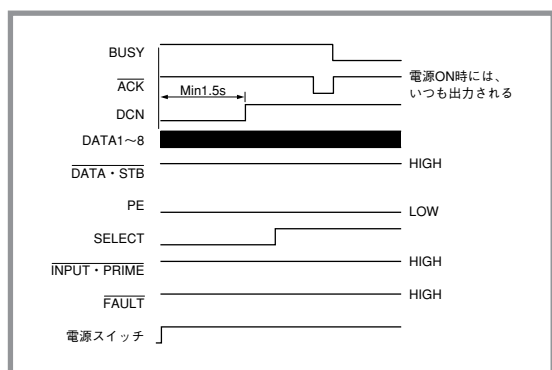
インターフェース

インターフェース信号の機能

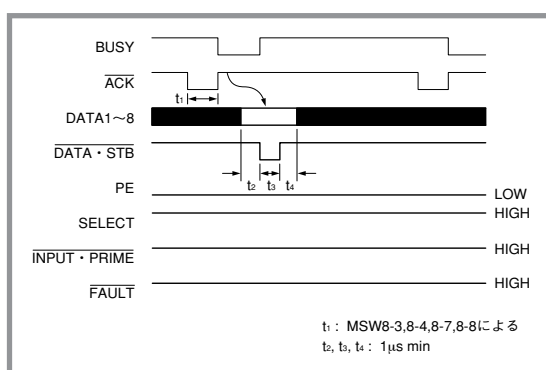
ピン番号	信号名	略 称	プリンター ← コンピュータ	機 能
1	データストロブ	DATA・STB	←	DATA 1～8を読み込むための同期信号である。DATA 1～8 定常状態はHIGHであり、HIGHからLOWになったときBUSYがHIGHになり、次にLOWからHIGHになるまでにDATA 1～8を読み込む。パルス幅は最小1msとする。 
2 3 4 5 6 7 8 9	データ1 データ2 データ3 データ4 データ5 データ6 データ7 データ8	DATA 1 DATA 2 DATA 3 DATA 4 DATA 5 DATA 6 DATA 7 DATA 8	←	各信号は、データの1ビット目から8ビット目の情報を受信する入力信号である。論理1はHIGHである。DATA 1が最下位桁（LSB）、DATA 8が最上位桁（MSB）である。上図に示すDATA・STBの前後1msの範囲でDATA 1～8は確定していること。
10	アクノリッジ	ACK	→	受信したデータをプリンター内へ取り込み完了したことを示す信号で、DATA・STB受信に対する応答である。ただし、電源ON時、インプットプライム処理終了時、および操作パネルによるリセットの処理終了時には無条件に一度出力する。定常状態はHIGHであり、約1msLOWとなるパルスを出力する。
11	ビジー	BUSY	→	プリンターがデータ受信不可能（BUSY中）状態であることを知らせる信号である。LOWの場合、データ入力が可能である。次の条件を満たすものが1つでもあればHIGHになる。それ以外ではLOWである。 ● SELECT信号がLOWのとき。 ● FAULT信号がLOWのとき。 ● INPUT・PRIME信号がLOWになったときから所定時間経過し、かつINPUT・PRIME信号がHIGHになるまでの間。 ● データを受信してから、プリンター内へ取り込み完了するまでの間。 ● 操作パネルによるリセットを行ってから、内部初期化処理が終了するまでの間。 [補足] 本プリンターは印刷処理用の1ページ分バッファのほかに、受信用のバッファを持ち、データを受信するとまず受信バッファに書き込まれる。このため、データの処理が完了しないうちに次のデータを受信することができ、プリンターの動作状態とBUSY信号の状態は同期しない。また、受信用バッファが満杯になったときはBUSY信号はHIGHを保持し、印刷動作実行などにより余裕が生じたらLOWとなって次の受信を行う。
12	ペーパーエンド	PE	→	用紙がなくなったときHIGHになる。 ● 設定されたサイズの用紙がホッパに存在せず、縮小もできない場合 ● 用紙がない場合
13	セレクト	SELECT	→	プリンターがセレクト中（HIGH）かディセレクト中（LOW）かを示す。セレクト中はデータの受信が可能である。 [セレクトになる条件] ● 電源ONしたとき ● ディセレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリスイッチ1-5がOFFで、ディセレクト状態でDC1コードを受信したとき。 [ディセレクトになる条件] ● セレクト状態で印刷可スイッチが押されたとき。 ● メモリスイッチ1-5がOFFで、DC3コードを受信したとき。 ● PE=1のとき。 ● FAULT=0のとき。
14～15	—	—	—	将来の拡張用
16	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
17	フレームグランド	FG	—	フレームグランド
18	デバイスコネクト	DCN	→	プリンターの電源がONになっていることを表す。
19～30	TWISTED PAIR GND	—	—	（信号グランドに接続されている。）
31	インプットプライム	INPUT・PRIME	←	この信号がLOWになるとプリンターは初期状態になる。パルス幅は15ms以上必要。SELECT信号がHIGH、LOWどちらであってもINPUT・PRIMEは有効。INPUT・PRIME信号による初期状態は電源ON時とほぼ同じ状態となる。
32	フォルト	FAULT	→	次のいずれかの条件が発生したときLOWになる。 ● SELECT=0のとき。 ● プリンターがエラーのとき。
33	シグナルグランド	SG	—	信号用グランド
34～36	—	—	—	将来の拡張用

タイムチャート

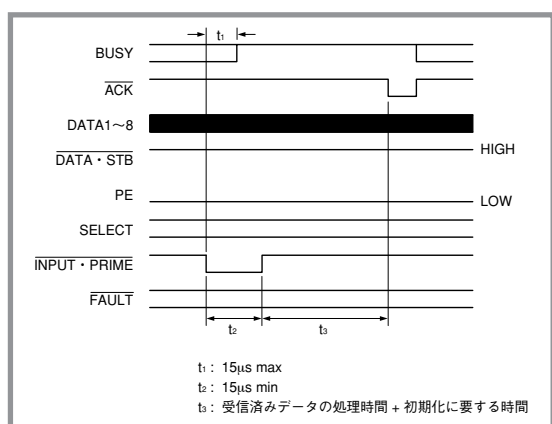
電源ON時



データ受信時

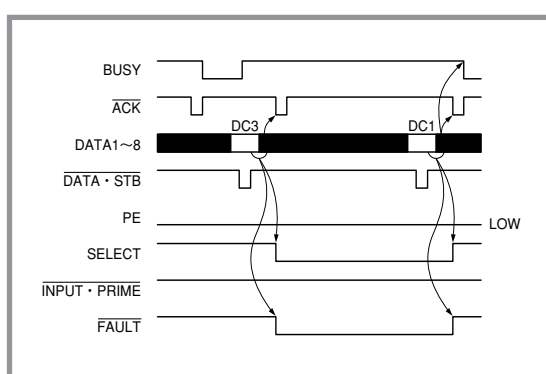


INPUT·PRIME受信時



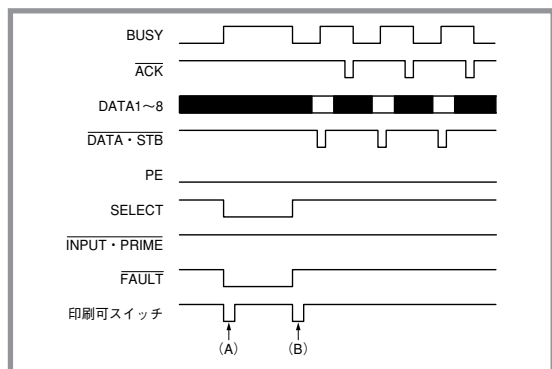
* 選択されていないインタフェースにINPUT·PRIME信号を入れた場合、INPUT·PRIME信号は無効となり、上記信号は反応しない。

DC1、DC3によるセレクト、ディセレクトの切り替え



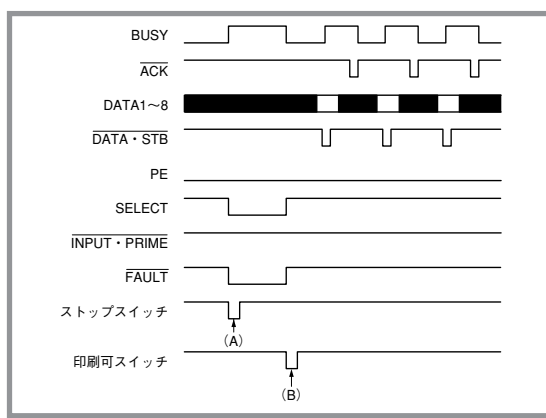
* DC1、DC3の処理は受信バッファから読み出された後に実行される。

操作パネルによるセレクト、ディセレクトの切り替え



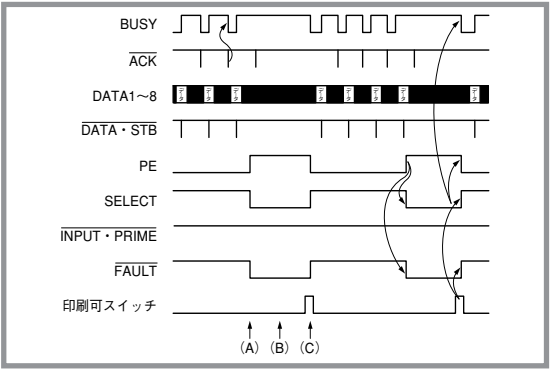
- (A) セレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。
(B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとセレクト状態になる。

ストップスイッチによる一時停止



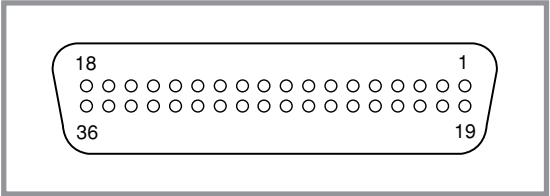
- (A) セレクト状態で[ストップ]スイッチを押すとただちにディセレクト状態になる。
(B) ディセレクト状態で[印刷可]スイッチを押すとセレクト状態になる。

用紙なし発生時



- (A) 印刷データ受信後、用紙なしを検出するとただちにディセレクト状態になる。
- (B) 用紙をセットしても状態は変化しない。
- (C) [印刷可]スイッチを押すことによりセレクト状態となり、前の続きの処理を再開する。

コネクタピン配置



ピンの信号については137ページの説明をご覧ください。
16ピン、19～30ピン、33ピンのピンの端子はプリンター内部で相互に接続されています。

電気的特性

入力回路

信号名	回路形式
DATA 1～8 (背面の インタフェース)	
DATA 1～8 (前面の インタフェース)	
DATA-STB INPUT-PRIME	

出力回路

信号名	回路形式
ACK FAULT BUSY PE SELECT DCN	

制御コード一覧

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。

E: 201PLエミュレーションモード

P: ページプリンター (NPD L) モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか(○)使用できないか(×)を示します。

制御コードの詳細については、別売の「日本語ページプリンタ言語NPDL (Level 2) リファレンスマニュアル」をご覧ください。

テキストモード

[illegible]

141

コード区分	機 能	制御コード	E	P
面制御コード	座標指定単位の設定	FS <	×	○
	描画座標の指定	FS e	×	○ ^{*1}
	座標のコピー	FS e	×	×
	罫線の描画	FS l	×	○
	領域指定の網かけ	FS s	×	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
	領域指定のイメージ印刷	FS i	×	○
	全点アドレス印刷モードの設定	FS a	×	○
	全点アドレス印刷モードの解除	FS R	×	○
	フォーム登録の開始/参照	FS u	○	○
	フォーム登録モードの解除	FS U	○	○
その他	セレクト状態の設定	DC1	○	×
	ディセレクト状態の設定	DC3	○	×
	201PLエミュレーションモードの設定	FS d 160.	○	○
	ページプリンターモードの設定	FS d 240.	○	○
	ソフトウェアリセット	ESC c1	○	○
	パラメタリセット	ESC c8	○	○
	図形モードの設定	FS Y	×	○
	図形モードの解除	FS Z	×	○
	描画論理の指定	FS "	×	○
	クリッピング領域の設定	FS #	×	○

*1 本プリンターでは、前ページで設定した座標は後続のページに引き継がれません。ページ毎に本コードで座標位置を設定する必要があります。

*2 本プリンターではサポートしていませんので、使用した場合には期待する印刷結果は得られません。

図形モード

図形モードに関する制御コードはすべてページプリンターモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機 能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定	IP	×	○
	座標系の設定	SC	×	○
	ウィンドウ領域の指定	IW	×	○
	回転角の設定	RO	×	○
	座標系の反転	RC	×	○
	プリンター単位の設定	SU	×	○
線に関する設定	線種の設定	LT	×	○
	線幅の設定	LW	×	○
	線端タイプの設定	LC	×	○
	線接続タイプの設定	LJ	×	○
	線タイプの登録	RL	×	○
	線パターンの選択	LP	×	○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定	XX1	×	○
	塗りつぶしモードの解除	XX0	×	○
	塗りつぶしパターンの選択	PP	×	○
	塗りつぶしパターンの登録	RP	×	○
	グレイレベルパターンの設定	SG	×	○
	描画論理の設定	PM	×	○
図形の描画 *3	ペンを上げる	PU	×	○
	ペンを下げる	PD	×	○

*3 本プリンターでは、前ページで移動した座標位置が後続のページに引き継がれません。各ページで開始絶対座標を設定するようにしてください。

コード区分	機 能	制御コード	E	P
図形の描画(続き)	直線の描画(絶対描画モード)	PA	×	○
	直線の描画(相対描画モード)	PR	×	○
	ペンの移動(絶対描画モード)	MA	×	○
	ペンの移動(相対描画モード)	MR	×	○
	自由曲線の移動(絶対描画モード)	BA	×	○
	自由曲線の移動(相対描画モード)	BR	×	○
	扇形の描画(絶対描画モード)	FA	×	○
	扇形の描画(相対描画モード)	FR	×	○
	円の描画	CI	×	○
	円弧の描画(絶対描画モード)	AA	×	○
	円弧の描画(相対描画モード)	AR	×	○
	円弧の描画(絶対座標)	AX	×	○
	円弧の描画(相対座標)	AY	×	○
	円弧の描画	AT	×	○
	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED	×	○
	楕円弧の描画(逆方向)	EN	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし(絶対位置指定)	RA	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし(相対位置指定)	RR	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし(絶対位置指定)	EA	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし(相対位置指定)	ER	×	○
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○
	パス構築モードの開始	NP	×	○
	パスの閉鎖	CP	×	○
	パス構築モードの終了	EP	×	○
	ストロークの描画	ST	×	○
	フィルの描画(非零則)	FL	×	○
	フィルの描画(偶奇則)	EF	×	○
その他	イニシャライズ	IN	×	○
	初期設定	DF	×	○
	図形モード設定	FS Y	×	○
	図形モード解除	FS Z	×	○

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL (Level 2) リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

コード区分	機 能	制御コード	E	P
● 漢字コード表設定	漢字コード表の設定	FS 05 F2	○	○
● 文字スタイル制御コード	1バイト文字サイズの設定	FS 07 S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS 07 S2	×	○
	1バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S1	×	○
	2バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S2	×	○
	文字明度の指定	FS \$	×	○
	漢字文字幅2/15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定	FS D	○	×
● ページ制御コード	印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定	FS f c ₁ c ₂ c ₃ c ₄ c ₅	○	○
	縮小印刷での設定	FS 05f	○	×
	両面印刷設定	FS '	○	○
● 面制御コード	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
● 図形の描画	自由曲線の描画(絶対座標モード)	BA	×	○
	自由曲線の描画(相対座標モード)	BR	×	○
	楕円、楕円弧の描画	EL, ED, EN	×	○
● 行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
● 塗りつぶしに関する設定	グレイレベルパターンの設定	SG	×	○
● バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS p ₁ p ₂ p ₃ p ₄ p ₅ p ₆ p ₇ d ₁ d ₂ d ₃ d ₄ ...	○	○
● 文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS 06 F1 -004	×	○
● カスタマバーコード印刷	カスタマバーコードの印刷	FS 06 F2 -n ₁ n ₂ n ₃	×	○
● 隋円弧描画	隋円弧の描画	AV	×	○
● 弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
● 扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
● 角丸矩形	角丸矩形の描画	RB	×	○

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンターは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピューターから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定

FS 05 F

形 式

FS05F2-C₁C₂

- c₁ c₂で漢字コード表を設定します。

c ₁ c ₂	漢字コード表
00	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
01	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
02	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- 本プリンターで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピューターが対応していないコード表を選択した場合には、コンピューターのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h46);
      CHR$(&h32);CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h31);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"05F2-01";
```

文字スタイル制御コード

1バイト文字サイズの設定

FS 07 S1

1バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 0 7 S 1 - C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字サイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₁ C₂ C₃ C₄の有効範囲は0001～9999です。

記述例

文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
      CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"07S1-0200";
```

2バイト文字サイズの設定

FS 07 S2

2バイト文字のサイズを0.1ポイント単位で設定します。

形式

FS 0 7 S 2 - C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₁ C₂ C₃ C₄の有効範囲は0001～9999です。

記述例

文字サイズを20ポイントに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
      CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定

FS 12 S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形 式

(FS) (1) (2) (S) (1) (—) (C₁) (C₂) (C₃) (C₄) (—) (C₅) (C₆) (C₇) (C₈)

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₅ C₆ C₇ C₈で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h31);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定

FS 12 S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.1ポイント単位で設定します。

形 式

(FS) (1) (2) (S) (2) (—) (C₁) (C₂) (C₃) (C₄) (—) (C₅) (C₆) (C₇) (C₈)

- C₁ C₂ C₃ C₄で文字Xサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- C₅ C₆ C₇ C₈で文字Yサイズを設定します。単位は1/10ポイントです。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例

縦20ポイント、横50ポイントを設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h32);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);  
CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"12S2-0500-0200";
```

テキストモードでの文字明度を指定します。

形 式

(FS) (\$) (P1) (.)

- P1でテキストモードでの文字明度を指定します。
- P1の範囲は0～100が有効です。
- P1は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。(P1=0で黒、P1=100で白)
- P1省略時およびP1が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

— ✓ チェック —

FS \$は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0～100のパラメータを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンターでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

記述例

テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

LPRINT CHR\$(&h1C);CHR\$(&h24);"50.";

または

LPRINT CHR\$(28);"\$50.";

漢字文字幅2／15インチ、文字サイズ9.5ポイント設定

FS D

全角漢字の文字幅を2／15インチ、文字サイズを9.5ポイントに設定します。

形 式

(FS) (D)

記述例

LPRINT CHR\$(&h1C); CHR\$(&h44);

または

LPRINT CHR\$(28); "D";

印刷方向の設定および縮小／拡大モード設定

FS f

プリンターの印刷方向および縮小／拡大モードの設定を行います。

形 式

FS f C₁ C₂ C₃ C₄ C₅ .

- C₁は印刷方向を設定します。

C ₁	印刷方向
P	ポートレート
L	ランドスケープ

- C₂～C₅は縮小／拡大モードを設定します。本コマンドは従来縮小機能のみでしたが、本プリンターでは拡大機能が追加されました。パラメータの設定方法に関しては下記の表をご覧ください。

記述例

印刷方向をポートレートで、A4サイズの印刷データをA3用紙に拡大して印刷するとき

LPRINT CHR\$(&h1C);CHR\$(&h66);"PA4A3.";

または

LPRINT CHR\$(28);"f";"PA4A3.";

拡大／縮小モードの設定

C ₂	C ₃	C ₄	C ₅	機 能
L	P	B	4	帳票→B4
L	P	A	4	帳票→A4
U	P	A	4	A4×2→A4
U	P	B	5	B5×2→B5
A	3	B	4	A3→B4
A	3	A	4	A3→A4
A	4	A	3	A4→A3
A	4	B	4	A4→B4
A	4	B	5	A4→B5
B	4	A	3	B4→A3
B	4	A	4	B4→A4
B	4	B	5	B4→B5
B	5	A	4	B5→A4
B	5	B	4	B5→B4

形式

FS 0 5 f C₁ C₂ C₃ C₄

- C₁、C₂、C₃ で縮小率を設定します。
組み合わせは次の中から選択します。

C ₁ 、C ₂ 、C ₃	設定内容
1 0 0	縮小印字解除(原寸)
0 8 0	4/5縮小印字
0 6 7	2/3縮小印字

- C₄ で縮小基準位置を設定します。
設定は次の通りです。

C ₄	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印刷します。
行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印刷します。
- 縮小印刷は受信したデータを2/3または4/5に縮小して印刷しますので、例えばA4サイズのデータをA5サイズ用の紙に、またはB4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷したいときに役立つ機能です。
- プリンターがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- はがきモード中、80桁モード中は本コマンドは無効です。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例

縮小率を4/5、左端基準で印刷するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h30); CHR$(&h35);  
          CHR$(&h66); "080L"
```

または

```
LPRINT CHR$(28); "05f"; "080L"
```


両面印刷を設定します。

形式

(FS)(')(C₁)(,)(C₂)(,)(P₁)(,)(P₂)(.)

- c₁ で印刷モードを設定します。

C ₁	印刷モード
S	片面印刷
B	両面印刷

- c₁ で片面印刷を指定した場合は、c₂ 以降のパラメータは無効になります。
- c₂ で両面印刷における用紙の印刷開始面を設定します。

C ₂	印刷面
F	表面
B	裏面

- c₂ を省略した場合は、表面を印刷開始面とします。
- P₁ で綴じしろを付加する位置を設定します。

P ₁	印刷面
1	長辺綴じ位置1
2	短辺綴じ位置1
3	長辺綴じ位置2
4	短辺綴じ位置2

- P₂ で綴じしろとして追加する余白量を1mm単位で設定します。範囲は、0≤P₂≤20です。
- P₁、P₂を省略した場合、メニューの設定に従います。
- 本コマンドはページの先頭で使用してください。ページの途中で指定した場合は、改ページを行い、以前のページの用紙をすべて排出した後で、本コマンドの設定に従った印刷を開始します。

記述例

印刷開始面が表面の両面印刷で、長辺綴じ1、余白量を10mmに設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h27); "B,F,1,10.";
または
LPRINT CHR$(28); " ' "; "B,F,1,10.";
```

フォーム登録の開始／参照

FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形 式

FS u c_1 , $P1$, c_2 .

- c_1 で登録か参照かを設定します。

c_1	機 能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- P_1 でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c_2 は $c_1=1$ (フォーム登録モード) のときは必ず省略してください。 $c_1=2$ (フォーム参照モード) のときは、 c_2 でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c_2	機 能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

✓ チェック

MultiWriter 6050では100面までの登録が可能です。実際にはメモリの容量に依存しますが、オプションの増設RAMを装着することによってより多くのフォーム登録が可能となります。また従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能になりました。

記述例

フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h75);CHR$(&h31);CHR$(&h2C);"2";CHR$(&h2E);
または
LPRINT CHR$(28);"u1,2.";
```

自由曲線の描画(絶対座標モード)

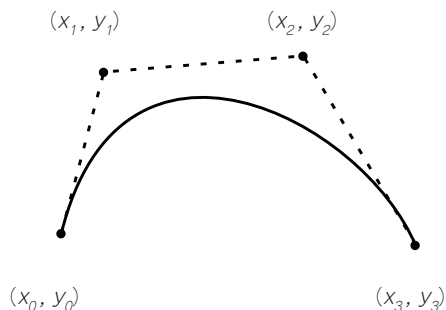
BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

形 式

(B) (A) (x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3) ... (x_n , y_n);

- 現在の座標を(x_0 , y_0)として(x_0 , y_0)、(x_1 , y_1)、(x_2 , y_2)、(x_3 , y_3)の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が使われます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中(コマンドNP指定後)でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例

現在の座標位置から(x_1 , y_1)、(x_2 , y_2)、(x_3 , y_3)を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h41);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
```

または

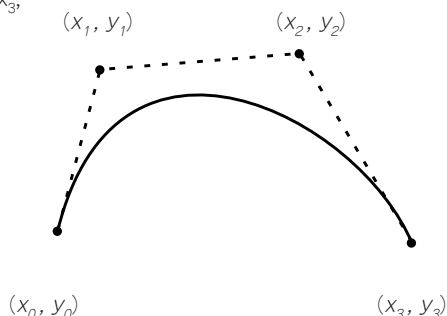
```
LPRINT "BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";
```

曲線を相対座標モードで描画します。

形 式

(B)(R)(x_1)(y_1)(x_2)(y_2)(x_3)(y_3) ... (,)(x_n)(y_n);

- 現在の座標を(x_0, y_0)として(x_0, y_0)、(x_1, y_1)、(x_2, y_2)、(x_3, y_3)の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中(コマンドNP指定後)でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例

現在の座標位置から(x_1, y_1)、(x_2, y_2)、(x_3, y_3)を結ぶ曲線を描画するとき

LPRINT CHR\$(&h42); CHR\$(&h52); "X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";

または

LPRINT "BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3";

楕円の描画

EL

B
技術情報

現在の座標位置を中心に楕円を描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形 式

(E)(L)($r1$)($r2$)(θ);

- $r1$ は楕円の長軸を、 $r2$ は楕円の短軸を示します。
- θ は楕円の回転角度を示します。 θ は省略した場合 0° とみなします。
- $\theta=360$ 以上を指定した場合、 360 の剰余とみなします。また θ は負の値も設定可能です。たとえば -1° は 359° とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- $r1, r2$ は線幅の $1/2$ 以下でなければなりません。
- $r1, r2$ は下記の値以下でなければなりません。
400dpiで印刷する場合： 32767-400=32367 (約2055mm)
600dpiで印刷する場合： 32767-600=32167 (約1362mm)

```
LPRINT CHR$(&h45);CHR$(&h4C);"1000, 500, 30:";
```

または

```
LPRINT "EL1000, 500, 30:";
```

楕円弧の描画

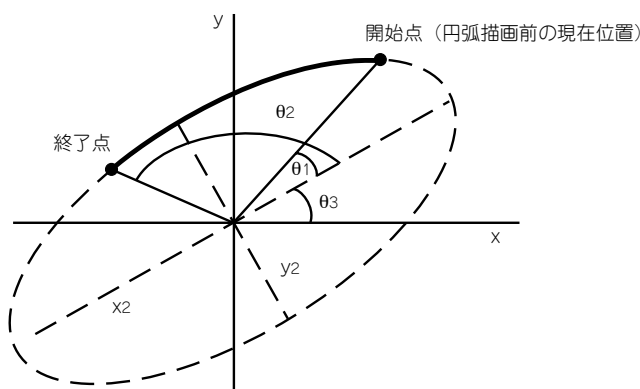
ED, EN

楕円弧を描きます(直線がはじめに引かれる場合があります)。

形式

```
(E)(D)(x1)(,)(y1)(,)(x2)(,)(y2)(,)(θ1)(,)(θ2)(,)(θ3);
```

```
(E)(N)(x1)(,)(y1)(,)(x2)(,)(y2)(,)(θ1)(,)(θ2)(,)(θ3);
```



- (x_1, y_1) は楕円の中心座標を示します。
- x_2 と y_2 はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- θ_1 と θ_2 はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0~359(度単位)が有効です。
 θ_2 が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。 θ_1 は省略できません。
- θ_3 は楕円弧の回転角度を示します。 θ_3 で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。 θ_3 が省略された場合、回転なしと解釈されます。
- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。
- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド(RC、RO)の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を越えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例

長中心点(100,100)、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15度、終了角度120度の楕円弧を反時計方向に30° 回転させて描画するとき

```
LPRINT "ED100,100,1000,500,15,120,30:";
```



チェック

従来は楕円を回転(傾斜)させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

2バイトコード文字の文字幅設定

FS p

2バイトコード文字の文字幅(印刷ピッチ)を設定します。

形式

FS p 2 , p₁ , p₂ .

- p₁/p₂で文字幅を設定します。
- p₁は文字幅の分子、p₂は文字幅の分母を表します。
- p₂を240に設定したとき、p₁は1~240の値が有効となります。
- p₂を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p ₁	p ₂	文字幅
1	5	1/5インチ
1	6	1/6インチ
1	10	1/10インチ
2	15	2/5インチ
3	20	3/20インチ

✓チェック

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンターでは1/240~240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例

2バイトコード文字の文字幅を1/8インチ(30/240)に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h70);"2,30/240.";
```

または

```
LPRINT CHR$(28);"p";"2,30/240.";
```

B

技術情報

グレイレベルパターンの設定

SG

フィル描画 (FL, EL) や閉領域塗りつぶし描画 (PI) で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

形式

(S)(G)(n_1)(,)(n_2)(;)

- n_1 , n_2 は明度を示します。

パラメータ	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0~100
n_2	線分描画で使用	0~100

- n_1 , n_2 の設定範囲は0(黒ベタ)から100(白)までです。(初期値は0です)
- n_1 , n_2 とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は
 - ① 初期化動作 (電源ON、リセット動作など)
 - ② イニシャライズコマンド (IN) 実行
 - ③ 初期化を伴うコマンド (RC、SU、DF) の実行
 - ④ 塗りつぶしパターン選択 (PP) の実行
 まで有効です。
- 塗りつぶしパターン選択コマンド (PP) が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし (PI) の使用は避けること。
- グレイの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45° です。
- パラメータを省略したとき、いずれか一方でもパラメータを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメータ値とパターンの関係は以下のとおりです。パターン番号は小数点第1位を四捨五入した値です。

パターン番号 = パラメータ × 63/100

(例) パラメータで70を指定するとき

$70 \times 63/100 = 44.1$

選択されるパターンはパターン番号44となります。



チェック

SGは形式、パラメータの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンターでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

記述例

面分描画での明度を50、線分描画での明度を0(黒)に設定するとき

LPRINT CHR\$(&h53); CHR\$(&h47); "50,0";

または

LPRINT "SG 50,0";

$$FS \ p_1, p_2, p_3, p_4, p_5, p_6, p_7, d_1 d_2 d_3 d_4 \dots$$

(FS) $(\cdot, p_1, p_2, p_3, p_4, p_5, p_6, p_7, d_1, d_2, d_3, d_4, \dots)$

- ## <201PLエミュレーションモード>

<ページプリンターモード>

- p_1 の指定により、 $p_2 \sim p_7$ 、 $d_1 \sim$ の値は変化します。
- p_9 はバーコードに対するHRC(付加文字)の有無およびその位置を指定します。

- p_3 はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

<201PLエミュレーション>

指定範圍： $2 \leq p_3 \leq 4$ (160dpi)

<ページプリンターモード>

指定範囲： $4 \leq p_3 \leq 10$ (400dpi)、 $4 \leq p_3 \leq 15$ (600dpi)

- p_4 はバーコードのワイド／ナローエレメント比を指定します。
 $p_4=30$ のみ有効
- p_5 はバーコード高さをドット単位で指定します。

<201PLエミュレーション>

$$0 \leq p_5 \leq 999 \text{ (160dpi)}$$

p₅が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより1/120インチ単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ+HRCの高さです。

<ページプリンターモード>

指定範囲：

$10 \leq p_5 \leq 1665$ (400dpi 1ドット=約0.064ミリ なるべく150~300程度の値でご使用ください)

$10 \leq p_6 \leq 2498$ (600dpi 1ドット=約0.042ミリ なるべく150~300程度の値でご使用ください)

- p_6 はデータキャラクタの長さをバイト単位で指定します。
この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効な p_6
1	2
2	0~34
3	13または8
4	0~34
5	0~34
6	0~34(偶数のみ)

- p_7 は p_3 、 p_5 の解像度を指定します。

<201PLエミュレーション>

省略してください。(160dpi)

<ページプリンターモード>

指定： $p_7=400$ (400dpi)、 $p_7=600$ (600dpi)

- d_1 、 d_2 、 d_3 、 d_4 ...はデータキャラクタまたはスタート/ストップキャラクタ($p_1=1$ のとき)です。
- グレイの実現レベルはプリンター機種ならびに解像度に依存します。

✓ チェック

バーコードをご使用になる際には次のことにご注意ください。

- 読み取り装置によっては、本プリンターで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大/縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- p_2 で指定されるHRCはOCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは10CPIのため、HRCの幅の方がバーコードより広くなることがあります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から越えた場合にはデータを読み捨てます(オートリターンしません)。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
 - － 縦横拡大指定(FS m)
 - － 網かけ、反転(FS n)
 - － アンダーライン/オーバーライン(ESC X)
 - － 縦方向オフセット(FS t)
 - － 横罫線(FS :)
 - － 固定ドットスペース(FS w)

記述例

$p_1=1$ 、スタートキャラクタを“a”、ストップキャラクタを“b”とするとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h60);"1,,,,,2,..ab";
```

または

```
LPRINT CHR$(&h1C);"1,,,,,2,..ab";
```

補足

バーコードの種類によって、パラメータの意味が少しずつ異なります。

- p1=1のとき(NW-7のスタート/ストップキャラクタを指定します。)
 - ー バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート/ストップキャラクタの設定を行います。
 - ー スタート/ストップキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。(初期状態は“a”)
a b c d e n t * A B C D E N T
また、p2~p5およびp7は省略されます。
記述例 スタートキャラクタを“a”、ストップキャラクタを“b”とするとき
LPRINT CHR\$(&h1C); "1,,,,,2,,ab";
- p1=2のとき(NW-7)
 - ー p3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p3×p4/10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - ー p6=0のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印刷します。
 - ー データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - \$. / : +
 - ー データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。
- p1=3のとき(JAN)
 - ー p3の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
 - ー p6は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
 - ー データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - ー JAN標準でデータキャラクタの1バイト目(フラグキャラクタ)が規定外のときは、データキャラクタも含めて読み捨てます。
 - ー レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。
- p1=4のとき(CODE-39)
 - ー p3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p3×p4/10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - ー p6=0のときは、スタート/ストップキャラクタ(“*”固定)のみ印刷します。
 - ー データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 - \$. / + % SP(スペース)
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
 - ー データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。
- p1=5のとき(INDUSTRIAL 2 OF 5)
 - ー p3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p3×p4/10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - ー p6=0のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクタがないため印刷されません。
 - ー データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - ー データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。
- p1=6のとき(INTERLEAVED 2 OF 5)
 - ー p3の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p3×p4/10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
 - ー p6=0のときは、スタート/ストップキャラクタのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクタがないため印刷されません。
 - ー データキャラクタとして指定可能な文字は次のとおりです。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
 - ー 2つのデータキャラクタを1組のバーコードデータとして印刷します。
 - ー データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート/ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。

カスタマーバーコードはJANコード等のバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。
このため、カスタマーバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

2バイト文字書体の選択

形式

FS 0 6 F 2 - n_1 n_2 n_3

- n_1 、 n_2 、 n_3 は3桁の文字表現の10進数であり、書体番号を示します。
但し、例外としてCLR [0×43 4c 52] のパラメータは指定可能です。
- 初期状態ではプリンターのメニュー機能による設定が有効となります。
- 他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマーバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマーバーコード書体(回転なし)
852：カスタマーバーコード書体(反時計回り90度回転)
853：カスタマーバーコード書体(反時計回り180度回転)
854：カスタマーバーコード書体(反時計回り270度回転)
CLR：初期状態の書体に戻す。(メニュー設定に従う)

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメータですが、カスタマーバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマーバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。(例：850、861、867)

✓チェック

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PL環境(シリアルプリンターのエミュレーション)で使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来のサポートされておりませんが、カスタマーバーコード書体選択時のみ、201PL環境でも有効となります。カスタマーバーコード以外の「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。

✓チェック

バーコードをご使用になる際には次のことをご注意ください。

- トナー切れなどにより印刷がかすれたりした場合には、読み取れないことがあります。
- 用紙の拡大/縮小は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー節約機能は使用しないでください。読み取り装置でバーコードを読み取れないことがあります。
- カスタマーバーコード自体の規格については郵政省のマニュアルを参照してください。

カスタマーバーコードのキャラクタ指定

カスタマーバーコードの21種のキャラクタは次の文字コードを割り当てます。

数字('0'～'9')	: 2330h～2339h(数字の'0'～'9')
ハイフン	: 215Dh(マイナス記号'－')
英字用制御コード(CC1～CC3)	: 2361h～2363h(小文字アルファベットの'a'～'c')
予備用制御コード(CC4～CC8)	: 2364h～2368h(小文字アルファベットの'd'～'h')
スタートコード(STC)	: 2163h(不等号'<')
ストップコード(SPC)	: 2164h(不等号'>')

上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

ヒント

カスタマーバーコードのサイズの指定

カスタマーバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを8ポイントから11.5ポイントまでの範囲にする必要があります(この範囲内で任意の値を指定できます)。

一方、プリンターはカスタマーバーコードといえども文字であるため、NPD L2、201 PLそれぞれで定義された文字制御に関する全ての機能を有効とします(例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など)。

このため、カスタマーバーコードの印刷を行うAPは適切な印刷結果が得られるよう留意が必要です。また、プリンター側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

OCR-Bフォントの指定

FS 06 F1-004

形式

FS 0 6 F 1 - 0 0 4

1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンターはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンターの場合10CPI(12ポイント、パイカサイズ)のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大/縮小、ページの拡大/縮小を行うと印刷できません。
- OCR-Bフォントの印刷は本プリンターのNPDLモードでのみ可能です。またOCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。
 - ① アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。
このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお文字のサイズは必ず12ポイントを指定してください。またボールド、イタリック(斜体)、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。
 - ② アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンターフォントがない場合は、本プリンタードライバの「TrueTypeフォントのプリンターフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します(詳細はユーザーズマニュアル[2/2]参照)。
なおOCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーションアルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。
- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- トナー節約機能は使用しないでください。OCR読み取り装置がうまく読み取れません。

楕円弧の描画

AV

矩形領域に内接する楕円弧を描画します。

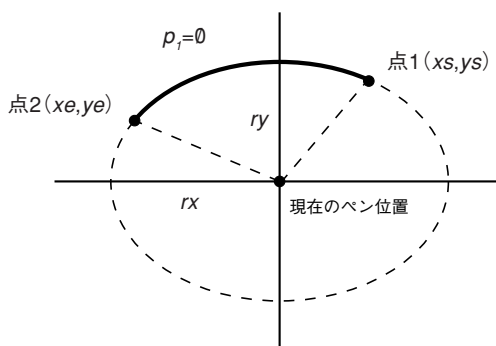
形 式

(A) (V) (rx) (,) (ry) (,) (xs) (,) (ys) (,) (xe) (,) (ye) (,) (p₁) ;

パラメータ

- ① rx..... x半径
- ② ry y半径
- ③ xs..... 点1のx座標(絶対座標)
- ④ ys..... 点1のy座標(絶対座標)
- ⑤ xe..... 点2のx座標(絶対座標)
- ⑥ ye..... 点2のy座標(絶対座標)
- ⑦ p₁..... 描画方向(省略可)

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1(xs、ys)を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2(xe、ye)を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- p₁=0の時、反時計回り
p₁=1の時、時計回り
- 省略時は反時計回りになります。
p₁に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点と同じ場合、楕円を描画する。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標(プリンター座標系)が-32768～32767の範囲内不在とき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-(解像度)より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2>半径の場合は、線幅/2=半径になるように線幅を丸めます。



記述例

現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h41); CHR$(&h56); rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; ";
または
LPRINT " AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1; " ; "
```

弓形の描画

CV

矩形領域に内接する楕円弧を基に弓形を描画する。

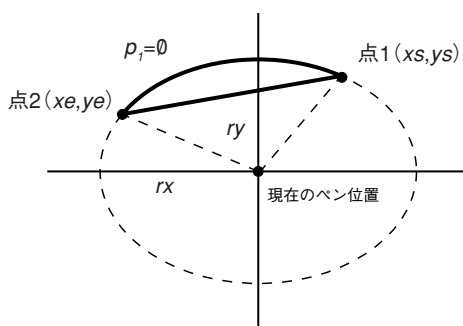
形 式

C V rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2;

パラメータ

- ① rx x半径
- ② ry y半径
- ③ xs 点1のx座標(絶対座標)
- ④ ys 点1のy座標(絶対座標)
- ⑤ xe 点2のx座標(絶対座標)
- ⑥ ye 点2のy座標(絶対座標)
- ⑦ p₁..... 描画モード
- ⑧ p₂..... 描画方向(省略可)

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1(xs、ys)を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2(xe、ye)を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に弓形を描画します。
- p₁=0の時、輪郭のみ(線種パターンに従って描画する。)
- p₁=1の時、塗りつぶしのみ
- p₁=2の時、輪郭+塗りつぶし
- p₁に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p₂=0の時、反時計回り。
- p₂=1の時、時計回り。
- 省略時は反時計回りになります。
- p₂に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標(プリンター座標系)が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-(解像度)より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2>半径の場合は、線幅/2=半径になるように線幅を丸めます。



記述例

現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h43); CHR$(&h56); " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
```

または

```
LPRINT "CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; "; "
```

扇形の描画

FV

矩形領域に内接する楕円弧を基に扇形を描画する。

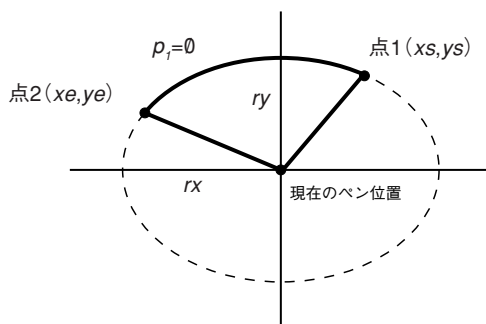
形式

F V rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2;

パラメータ

- ① rx..... x半径
- ② ry y半径
- ③ xs 点1のx座標(絶対座標)
- ④ ys 点1のy座標(絶対座標)
- ⑤ xe 点2のx座標(絶対座標)
- ⑥ ye 点2のy座標(絶対座標)
- ⑦ p₁ 描画モード
- ⑧ p₂ 描画方向(省略可)

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1(xs、ys)を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2(xe、ye)を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に扇形を描画します。
- p₁=0の時、輪郭のみ(線種パターンに従って描画します。)
- p₁=1の時、塗りつぶしのみ
- p₁=2の時、輪郭+塗りつぶし
- p₁に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- p₂=0の時、反時計回り。
- p₂=1の時、時計回り。
- 省略時は反時計回りになります。
- p₂に0、1以外の値が指定された時、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点と同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標(プリンター座標系)が-32768~32767の範囲内でないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-(解像度)より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2>半径の場合は、線幅/2=半径になるように線幅を丸めます。



記述例

現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h46); CHR$(&h56); " rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
または
LPRINT "FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2; ";
```


角丸矩形の描画

RB

指定された2点を基に角丸矩形を描画する。

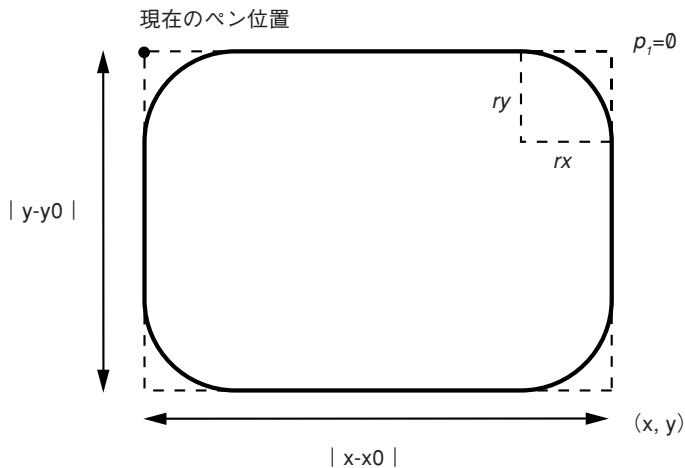
形式

(R) (B) (x) (,) (y) (,) (rx) (,) (ry) (,) (p1) ;

パラメータ

- ① x 矩形の対角のx座標(絶対座標)
- ② y 矩形の対角のy座標(絶対座標)
- ③ rx 角丸のx半径
- ④ ry 角丸のy半径
- ⑤ p₁ 描画モード

- 現在のペン位置からx、yで示される矩形の角に半径rx、ryの1/4楕円を描画します。
- p₁=0の時、輪郭のみ(線種パターンに従って描画します。)
- p₁=1の時、塗りつぶしのみ
- p₁=2の時、輪郭+塗りつぶし
- p₁に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- |x-x0| > 2 × rxかつ |y-y0| > 2 × ryのとき角丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- x、y半径が32767 - 解像度を超える場合は、32767 - 解像度に丸める。
- 対角点の座標(プリンター座標系)が-32768~32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 線幅/2 > 半径の場合は、線幅/2=半径になるように線幅を丸めます。



記述例

現在のペン位置から x、yで示される矩形に半径 rx、ryの角丸矩形を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h52); CHR$(&h42); " x, y, rx, ry, p1; ";
```

または

```
LPRINT " RB x, y, rx, ry, p1; ";
```

文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」と「×」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されているか(○)内蔵されていないか(×)を示します。

1バイト系文字

文字の種類	標準/クーリエ/ゴシック/イタリック
英数字・記号 96種 (スペース、0を含む)	○
カタカナ・記号 63種	○
ひらがな 55種	○
CGグラフィック 56種	○
各国文字 15種	○

2バイト系文字

文字の種類	明朝体 アウトライン	ゴシック体 アウトライン
記号 96種 (スペースを含む)	○	○
英数字 63種	○	○
ひらがな 55種	○	○
カタカナ 56種	○	○
ギリシャ文字 48種	○	○
ロシア文字 66種	○	○
半角文字 212種 (スペースを含む)	○	○
JIS第一水準漢字 2965種	○	○
JIS第二水準漢字 3384種	○	○

この表はJIS X6226-1978に準拠していますが、JIS X0208-0983または JIS-X0208-1990への切り替えも可能です。

文字間隔

文字種	文字サイズ	文字間隔 (インチ)
1バイト系文字	パイカ	1/10
	エリート	1/12
	コンデンス	約1/17
	プロポーションナル	約1/27~1/10
2バイト系文字	7ポイント*	1/10
	10.5ポイント**	約1/6.66
	12ポイント	1/6

* 正確には7.2ポイントです。

** 正確には10.8ポイントです。

1バイト系文字

文字種				ドット構成 (ボディフェース) ＜縦 × 横＞ (ドット)	文字寸法 (ボディフェース) ＜縦 × 横＞(mm)
1バイト系文字	標準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	56 × 40	3.39 × 2.54
			エリート	45 × 34	2.82 × 2.12
			コンデンス	32 × 24	1.98 × 1.48
			プロポーショナル	54 × A*	3.39 × B*
		CGグラフィック	パイカ	54 × 40	3.39 × 2.54
			エリート	45 × 34	2.82 × 2.12
			コンデンス	32 × 24	1.98 × 1.48
			プロポーショナル	54 × 40	3.39 × 2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	27 × 40	1.69 × 2.54
			エリート	23 × 34	1.41 × 2.12
			コンデンス	16 × 24	0.99 × 1.48
			プロポーショナル	27 × A*	1.69 × B*
		CGグラフィック	パイカ	27 × 40	1.69 × 2.54
			エリート	23 × 34	1.41 × 2.12
			コンデンス	16 × 24	0.99 × 1.48
			プロポーショナル	27 × 40	1.69 × 2.54

* プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。
A : 15～37ドット (400dpi) 、23～55ドット (600dpi) B : 0.95～2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

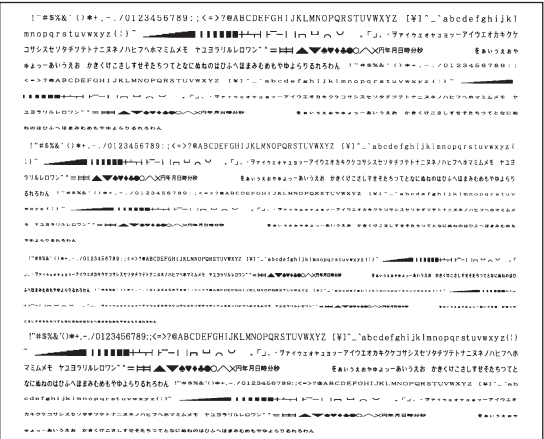
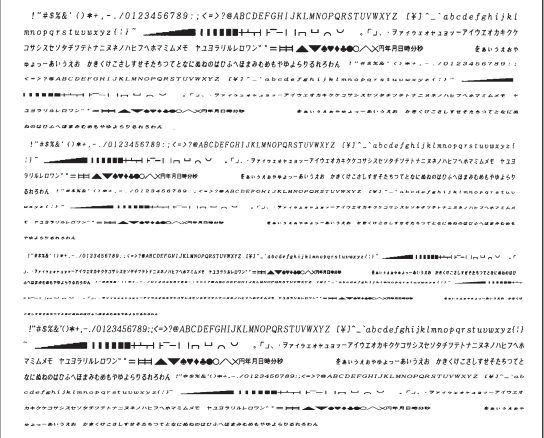
文字種			ドット構成 (ボディフェース) ＜縦 × 横＞ (ドット)	文字寸法 (ボディフェース) ＜縦 × 横＞ (mm)
2バイト系文字	7ポイント	全角	40 × 40	2.54 × 2.54
		半角	40 × 20	2.54 × 1.27
	10.5ポイント	全角	60 × 60	3.81 × 3.81
		半角	60 × 30	3.81 × 1.91
	12ポイント	全角	67 × 67	4.23 × 4.23
		半角	67 × 34	4.23 × 2.12
ドット列印刷	40ドット		67 × n	4.23 × m

テスト印刷のプリント結果

次にテスト印刷とステータス印刷のプリント結果例を示します。プリント結果はA4サイズ用の紙に印刷したものを33%に縮小しました。

テスト印刷

テスト印刷では、1バイト系標準、イタリック、クーリエ、ゴシックの4フォントと、各フォントのパイカ文字、エリート文字、コンデンス文字、プロポーショナル文字、2バイト系の7ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分と2バイト系の10.5ポイントの第一水準漢字のすべて、アウトラインフォントの第二水準漢字の一部分を順次印刷します。

	←1バイト系	標準	パイカ文字
	←1バイト系	標準	エリート文字
	←1バイト系	標準	コンデンス文字
	←1バイト系	標準	プロポーショナル文字
	←1バイト系	イタリック	パイカ文字
	←1バイト系	イタリック	エリート文字
	←1バイト系	イタリック	コンデンス文字
	←1バイト系	イタリック	プロポーショナル文字
	←1バイト系	クーリエ	パイカ文字
	←1バイト系	クーリエ	エリート文字
	←1バイト系	クーリエ	コンデンス文字

プロポーショナル文字

パイカ文字

エリート文字

コンデンス文字

プロポーションナル文字

アウトラインフォント第一水準漢字
のすべて(7ポイント)

ステータス印刷

ステータス印刷では、オプションの接続やメモリスイッチの状態など、本プリンターの状態が印刷されます。オプションを接続した後の確認にご使用ください。次にステータス印刷の結果例を示します。

** プリンタ設定環境 **

Version

エンジン : 00.00 00000000
コントローラ : 00.00

オプションボード

増設ハードディスク
フィニッシャ
大容量ホッパ

給紙構成

ホッパ1 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター)
ホッパ2 : A4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター)
ホッパ3 : A4 (A4)
ホッパ4 : A4 (A4)
トレイ : B4 (A3、A4、A5、B4、B5、レター、はがき)

動作モード

サポート言語 : NPD L
セントロインタフェース : NPD L
NIC インタフェース : NPD L

メモリ

メモリ容量 : 32MB / CPU (合計64MB)
メモリ割り当て : 標準

メモリスイッチ設定

	12345678	12345678	12345678	12345678			
MSW1 :	00000000	MSW2 :	00000000	MSW3 :	00000000	MSW4 :	00000000
MSW5 :	00000000	MSW6 :	00000000	MSW7 :	00000000	MSW8 :	00000000

1 バイト系内蔵フォント

Standard	: PICA ELITE CONDENSE	PROPORTIONAL
Italic	: PICA ELITE CONDENSE	PROPORTIONAL
Courier	: PICA ELITE CONDENSE	PROPORTIONAL
Gothic	: PICA ELITE CONDENSE	PROPORTIONAL

2 バイト系内蔵フォント

書体番号	ファイル名	フォント名
031	NMI3_CF	FontAvenue明朝体-L
251	NGO5_CF	FontAvenueゴシック体-M

文字コード表

本プリンターは、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。

1バイト系コードは、メモリスイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。

2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角(普通の漢字)の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR		
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	+
90	⌵	⌴	⌶	⌷	⌸	⌹	⌺	⌻	⌼	⌽	⌾	⌿	⌿	ノ	ノ	ノ
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	°	
E0	=	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
00					EOT					HT	LF	VT	FF	CR		
10		DC1	DC2	DC3	DC4					EM		ESC	FS	GS	RS	US
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	-
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12	
80	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	+
90	⌵	⌴	⌶	⌷	⌸	⌹	⌺	⌻	⌼	⌽	⌾	⌿	⌿	ノ	ノ	ノ
A0		。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	°	
E0	=	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠	≠
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒								

注1～12 各国特殊文字が入ります(メモリスイッチ1-1～1-3で切り替えます。)

国別相違点

注	No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード		23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	\$	@	[	¥	]	^	`	{		}	~	
アメリカ	#	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~	
イギリス	£	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~	
ドイツ	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß	
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü	

- 注13 8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
- 注14 A～D行はひらがなモード(ESC &で指定)の場合はひらがな文字、カタカナモード(ESC Sで指定)の場合はカタカナ文字になります。
- 注15 0、1行は制御コードです。
- 注16 0、1行の空欄は無視されます。2～F行の空欄はスペース(SP)として処理されます。
- 注17 3行、0列の「0」の印刷字体はメモリスイッチ2-1により変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040+A=004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース(SP)です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020	!	"	#	\$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/	
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
0080	。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ	
0090	ー	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ツ	
00B0	ー	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	。*	
00E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	。*	

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。本プリンターでは、制御コードによってコード表をJIS 1978年版／JIS 1983年版およびJIS 1990年版の切り替えることもできます。Windows環境から印刷するとWindowsの設定に従います。ただし、デザイン処理などの都合により、Windows上の字形と一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020+1=3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース(SP)です。

漢字コード表(全角文字)(1/5)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120																
2130																
2140																
2150																
2160																
2170																
2220																
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
2340	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
2360	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
2420	あ	い	う	え	お	か	き	く								
2430	け	こ	さ	し	じ	ず	せ	そ	た							
2440	ち	っ	つ	て	と	ど	な	ぬ	ね	の	は					
2450	ば	び	ぶ	お	へ	べ	ほ	ぼ	ま	み						
2460	む	め	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ					
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	カ	キ	ク								
2530	グ	ケ	コ	ゴ	サ	シ	ジ	ズ	セ	ソ	タ					
2540	ダ	チ	ッ	ツ	テ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ			
2550	パ	ピ	プ	ピ	フ	ブ	ヘ	ベ	ポ	ボ	マ	ミ				
2560	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ			
2570	キ	エ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620	A	B	Г	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	
2630	Π	Р	Σ	T	Т	Ф	Х	Ω								
2640	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720	A	B	B	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750	а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н	
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020	亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥	
3030	旭	葦	蓼	梓	压	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	
3040	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	匪
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	耄	溢	逸
3070	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120	院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鶉	窺	丑	
3130	碓	臼	渦	噓	唄	鬱	鰻	姥	厩	浦	瓜	閨	噂	云	運	
3140	雲	荏	餌	叡	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閱	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
3170	艷	苑	蘭	遠	鉛	駕	塩	於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	
3220	押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	岡	沖	获	億	
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何
3240	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
3320	魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙
3340	垣	柿	蠣	鈎	劃	嚇	各	廓	拈	攪	格	核	殼	獲	確	穫
3350	覓	角	赫	較	郭	闊	隔	革	學	岳	樂	額	頸	掛	笠	慳
3360	櫃	梶	鰍	渴	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
3370	叶	枇	樺	鞆	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	嚙	鴨	栢	茅	萱	
3420	粥	刈	刈	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	姦	
3430	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	飲
3440	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	莞	觀	諫	貫	還	鑑	間	閑	閑	陷	韓	館	館	丸	含	岸
3460	巖	玩	癌	眼	岩	翫	贗	雁	頑	顏	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520	機	婦	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	微	規	記	貴	起	
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拋	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620	供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強	
3630	彊	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	響	驚	仰	凝	亮	曉	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	茵	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	驅	駢	
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720	掘	窟	杏	靴	轡	窪	熊	限	桑	栗	繰	桑	歛	勲	君	
3730	薰	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	徑	患	慶	慧	憩	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系
3750	經	繼	繫	罴	莖	荊	蚩	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	擊	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	儉	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

漢字コード表(全角文字)(2/5)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820	検	権	牽	犬	猷	研	硯	絹	梟	肩	見	謙	賢	軒	遣	
3830	鍵	険	顕	験	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	孤	虎	誇	跨	鉗	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	絃	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉦	礦	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麴	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	飢	忽	惚	骨	狛	込	
3A20	此	頃	今	困	坤	壑	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	查	沙	磋	砂	詐	鎖
3A40	袈	坐	座	挫	債	催	再	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	
3A50	歲	濟	災	采	犀	碎	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剂	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	紳	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	棚	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20	察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	阜	鯖	捌	錯	蛟	皿	晒	
3B30	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	讚	贊
3B40	酸	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	兄	字	寺	慈	持	時	
3C20	次	滋	治	爾	壘	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	
3C30	式	識	鳴	竺	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	僂	柴	芝	屢	藥	縞	舍	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	殊	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20	宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐	
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	遇	曾	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
3D40	柔	汁	渋	獸	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	蓆	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20	勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	将	小	少	
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	涉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	莖	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞆	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	淨	状	畳	穰	蒸	讓	釀	錠	嘱	埴	飾	
3F20	拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵	
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	韌	筭	諏	須	酢	凶	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	随
3F70	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	相	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020	澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政	
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	齐	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	搜	撰	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
4070	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120	織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮	
4130	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糲	噌	塑	岨	措	曾	曾	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	忽	想	搜	掃	挿	搔
4160	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	糴	糴	綜	聡
4170	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	増	憎	
4220	臟	藏	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗	
4230	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	訛	唾	堕	妥	惰	打	舵	舵	惰	駄	驢	体	堆	
4250	対	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	貸	
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	挾	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	胤	蝸	只	
4320	叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迪	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	
4330	丹	單	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	簞	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	彈	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蚶	遲	馳	柎	奮	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	注	柱	虫	衷
4370	註	酎	酎	駐	樗	豬	苧	苧	著	貯	兆	北	凋	喋	寵	
4420	帖	帳	庁	弔	張	彫	微	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	
4430	聴	脹	腸	蝶	調	譟	超	跳	銚	長	頂	勅	勅	抄	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	堅	椎	槌	追	鎚	痛	塚	拇	摺	
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鏝	椿	潰	坪	壺	嬌	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	刺	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	楨	程	締	艇	訂	諦	蹄	遙	
4520	邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	笛	適	適	溺	哲		
4530	徹	徹	徹	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4540	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	檣	棟
4570	盜	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筈	糖	統	到	
4620	董	蕩	藤	討	膳	豆	踏	逃	透	鎧	陶	頭	騰	闕	働	
4630	動	同	堂	導	懂	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴿	匿
4640	得	德	漬	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	凸	突	般	届	
4650	薦	苦	寅	酉	滯	頓	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	風	難	謎	灘	捺	鍋	櫛	綱	緇	暇	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弑	邇	匂	賑	肉	虹	甘	日	乳	入	
4720	如	尿	菲	任	妊	忍	認	濡	襦	祢	寧	葱	貓	熱	年	
4730	念	捻	燃	燃	粘	乃	迺	之	墊	囊	惱	濃	納	能	腦	膿
4740	農	硯	蚤	巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	魔	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	煤	煤	狼	買	壳	賠	陪	這	蠅	秤	矧	萩	伯	剝	搏	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	駁	駁	麥	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820	函	箱	砵	筭	肇	筭	櫨	蟠	肌	畑	畠	八	鉢	潑	発	
4830	酸	髮	伐	罰	拔	筏	閥	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	采	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磬	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	毳	眉	美	
4920	鼻	格	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	甥	必	畢	筆	逼	
4930	檜	姫	媛	紐	百	謬	依	彪	標	水	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	鎬	蒜	蛭	鱈	品	彬	斌	浜	瀕	貧	
4950	寶	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	撫	
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葦	落	伏	副	復	幅	服	
4A20	福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮪	分	吻	噴	墳	
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	摒	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋
4A50	偏	變	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	婉	弁	鞭	保	鋪	鋪
4A60	圃	捕	步	甫	補	輔	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20	法	泡	烹	咆	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒	
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	紡	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	鉤	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	每	哩	禰	幕	膜	枕	鮪	枉
4B70	鱒	樹	亦	侯	又	抹	末	沫	迄	儘	藺	曆	万	慢	滿	
4C20	漫	蔓	味	未	魅	已	箕	岬	密	蜜	湊	衰	稔	脈	妙	
4C30	耗	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵠	掠	娘	冥	名	命	
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	綿	綿	緬	面	麵	模	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	丕	勿	餅
4C60	尤	戾	戾	貫	問	悶	紋	門	匄	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	藥	訖	躍	靖	柳	藪	鍵	愉	愈	油	癒	
4D20	論	輪	唯	佑	優	勇	友	有	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧	
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	營	輿	預	備	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	裕
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20	痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	律	掠	略	劉	流	溜	
4E30	琉	留	琉	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	亮	僚	兩	凌	
4E40	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	綠	倫	厘	林	淋	淋	臨	臨	輪	鱗	鱗	溜	壘	淚	累	
4E60	類	令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	礼	鈴	鈴	隸	零	靈	麗
4E70	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	戀	憐	煉	煉	簾	練	聯	
4F20	蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	炉	路	路	露	勞	婁	廊	弄	朗	
4F30	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	蠟	蠟	郎	六	麓	祿	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賭	脇	惑	粹	驚	亘	亘	鰐	詫	藁	蕨
4F50	碗	灣	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020	弋	丐	丕	个	卯	丩	井	丿	乂	乖	乘	亂	丌	豫	爭	
5030	舒	式	于	亞	亟	一	亢	京	毫	亶	从	仍	仄	仆	仆	仗
5040	仞	仞	仞	仞	伉	佚	佔	佛	佝	佗	佇	估	侈	侏	佗	佻
5050	佩	佰	侑	侑	來	侖	俚	俚	俚	俚	俚	俚	侑	俚	侑	侑
5060	俚	倚	倨	倨	倪	倪	倖	倖	倖	倖	倖	倖	倖	倖	倖	倖
5070	偃	假	會	偕	修	偈	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣	倣
5120	僉	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊
5130	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊	僊
5140	兩	兪	兮	冀	冂	回	册	冉	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
5150	寫	寫	寫	寫	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂	冂
5160	鳳	口	函	又	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
5170	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂	刂
5220	辦	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
5230	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5240	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
5250	厥	厥	厥	厥	參	纂	雙	雙	曼	雙	叮	叨	叭	叭	叭	叭
5260	呀	听	听	听	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮
5270	咒	呻	咀	咀	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
5320	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫
5330	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫
5340	喟	喟	喟	喟	喟	喟	喟	喟	喟	喟	喟	喟	喟	喟	喟	喟
5350	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤
5360	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
5370	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
5420	圉	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國	國
5430	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
5440	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉	圉
5450	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑
5460	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑	壑
5470	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天
5520	奸	姦	姦	姦	姦	姦	姦	姦	姦	姦	姦	姦	姦	姦	姦	姦
5530	娑	娜	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑	娑
5540	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽
5550	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃
5560	它	宦	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸	宸
5570	寶	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅
5620	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐
5630	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
5640	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙	崙
5650	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
5660	巫	已	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳	巳
5670	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
5720	廖	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣	廣
5730	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升	升
5740	亼	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖
5750	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙
5760	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙
5770	協	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆

漢字コード表(全角文字)(4/5)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		恹	悛	悛	悛	悛	悛	悛	惡	悖	惠	悵	悴	悴	悽	惆
5830	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	喘	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
5840	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	愴	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙
5850	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙
5860	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙
5870	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙	慙
5920		戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	扁	扎	扞	扣	扛	扞	扞	扼
5930	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞	扞
5940	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈	拈
5950	捐	挾	捍	搜	捏	捏	捏	拏	振	捶	掣	掏	掉	掟	掬	捫
5960	扳	揀	搯	揅	揅	揅	揅	揅	擲	揄	搖	搦	搦	搦	搦	搶
5970	攝	搗	搗	搗	搗	搗	搗	搗	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5A20		據	擒	擅	擇	達	擎	插	攔	舉	舉	擠	擡	抬	擣	擯
5A30	攬	攜	擴	擲	擺	擺	攢	攘	攜	攢	攢	攢	攢	攢	攢	攢
5A40	收	攸	攸	攸	攸	攸	攸	攸	敵	敵	敵	敵	敵	敵	敵	敵
5A50	斟	斫	斷	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃	旃
5A60	旻	旻	查	呢	昶	昶	昶	昶	晁	晉	晁	晁	晁	晁	晁	晁
5A70	晟	哲	晰	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉	暉
5B20		曄	瞭	暖	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠	曠
5B30	隴	霸	朮	束	杓	杓	杓	杓	杆	杞	杠	杙	杙	杙	杙	杰
5B40	忞	杼	杪	枋	枋	枋	枋	枋	枷	柯	枊	束	枳	柘	枸	祖
5B50	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	柞	桧	桧	桧	桧	桧	桧	桧	桧
5B60	梳	栱	栱	栱	栱	栱	栱	栱	梭	梔	條	棚	梔	梔	梔	梔
5B70	梵	栒	栒	栒	栒	栒	栒	栒	栒	棘	桓	榜	桐	控	棍	
5C20		楫	棧	棕	櫻	椒	棗	棗	棗	柳	棗	棠	檢	榑	桎	們
5C30	換	櫚	櫚	櫚	櫚	櫚	櫚	櫚	楔	椌	椿	樞	櫛	橡	櫛	椰
5C40	榆	楞	棟	檜	檜	檜	榮	槐	橙	槁	楨	楸	槿	塞	槩	槩
5C50	榻	槃	榷	榷	榷	榷	榷	榷	榴	楠	榔	樂	穆	權	權	棹
5C60	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	榭	樊	密	檣	樣	樓	橄	檣	檣
5C70	撮	楫	楫	楫	楫	楫	楫	楫	楫	楫	楫	楫	楫	楫	楫	楫
5D20		櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟
5D30	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟	櫟
5D40	欽	欽	欽	欽	欽	欽	歸	歹	歺	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂
5D50	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂
5D60	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂
5D70	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂	殂
5E20		泐	泛	泐	泐	泐	泐	泐	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧
5E30	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧
5E40	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧
5E50	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧
5E60	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧
5E70	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧	洧
5F20		漾	漓	漓	漓	漓	漓	漓	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑	灑
5F30	澎	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚	漚
5F40	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱	濱
5F50	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾
5F60	烙	焉	烽	焜	焜	焜	焜	焜	煦	煦	煦	煦	煦	煦	煦	煦
5F70	煩	熨	熬	烹	烹	烹	烹	烹	燂	燂	燂	燂	燂	燂	燂	燂

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		燹	爇	燎	爍	爌	爎	爭	爬	爔	爲	爚	俎	𡗗	牀	牆
6030	戕	贖	低	梧	犁	犂	犛	犝	筭	犢	犧	犹	豺	狙	狃	狄
6040	狎	狒	猊	狼	狡	狹	狷	倏	猓	猥	猜	猖	猝	猴	獴	猩
6050	猘	猾	獎	默	默	獬	獮	獨	獯	獸	獵	獻	類	珈	玳	珍
6060	玻	珀	珙	珰	珞	璠	琅	瑤	瑯	琥	琲	琫	瑕	璵	瑟	瓊
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑪	璦	璣	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	嬰	琰	
6120		弧	瓣	趺	阼	甬	龔	趾	跽	跼	盄	甄	蹶	躋	歐	輟
6130	薈	薺	薨	菅	甿	甾	早	咍	吟	呷	吠	吟	畝	奮	畎	畹
6140	畧	畫	畲	崎	當	疆	疇	疇	疊	疊	疔	疥	疚	疝	疥	疣
6150	痂	疖	疔	疵	疽	疸	疔	疱	癩	痊	痒	庑	誌	痞	痾	痿
6160	痼	瘁	痰	痺	麻	瘋	瘋	瘍	瘻	瘟	瘡	瘡	瘡	癰	瘤	瘡
6170	瘰	癭	癰	癆	癰	癰	癰	癰	癢	癰	癰	癰	癰	癰	癰	
6220		癪	入	癸	發	癸	兒	飯	皐	皎	皖	皓	皙	皜	皑	皅
6230	皖	輝	皛	孟	盍	盍	盒	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞	盞
6240	眊	眩	昵	眞	眈	眈	眈	眈	睞	睞	睞	睞	睞	睞	睞	睞
6250	瞞	睹	瞎	瞑	瞋	瞋	瞋	瞰	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋	瞋
6260	轟	矚	矚	矚	矚	矚	硃	硃	硃	硃	硃	硃	碎	砒	砒	礱
6270	倍	碌	碌	碌	碌	碌	礪	礪	礪	礪	礪	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磧	磧	礪	礪	礪	礪	礪	礪	祀	祠	祇	崇	祚
6330	祕	祕	祺	祿	禋	禋	禋	齊	禪	禮	禋	禹	禺	秉	秣	秧
6340	拒	稊	秫	稗	稗	稗	植	稠	稟	稱	稻	稟	稷	穉	穗	
6350	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穹	羿	窈	窗	窈	窖	窖	窩	竈	窰
6360	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	窰	奸	妨	站	站	站	竝	竝	埃
6370	娒	竭	堙	笊	笊	笊	笊	笊	笊	笊	笊	笊	笊	笊	笊	
6420		篁	笄	筍	筍	筍	筍	筍	筍	筍	笄	笄	笄	笄	笄	箱
6430	箆	簞	箍	筍	筍	筍	筍	筍	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊	篆
6440	簞	節	簞	簞	簞	簞	簞	簞	族	籊	籊	籊	籊	籊	籊	實
6450	簧	簞	簞	簞	簞	簞	簞	簞	簞	籊	籊	籊	籊	籊	籊	籊
6460	籊	籊	籊	籊	籊	籊	粵	粵	桤	桐	栢	梗	桤	桤	桤	粹
6470	棕	枇	杷	杷	杷	杷	糜	模	鸛	櫛	櫛	耀	耀	紉	紉	
6520		紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	紉	絲
6530	絨	絮	綫	經	綫	綫	綫	綫	縐	緝	綺	紫	綾	綵	繡	綽
6540	綫	總	綫	綫	綫	綫	綫	綫	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝	緝
6550	縐	縣	緯	縐	縐	縐	縐	縐								
6560	縐	緯	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6570	縐	緯	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6620		縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6630	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6640	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6650	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6660	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6670	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6720		縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6730	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6740	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6750	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6760	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐
6770	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐	縐

B 技術情報

[illegible]

ディスプレイ表示一覧

ディスプレイに表示される情報を次に示します。斜体文字はディスプレイ下段の表示です。

ディスプレイ表示一覧(1/3)

表示の種類		表 示	表示の意味
通常表示	給紙方法に関する表示	ホッパ1 XXX XXX	上から1段目のホッパからの給紙を選択しています。
		ホッパ2 XXX XXX	上から2段目のホッパからの給紙を選択しています。
		ホッパ3 XXX XXX	上から3段目のホッパからの給紙を選択しています。
		ホッパ4 XXX XXX *	大容量ホッパ（オプション）からの給紙を選択しています。
		トレイ XXX XXX	トレイ給紙を選択しています。
	用紙サイズに関する表示	XXX A3タテ XXX	A3サイズ（縦置き）の用紙を選択しています。
		XXX B4タテ XXX	B4サイズ（縦置き）の用紙を選択しています。
		XXX A4タテ XXX	A4サイズ（縦置き）の用紙を選択しています。
		XXX A4ヨコ XXX	A4サイズ（横置き）の用紙を選択しています。
		XXX B5タテ XXX	B5サイズ（縦置き）の用紙を選択しています。
		XXX B5ヨコ XXX	B5サイズ（横置き）の用紙を選択しています。
		XXX A5タテ XXX	A5サイズ（縦置き）の用紙を選択しています。
		XXX LTヨコ XXX	レターサイズの用紙を選択しています。
		XXX ハガキ XXX	はがきサイズの用紙を選択しています。（トレイ使用時）
	縮小／拡大モードに関する表示	XXX A4→A3 XXX	A4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX B4→A3 XXX	B4サイズのデータをA3サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX B4→A4 XXX	B4サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX LP→A4 XXX	帳票サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX A3→A4 XXX	A3サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX A4× 2 XXX	A4サイズ2ページ分のデータをA4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B5→A4 XXX	B5サイズのデータをA4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX LP→B4 XXX	帳票サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX A3→B4 XXX	A3サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX A4→B4 XXX	A4サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX B5→B4 XXX	B5サイズのデータをB4サイズの用紙に印刷する拡大モードを選択しています。
		XXX A4→B5 XXX	A4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B4→B5 XXX	B4サイズのデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。
		XXX B5× 2 XXX	B5サイズ2ページ分のデータをB5サイズの用紙に印刷する縮小モードを選択しています。

* オプションの大容量ホッパを取り付けている場合のみ表示されます。

ディスプレイ表示一覧(2/3)

表示の種類	表 示	表示の意味
印刷方向に関する表示	XXX XXX ポート	印刷方向にポートレートを選択しています。
	XXX XXX ランド	印刷方向にランドスケープを選択しています。
ステータス表示	コピー XX マイ	コピー枚数がXX枚に設定されています。コピー枚数はメニューモードで最大99枚まで設定できます(30ページ参照)。この表示は、コピー枚数をメニューモードで2枚以上に設定したときに、給紙方法・用紙サイズ・印刷方向(例: “ホッパA4ポート”)の表示と交互に表示されます。コピー枚数が1枚(オリジナルのみ)の場合には表示されません。
	ホッパ XXX ホキュウ	用紙がなくなりました。または印刷フォーマットで指定されたサイズ of 用紙がありません。「ホッパX」のXの箇所に選択しているホッパ番号が表示されます。
	トレイ XX セット	コンピューターから印刷データを受信しましたが、トレイに用紙がセットされていないので印刷できません。表示されているサイズの用紙をトレイにセットしてください。
	イニシャライズチュウ	電源投入時のイニシャライズを実行中です。
	ウォームアップ チュウ	ウォームアップ中です。
	ジュシンチュウ	データを受信中です。
	ショリチュウ	データ処理を実行中です。データ処理が終了し、排出可能となるまで表示されます。
	インサツチュウ	印刷中です。用紙が排出されるまで、表示されます。
	テストインサツチュウ	テスト印刷を実行中です。
	データガノコッテイマス	未印刷データがプリンタ内に残っています。
	16シンダンプチュウ	16進ダンプ印刷を実行中です。
	リセットジツコウ	リセットします。
アラーム表示	72 カバーオープン XXX	前ドア、左ドア、前上ドア、右ドア、定着カバーが開いています。XXXの箇所に「ホンタイ」、「リョウメン」、「トナー」、「キュウシ」 「ティチャク」が表示されます。
	72 カバーオープン フィニッシャ XXX	フィニッシャの処理トレイカバー、上段排出トレイ、フィニッシャ前ドアが開いています。XXXの箇所に「ショリトレイ」、「オフセットトレイ」、「マエトピラ」が表示されます。(フィニッシャ装着時)
	76 トナーナシ	トナーの補給時期です。
	77 テイキホシュ	定期保守(定着ユニットなどの交換)の必要な時期です。

B

技術情報

ディスプレイ表示一覧(3/3)

表示の種類	表 示	表示の意味
アラーム表示 (続き)	78 ステابلナシ	フィニッシャ (オプション)のステابلがありません。
	79 ハイトナーボトルフル	廃トナーボトルのトナーがもうすぐ一杯になります。
	80 ハイトナーボトルコウカン	廃トナーボトルのトナーが一杯です。
	81 ハイトナーボトルナシ	廃トナーボトルが正常にセットされていません。
	82 セットフリオウ	フィニッシャ (オプション) が正常にセットされていません。
	83 ハイシュットレイフル	電源投入時にフィニッシャの処理トレイまたは下段スタッカーに用紙がある場合または、印刷中に下段スタッカーが用紙で一杯になった場合に表示します。
	84 フォーム オーバーXXX リセットシテクダサイ	フォーム登録に必要なメモリが不足しています。
	85 テイチャクキシユミョウ	定着ユニットの寿命が近くなりました。
	86 テイチャクキコウカン	定着ユニットの交換時期です。
	15 コール 15-0 X ソウセツ	増設したメモリに不具合があります。
	XX コール XX	障害が発生しています。
メニュー表示	メニュー表示は、メニューモードを使用しているときに表示されます。メニュー表示については「付録A」をご覧ください。	

用語解説

英数字

[?]ボタン

Windows 98/95、Windows NT 4.0で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?]ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

10BASE-2/10BASE-T/100BASE-TX

LANの伝送路に関する規格。伝送速度は10BASE-2/Tが10Mbps、100BASE-TXが100Mbps。本プリンターでのこれらの規格のケーブルを使ってLANに接続するにはLANボードまたはLANアダプターが必要。(詳細は「3章 オプション」参照)。

16進ダンプ印刷

プリンターが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。

201PL

NECのシリアルプリンター用標準コードのこと。

AppleTalk

米国アップルコンピュータ社が開発したMacintosh専用のネットワーク用ソフトウェアまたはプロトコル。本プリンターの場合マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01)と拡張プリンタドライバ(型番 PR2200NW2-21)が必要。

CR

Carriage Return キャリッジリターンズの略。プリンターの制御コード(コマンド)のひとつ。

DIMM

Dual In-line Memory Moduleの略。コンピューターやプリンターなどのメモリーを増設するもの。

DPI

Dots Per Inchの略。プリンターの解像度などを表す単位。1インチ当たりのドット数。(→解像度)

FF

Form Feedの略。プリンター制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPアドレス

IPはInternet Protocolの略。インターネット上で個々のユーザーを認識する符号(アドレス)。インターネットに接続したコンピューターにはすべてIPアドレスが割り振られる。

IPX/SPX

NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピューターが使用するプロトコル。

ISO 9660

ISO(International Organization for Standardization: 国際標準化機構)が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採用しており、OSによって異なるフォルダーやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN Manager

マイクロソフト社が開発したネットワークOS。NetBEUIプロトコルを用いる。MultiWriter 6050の場合マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01)か(型番 PC-PR-L02)を装着することで対応可能。

LPI

Lines Per Inchの略。1インチ当たりの行数。

Macintosh

アップル社が開発したパーソナルコンピューター。Mac OSには、あらかじめAppleTalkソフトウェアが組み込まれており、LocalTalkケーブルシステムやEtherTalkケーブルシステムを使ってネットワークを構築する。本プリンターと接続する場合マルチプロトコルLANボード(型番 PC-PR-L01)と拡張プリンタドライバ(型番 PR2200NW2-21)が必要。

MOPYING

Multiple Original coPY and printINGの略。NECが提唱するコピー機の代わりにプリンターでオリジナル印刷する新しい「印刷スタイル」。

MS-DOS

Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows 98/95、Windows NT 4.0/NT3.51から「MS-DOSプロンプト」や「DOS互換ボックス」を使ってMS-DOSアプリケーションを使っている場合はリモートパネルを使ったプリンターの設定が可能。

NetBEUI

IBMによって開発された小規模LAN用のプロトコル。おもにLAN ManagerをネットワークOSにしたときに用いられる。

NetWare

ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。本プリンターの場合LANボード(型番 PC-PR-L01あるいは型番 PC-PR-L02)を装着することで対応可能。

NMPS

NEC MultiWriter Printing Systemの略。Windowsで使用するプリンターの機能を向上させ、より速く印刷し、より簡単に操作できるためのシステム。

NPDL

NEC Printer Description Languageの略。NECプリンター記述言語。

OHPフィルム

OHP（オーバーヘッドプロジェクター）用の透明なシート。プレゼンテーションなどに使用する。印刷するときは、トレイ給紙を用いる。

OS

Operating Systemの略。オペレーティングシステムとも言う。コンピューターのハードウェア、ソフトウェアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウェアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウェアを「基本OS」、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

PPM

Pages Per Minuteの略。1分間に印刷できるページ数のことでプリンターの印刷速度を表す単位。

PrintAgent

双方向通信により、印刷状況の確認、プリンターの設定をコンピューター画面上から実現したソフトウェア。NECマルチライタシリーズに搭載。

PSW

Printer Status Windowの略。プリンターの状態やエラー情報をユーザーのパソコンに画面表示するとともに、音声ガイドで通知するもの。

RGBガンマ

Red Green Blueガンマの略。使用しているモニタで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニタの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindows NT、Windows 98/95、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

アップル社とマイクロソフト社が開発したソフトウェアで、Macintosh用のアウトラインフォントを用いた画面表示と印刷を行う。どんなアプリケーションソフトからでも利用できるアウトラインフォントが使えるので、文字サイズが大きくなってもギザギザにならない。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバーにする例が多い。

USB

Universal Serial Busの略。キーボード、マウス、スピーカー、モデム、プリンターなどの周辺機器とコンピューターの間を統一したコネクタとケーブルで接続できるインターフェース。本プリンターではUSBコネクタを装備しないがUSBプリンターケーブルを使ってプリンター装備のセントロニクス仕様準拠コネクタとコンピューターのUSBコネクタを結ぶことができる。

Windows 95、98

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。

Windows NT

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバーとして用いられることが多い。

Windowsアプリケーション

Windows専用のソフトウェアプログラム。Windowsオペレーティングシステム(OS)がないと起動できない。

五十音順

アイコン

アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

合紙機能

印刷の切れ目に目印とする用紙を差し紙排紙する機能。

アウトラインフォント

文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アドミニストレーター/Administrator

管理者という意味。ネットワークやシステムの管理を行う最高の権限を持っている人。システムアドミニストレーターと呼ぶこともある。(→システム管理者)

アプリケーション

文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール

インストールしたソフトウェアを取り除く作業。

イニシャライズ

初期状態にすること。例えば、メモリーの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンタをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ

Windowsアプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンターに送られる。

印刷の向き

用紙に対して文字やグラフィックが印刷される方向。縦向きと横向きがある。

印刷範囲

プリンター用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール

一般には設定するという意味であるが、ここではソフトウェアをコンピューターに組み込むという意味。

インターフェース

2つの装置<デバイス>を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。本プリンターの場合、標準のコネクタでセントロニクスデータコンピューター社に準拠したインターフェースが利用できる。

ウィンドウ

アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

ウォームアップ

プリンターの電源をONにした後、ヒートローラーが一定の温度まで上昇して印刷が可能になるまでの状態をいう。「節電モード」状態になっている場合、ヒーターをOFFにしているが、印刷データの受信を待たずともPSWのウォームアップボタンをクリックすることによりウォームアップをただちに開始できる。

エミュレーション機能

他の装置(プリンター)のために開発されたソフトウェアの制御コードが使用できる機能。PC-PR201系シリアルプリンターの制御コードが使用できる場合を201PLEエミュレーションと呼ぶ。

エリート文字

1インチ当たり12文字で印刷する文字のこと。

解像度

プリンターが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ当たりのドット数で表す(単位はDPI)。

拡張制御コード

制御コードのうち、ESC (1BH)、FS (1CH)、のように、あとに続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。

紙づまり

用紙がつまってプリンターが動作しなくなった状態をいう。

輝度

CRTモニターなどの管面上の明るさ。画面の明るさ。

基本制御コード

制御コードのうち、CR (0DH)、LF (0AH)のように単独で機能を表すコード。

クライアント

ネットワークを介して他のコンピューター(またはサーバー)にアクセスしている利用者、または利用者のコンピューター。

クライアント・サーバー

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピューター(サーバー)が共有の資源(ハードディスクやプリンター)を管理し、接続を許されたコンピューター(クライアント)が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバー型ネットワークとも呼んでいる。(→ピア・ツー・ピア)

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレイスケールイメージ

それぞれのドットを、白黒ではなくグレイの濃淡として保存しているビットマップイメージ。

現像ユニット

OPCドラム上に形成された潜像に、負帯電させたトナーを付着させる役目を持つ。EPカートリッジに内蔵されている。

コマンド

コンピューターに行わせたい作業を実行するために選択、または入力する命令。

コンデンス文字

1インチ当たり約17文字で印刷する文字のこと。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などといった設定を行うための画面をいう。

自動給紙

カット紙(単票用紙)を連続して自動的に給紙することをいう。

自動排出

コンピューターからのデータが一定時間なかったとき、プリンター内のデータを自動的に印刷して排出する機能。

シリアルプリンター

文字単位で印刷を行うプリンター。

[スタート]ボタン

Windows 98/95、Windows NT 4.0でプログラムの起動やファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

スプーラー機能

増設ハードディスク(オプション)を増設することによって、今までプリンターサーバーにスプールしていたデータをプリンター内部にスプールすること。

スプール

ドキュメント(文書)を印刷する場合に印刷データをパソコンのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンターに送ること。これによりプリンターが印刷を終了するのを待たずにコンピューターでは別の作業を行うことができるようになる。プリンターに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンターの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。

セントロニクス・インターフェース

プリンターとコンピューター間の通信仕様のひとつ。8ビットパラレルデータに制御信号を加えてプリンター用のインターフェース規格として広く使用されている。本プリンターでは標準の36ピン・パラレルコネクタで利用できる。

双方向通信

コンピューターとプリンターとの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。PrintAgent機能を実現するためには必須な条件。コンピューターから印刷データが送られるだけでなく、プリンターからもコンピューターに情報を送ることができるので、印刷の状況がプリンタステータスウィンドウのアニメーションと音声で、正確にわかる。双方向通信にはセントロ接続が双方向通信可能なプリンターインターフェースを装備したコンピューターであるかネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウェア

コンピューターやプリンターなどハードウェアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタドライバなどが含まれる。

ダイアログボックス

プリンターの設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す、横向きのバー。多くのウィンドウでは、[コントロールメニュー]ボックスや[最大表示]、[アイコン化]、[最小化]ボタンなどもついている。

タブ

Windows 98/95で、ダイアログボックスの中に複数の設定画面(シート)がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみ。

ダブルクリック

マウスのポインタ(矢印)を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、オン/オフの切り替えができるオプション(機能)を示す。オンにするとチェックボックスに印が表示される。

通常使うプリンター

アプリケーションで[印刷]コマンドを実行したときにその印刷データを印刷するプリンター。本プリンターで印刷を行う前に必ず通常使うプリンターとして設定しておく必要がある。

ツールバー

ウィンドウのメニューバーの下ボタンがついている部分。

定着ユニット

用紙上のトナーを熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。ヒートローラーとプレッシャーローラーで構成されている。

テスト印刷

プリンターが正常に動作していることを確認するためのもの。

電子ソート

印刷データを必要な部数プリンター内部でそろえて印刷すること。増設ハードディスク(オプション)を取り付けることによって実現する機能。

ドライバー

プリンタードライバーの項を参照。

ドライブ名

ドライブに割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ

マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク

ケーブルまたは他の手段を用いて接続され、ソフトウェアを使って機器(プリンターなど)を共有し、情報を交換できるようにしたコンピュータの集団。

ハードウェア

コンピュータ本体、キーボード、マウス、コンピュータやプリンターなどコンピュータシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。

ハーフトーン

グレイスケールイメージを、元のイメージのグレイの濃淡に似せて、白と黒のドットに変換する処理。

バッファフル

ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ピア・ツー・ピア

小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバーコンピュータを必要とせず、コンピュータどうし、コンピュータとプリンター間で対等に通信が可能となる。本プリンターをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボード／LANアダプターが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークと呼んでいる。(→クライアント・サーバー)

ヒートローラー

定着ユニットにあり、プレッシャーローラーと共に熱と圧力でトナーを定着させる働きをする。

ピクセル

ディスプレイ上の点。画像の最小単位。

ビットマップ

画面やプリンターに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷

見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント

同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリー

プリンターの電源をOFFにしても記憶した内容が消えていないメモリー。

ブラシパターン

図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンターケーブル

コンピュータとプリンターを接続するケーブル。インターフェースケーブルとも呼ばれる。

プリンタードライバー

コンピュータとプリンターの間のやり取りを仲介するプログラム。インターフェースやフォントの指定、インストールされたプリンターの機能などの情報を、Windowsに提供する。

プリントマネージャ

Windows 3.1、Windows NT 3.5/3.51オペレーティングシステムの一部で、Windowsアプリケーションからの印刷をコントロールし、印刷作業の監視も行う。

プログラムマネージャ

Windows 3.1やWindows NT 3.5/3.51の操作の基本となるウィンドウ。全体を管理しているもの。

プロトコル

コンピュータが他のコンピュータや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

オブジェクトの属性のこと。Windows 98/95、Windows NT 4.0では、タイトルの色の設定やプリンターの設定状態などを示す用語として広く使われている。Windows 98/95、Windows NT 4.0のアプリケーションガイドラインでは、マウスの右ボタンをクリックすることにより、いつでもオブジェクトのプロパティを表示させることができる。

プロポーショナル文字

印刷される文字により、印刷幅を変えて印刷する文字のこと。

ページ記述言語

1ページ分のテキスト(文字)やグラフィック(図形)のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンター

ページ単位で印刷を行うプリンター。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリー上に展開(作成)して印刷を行うプリンターのこと。

ポイント(マウスの)

マウスのポインタを目的の項目の上に置く動作。

ポイント(文字の)

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは1/72インチ。

ポート

プリンターなどの装置をコンピュータに接続するために使う接続先。

ポートレート

用紙を縦長にした内容で印刷する印刷フォーマットのこと。

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。[OK]ボタンや[キャンセル]ボタンなどがある。

マウスポインタ

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューモード

プリンターの設定をプリンターの操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリー

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリースイッチ

不揮発性メモリーを利用してプリンターのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にオン／オフを切り替えるスイッチではなく、電氣的に切り替えるスイッチ。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の選択肢の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでオンだったものが連動してオフになる。

ランドスケープ

用紙を横長にした内容で印刷する印刷フォーマットのひとつ。

リストボックス

ユーザーに対して、項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リブプレート

転写後の用紙を定着ユニットまで正しく送り込むための用紙ガイド。

リプリント

一度印刷したデータを、再度印刷したいときに短時間に印刷出力を可能にした本プリンターの印刷機能のひとつ。

レーザープリンター

電子写真式のページプリンターの代表的タイプ。ドラムにレーザー光、液晶シャッターで遮った蛍光灯や発光ダイオードなどの光をあてて像を作り、トナーで現像して紙に転写するプリンターのこと。

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズ of 用紙1000枚当たりの重さをいう。単位はkg。

ローカルプリンター

コンピュータと直接プリンターケーブルで接続しているプリンター。

索引

索引中の[1]はユーザーズマニュアル[1/2]、[2]はユーザーズマニュアル[2/2]のページを示しています。

英数字

[?]ポインタ	[2]228
201PLエミュレーション時の設定	[2]235
3極/2極変換プラグ	[1]3
A4ポートレート桁数	[2]235
CD-ROMドライブ	[2]4
CPU	[1]125
CRコードの機能	[2]236
ESC c1(リセット)コード	[2]236
FFコード	[2]236
FontAvenueフォント	[2]194
IBM DOS J5.0/V	[2]127
IPアドレス	[2]150
JIS78コード	[2]169, 178
LANアダプタ	[1]64
LANプリンター	[2]28, 56, 84, 108
LANボード	[2]221
MS-DOS環境	[2]129
両面印刷	[2]200
MultiWriter 6050A	[2]i
[MultiWriter 6050A]フォルダー	[2]216
NEC e-mailメンテナンス	[2]248
NECサービス網一覧表	[1]16
NECプリントサーバ	[2]238
NPD環境の設定	[1]117
NPDの初期状態	[1]135
OCR-Bフォント	[1]162
OS	[1]125
PC-PR201系、101系プリンター	[2]131
PrintAgent	[2]5, 215
構成	[2]216
削除	[2]35, 63, 94, 115
制限事項	[2]258
正常に機能させるために	[2]257
正しく動作しない	[2]259
動作させる前に	[2]257
動作中	[2]258
利用できるネットワーク環境	[2]5
利用できる便利な機能	[2]7
PrintAgentお読みください	[2]216
[PrintAgent管理ツール]フォルダー	[2]217
PrintAgentシステムアイコン	[2]216
PrintAgentシステム起動	[2]216
PrintAgentシステムメニュー	[2]216, 218
機能	[2]218
開く	[2]218
PrintAgentのプロパティ	[2]220
PrintAgentヘルプ	[2]216
PSW、プリンタステータスウィンドウ を参照	

PSWのプロパティ	[2]219
RAM	[1]125
TrueTypeフォント	[2]
162, 169, 171, 178, 180, 186, 188, 194	
URL	[2]150
Web PrintAgent	[2]8, 149
準備	[2]150
動作環境	[2]149
Windows 2000 日本語版	[2]65
Windows 3.1 日本語版	[2]123
Windows 95 日本語版	[2]37
Windows 98 日本語版	[2]9
Windows NT 3.51 日本語版	[2]117
Windows NT 3.5 日本語版	[2]129
Windows NT 4.0 日本語版	[2]97

ア

アース線	[1]3
アイコンが表示されない	[2]259
アイコン表示ボタン	[2]238
合紙	[2]206
合紙指定	[2]235
穴開け、パンチ を参照	
アニメーションが行われない	[2]259
アプリケーション	[2]158, 165, 174, 183, 191
アラーム通知	[2]7
アラーム表示が出ているときは	[1]83
安全上のご注意	[1]2
安全にかかわる表示について	[1]ii

イ

異常	
印刷に～が見られるとき	[1]80
一時停止	[2]225
一時停止できない	[2]260
一時停止ボタン	[2]224
印刷	
～薄いとき	[1]80
～おかしい	[1]75
～されない	[1]80
～速度	[1]125
～できない	[1]82
～の向き	[2]161, 170, 179, 187, 193
～方向	[1]24
～方式	[1]125
印刷位置	[2]161, 179, 187
印刷位置調整	[2]194, 235
印刷位置の調整	[2]170
印刷開始コード	[2]236
印刷環境の設定	[1]113
印刷再開	[2]225
印刷再開ボタン	[2]224
印刷設定	[2]170
[印刷設定]ダイアログボックス	[2]164, 190, 193
印刷中止	[2]225

印刷中止ボタン	[2]224
印刷手順	[2]152
印刷範囲	[1]129
印刷部数	[2]235
印刷方向	[2]235
印刷ログ	[2]8, 251
記録結果	[2]256
設定	[2]252
印字位置微調整の設定	[1]114
インストーラーを起動	[2]17, 45, 71
インストール	[2]2, 9, 37, 65
プリンターソフトウェア	[2]97, 134
方法の選択	[2]10, 38, 66, 98
インストール媒体	[2]140
インターフェース	[1]125, 137

ウ

ウォームアップ	[2]228
～開始	[2]172
ウォームアップ開始	[2]163, 181
運用環境の設定	[1]116

エ

エミュレーションの設定	[2]235
-------------------	--------

オ

お客様登録申込書	[1]9, 16
オプション	[1]61, [2]169, 178, 226
[オプション]ダイアログボックス	[2]190, 193
[オプションメニュー]	[2]247
音声メッセージ	[2]227
音声メッセージが通知されない	[2]260

カ

海外でのご使用	[1]196, [2]274
解像度	[2]162, 171, 180, 188, 193
解像度指定	[2]236
各部の名称とはたらき	[1]17
カスタマーバーコード印刷	[1]160
画像面積比5%の印刷例	[1]70
紙折り	[2]210
紙づまり	
～位置表示	[1]85
～処理後の確認	[1]110
大容量ホッパ	[1]109
トレイ	[1]95
～のときは	[1]85
フィニッシャ	[1]96
プリンターユニット	[1]92
プリンター用紙搬送部	[1]88
管理者	[2]ii, 133
管理者以外	[2]ii
管理銘板	[1]10

キ

記号	[1]i, v, [2]iii
技術情報	[1]123
起動しない	[2]259
機能拡張制御コード	[1]144
給紙	
～方法	[2]161, 170, 179, 187, 193, 235
給紙構成	[2]226
[共有]シート	[2]160, 168, 178
共有プリンター	[2]6, 220
設定	[2]21, 49, 76, 103

ク

国別文字セット	[2]235
クライアント	[2]ii
クライアント・サーバー接続	[2]5
[グラフィックス]シート	[2]162, 171, 180, 188
[グラフィックス]ダイアログボックス	[2]190, 194
起動	[2]193
クリーニングキット	[1]65
クリッピング機能	[2]200, 236
グループプリンター	
作成する前に	[2]241
出力	[2]245
プリンタステータスウィンドウ	[2]247
編集	[2]244
グレー印刷ができない	[1]81
グレイスケール	[2]194

ケ

警告ラベル	[1]i, 1
契約保守	[1]11

コ

構成情報が違う	[2]261
構成情報ボタン	[2]224
故障かな？と思ったら	[1]75
[コントロールパネル]	[2]192
コンピューターに接続する	[1]56

サ

再出力. リプリント を参照	
削除	
PrintAgent	[2]35, 63, 94, 115
プリンターソフトウェア	[2]34, 62, 92, 114
プリンタードライバー	[2]34, 62, 92, 114, 121, 126

シ

質量	[1]126
指定文字列	[2]203

自動起動	[2]219
自動起動してしまう	[2]260
自動起動しない	[2]260
自動切り替え	[2]7, 241
自動切替機能	[2]161, 171, 180
自動縮小	[2]235
自動排出時間	[2]236
自動復帰改行	[2]236
重要	[2]iii
従来互換の印刷範囲	[2]161, 169, 178, 186
修理	[1]10
終了	[2]218
縮小／拡大モード	[1]24
出張修理	[1]11
[出力制御]シート	[2]161, 171, 180, 187
仕様	[1]125
[詳細]シート	[2]160
詳細設定	[2]198
[詳細設定]シート	[2]169
[詳細設定]ダイアログボックス	[2]198
詳細表示ボタン	[2]238
消費電力	[1]126
商標	[1]ii
情報サービスについて	[1]12
消耗品寿命	[1]126
初期化ボタン	[2]233
ジョブセパレート	[2]208, 235
白く抜ける	[1]81
(縦線の形状)	[1]81
白黒で印刷	[2]162, 171, 180, 188
しわ	[1]80
仕分け	[2]193, 204
仕分け機能	[2]161, 171, 180, 187

ス

スイッチ	[1]27
10キー～	[1]30
印刷可～	[1]27, 32
印刷方向～	[1]29
クリア～	[1]31
▲	[1]32
▼	[1]32
▶	[1]32
◀	[1]32
縮小～	[1]29
スタッカ～	[1]30
ストップ	[1]28
設定変更	[1]32
節電モード～	[1]30
トレイ～	[1]28
排出～	[1]31
ホッパ～	[1]29
メニュー～	[1]28
メンテナンス1～	[1]30
メンテナンス2～	[1]30
リセット～	[1]31
両面～	[1]28
[スケジュール]シート	[2]177
[スタート]ボタン	[2]159, 166, 175

スタック容量	[1]126
ステータス印刷	[1]172
ステータス情報エリア	[2]224, 247
ステータスパー	[2]224, 227, 233, 238
ステーブル	[2]210
ステーブルカートリッジの交換	[1]71
ステーブル針	[1]66
ステーブルどめがうまくいかないときは	[1]111
スプールファイル	[2]222, 225
寸法	[1]126

セ

制御コード一覧	[1]140
清掃	[1]74
製品寿命	[1]126
[セキュリティ]シート	[2]169, 178
設置	
～してはいけない場所	[1]15
～に必要なスペース	[1]14
設置場所の設定	[2]240, 242
設定ウィンドウ	[2]233
設定書き込みボタン	[2]233
設定が異なる	[2]261
設定ができない	[2]261
設定が読み込めない	[2]261
設定読み込みボタン	[2]233
節電モード	[2]235
全角ゼロ	[2]235
全角フォント	[2]236
選択できない	[2]259
セントロ環境の設定	[1]118
[全般]シート	[2]160, 168, 177

ソ

騒音	[1]125
操作の手順	[1]45
操作パネル	[1]18, 23
～文字列	[2]172
操作パネル文字列	[2]163, 181, 195
増設CPUボード	[1]62
増設RAMサブボード	[1]64
増設ハードディスク	[1]62, [2]169, 178, 205
双方向	[2]242
～サポート	[2]168
双方向サポート	[2]177
双方向通信	[2]160
ソフトウェアのご使用条件	[1]16

タ

ダイアログボックス	[2]190
開く	[2]165, 174, 183, 191
タイトルバー	[2]233
タイムアウト設定	[2]160
大容量ホッパ	[1]61, [2]178
縦線や横線が入る	[1]81

チ

チェック	[2]iii
中止できない	[2]260
丁合い機能	[2]161, 171, 180, 204
仕分け・フィニッシャ機能の組み合わせ	[2]213

ツ

ツールバー	[2]224, 227, 238
〔ツールメニュー〕	[2]239
通知形式	[2]227
通知形式ボタン	[2]224
ツリービュー	[2]238

テ

データ形式	[1]125
定形外用紙サイズ	[2]201
ディザリング	[2]162, 194
ディスプレイ	[1]24, [2]203
ディスプレイ表示一覧	[1]180
テスト印刷のプリント結果	[1]169
テスト印刷をする	[1]53
デバイスプロパティ	[2]168, 177, 186
〔デバイスプロパティ〕ダイアログボックス	[2]173, 182
電源	[1]125
電源コード	[1]16
電源コードを接続する	[1]52
電源の瞬時電圧低下対策	[1]196, [2]274
電子ソート	[2]235
電子ソート機能	[2]161, 171, 180, 187, 194, 205
電子メール	[2]7
電波障害自主規制	[1]196, [2]274

ト

動作環境の設定	[1]117
登録されていない	[2]259
ドキュメント情報	[2]227
ドキュメント情報エリア	[2]224
ドキュメントプロパティ	[2]179, 187
〔ドキュメントプロパティ〕ダイアログボックス	[2]173, 182
〔ドキュメントメニュー〕	[2]247
特長	[1]vi
綴じ方向	[2]161, 170, 179, 187
トナーボトル	[1]16
～の寿命	[1]70
～の補給	[1]67
ドライバの削除ボタン	[2]238
取扱説明書 [1/2]	[1]16
取扱説明書 [2/2]	[1]16
トレイ	[1]18

ニ

にじむ	[1]80
日常の保守	[1]67
日本語ページプリンタ言語NPDL	[1]65

ネ

ネットワーク共有プリンタ	[2]238
--------------------	--------

ノ

濃度	[2]162, 194
----------	-------------

ハ

バーコードフォント	[2]2
バージョン情報	[2]218
〔ハードディスク〕ダイアログボックス	[2]190, 194
起動	[2]193
ハードディスク容量	[2]2
ハーフトーンカラー	[2]171, 180, 188
排紙装置	[2]169, 178
排紙トレイ	[1]18, 62
排出機能	[2]161
排出方法	[2]171, 180, 187, 193, 236
媒体作成	[2]140
箱の中身を確認する	[1]16
パスワード	[2]147
設定	[2]147
バルーンメッセージ	[2]224
半角ゼロ	[2]235
半角フォント	[2]236
パンチ	[2]210

ヒ

ピア・ツー・ピア接続	[2]6
ビジュアル情報	[2]227
ビジュアル情報エリア	[2]224
ビットマップ	[2]162, 171, 180, 188, 194
描画方法	[2]162
表示しない	[2]259, 260
〔表示メニュー〕	[2]239
ヒント	[2]iii

フ

フィニッシャ	[1]62, [2]210
〔フィニッシャ〕ダイアログボックス	[2]190, 193
起動	[2]193
フェイスアップ／フェイスダウン機能	[2]161
ウォームアップボタン	[2]224
フォーム印刷	[2]162, 172, 181, 188, 193, 195
〔フォーム〕シート	[2]162, 172, 181, 188

[フォーム設定]ダイアログボックス	[2] 190, 195
フォント	[1] 125, [2] 193
フォント環境の設定	[1] 117
[フォント]シート	[2] 162, 171, 180, 188
[フォント置換設定]ダイアログボックス	[2] 190, 194
部数	[2] 193
ブラウザ	[2] 149
「プラグ・アンド・プレイ」機能	[2] 13, 40, 68
ブラシパターン	[2] 162, 171, 180, 188, 194
プリンター	
自動切り替え	[2] 7
設定	[2] 131
選択	[2] 130, 154
プリンター一覧	[2] 7, 217
プリンターソフトウェア	[2] 1
インストール	[2] 9, 37, 65, 97, 134
削除	[2] 34, 62, 92, 114
CD-ROM	[1] 16, [2] 17, 45, 71
プリンタードライバー	[2] 151, 197
印刷	[2] 152
インストール	[2] 117, 123
削除	[2] 34, 62, 92, 114, 121, 126
プリンターの設置	[1] 13
プリンターフォント	[2] 169, 178, 194
プリンタ管理ユーティリティ	[2] 217, 237
起動	[2] 237
機能	[2] 238
プリンタステータスウィンドウ	[2] 7, 216, 223
起動	[2] 163, 172, 181, 223
機能	[2] 224
グループプリンター使用時	[2] 247
プリンタステータスボタン	[2] 238
[プリンタの構成]シート	[2] 163, 169, 178, 186
プリンタの構成情報	[2] 226
[プリンタの状態]シート	[2] 163, 172, 181, 189
[プリンタの設定]シート	[2] 169, 178, 186
[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス	[2] 164
プリンタ変更ボタン	[2] 233
[プリンタメニュー]	[2] 239
プリントサーバー	[2] 229
[プリントマネージャ]	[2] 184
フロッピーディスク	[2] 140
プロパティシート	[2] 160
プロパティダイアログボックス	[2] 157, 173, 182
開く	[2] 157
プロパティボタン	[2] 238

へ

ヘルプ	[2] 218, 228
ヘルプボタン	[2] 224, 233
[ヘルプメニュー]	[2] 239

ホ

ポート	[1] 24, [2] 242
[ポート]シート	[2] 168, 177
補修用部品	[1] 11
保守サービスについて	[1] 11

保守情報のメール通知	[2] 248
[補助機能]ダイアログボックス	[2] 190
保証書	[1] 16
保証について	[1] 9
[補助機能]シート	[2] 163, 172, 181, 189
[補助機能]ダイアログボックス	[2] 195
起動	[2] 193
補助トレイ	[1] 18
ホチキス. ステープル を参照	
ホッパ	[1] 18

マ

前上ドア	[1] 18
前ドア	[1] 18
真っ黒	[1] 81
マニュアル	[2] i
マルチプロトコルLANボード	[1] 63

メ

メール通知	
保守情報	[2] 248
ログファイル	[2] 250
メインスイッチ	[1] 18
メニュー	[2] 233
メニュー項目の登録	[1] 118
メニューの詳細	[1] 113
メニューバー	[2] 224, 238, 247
メニューモード	
～設定項目一覧	[1] 34
～の設定変更のしかた	[1] 33
メニューモードとメモリスイッチの詳細	[1] 113
メモリー	[2] 169, 178, 226
メモリスイッチの詳細	[1] 119
メモリスイッチの設定	[1] 118
メモリスイッチの内容	[1] 36
メモリーオーバー時の動作	[2] 236
メモリー割り当て	[2] 235

モ

文字コード表	[1] 173
文字セット	[2] 236
文字の種類	[1] 167

ユ

ユーザズマニュアル	
～の再購入	[1] 12
ユーザズマニュアル[1/2]	[2] i
ユーザズマニュアル[2/2]	[2] i
ユーザー名	[2] 203

ヨ

用紙	
～サイズ	[2] 161, 170, 179, 187
～種類	[2] 161, 170, 179, 187
用紙サイズ	[1] 24, [2] 193, 235
[用紙]シート	[2] 161, 170, 179, 187
用紙種類	[2] 193, 235
用紙について	[1] 145
用紙の裏が汚れる	[1] 81
用紙の規格	[1] 128
用紙の設定	[1] 114
用紙容量	[1] 126
用紙をセットする	[1] 145
読み方	[2] ii

レ

[レイアウト]シート	[2] 161, 170, 179, 187
[レイアウト]ダイアログボックス	[2] 190, 194, 198
起動	[2] 193

ワ

ワードパッド	[2] 152, 165, 174
--------	-------------------

ラ

ライト	[2] 153
ランド	[1] 24
ランブ	[1] 26
HDD～	[1] 26
アラーム～	[1] 26
印刷可～	[1] 26
節電モード～	[1] 26
データ～	[1] 26

リ

リストビュー	[2] 238, 247
リプリント	[2] 229, 230
実行	[2] 229
ページ指定	[2] 231
両面印刷	[2] 231
リプリント機能	[2] 7, 161, 171, 180, 220, 225
[リプリント機能の設定]ダイアログボックス	[2] 222
リプリントボタン	[2] 224
リモート電源制御	[2] 7
リモートパネル	[2] 7, 216, 232
起動	[2] 163, 172, 181, 232
機能	[2] 233
設定項目一覧	[2] 235
設定変更	[2] 233
リモートパネルボタン	[2] 238
利用可能なプリンタ	[2] 238
両面印刷	[2] 131, 161, 170, 179, 187, 194, 199, 236
MS-DOS環境	[2] 200
両面印刷時の用紙の規格	[1] 128
両面印刷の設定	[1] 115
両面インジケータ	[2] 224
リレイ給紙	[2] 235

高調波ガイドライン適合品

この装置は、通商産業省通知の家電・汎用品
高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

NEC MultiWriter 6050

ユーザーズマニュアル[1/2]

1998年 11月 初版
2000年 9月 第3版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL (03)3454-1111(代表)

MultiWriter 6050

